

意匠

図面番号	図面名	尺度
T-01	特記仕様書(1)	N.S.
T-02	特記仕様書(2)	N.S.
T-03	特記仕様書(3)	N.S.
T-04	特記仕様書(4)	N.S.
T-05	特記仕様書(5)	N.S.
T-06	特記仕様書(6)	N.S.
T-07	特記仕様書(7)	N.S.
A-01	管理棟 仕上表	N.S.
A-02	敷地案内図、面積表、敷地求積図	1/200, 1/500
A-03	配置図	1/500
A-04	管理棟 平面図、平均地盤算定図	1/100, 1/200
A-05	管理棟 立面図、断面図	1/100
A-06	管理棟 1階平面詳細図	1/50
A-07	管理棟 2階平面詳細図	1/50
A-08	管理棟 矩計図(1)	1/30
A-09	管理棟 矩計図(2)	1/30
A-10	管理棟 階段詳細図	1/30
A-11	展開図(1)	1/50
A-12	展開図(2)	1/50
A-13	展開図(3)	1/50
A-14	展開図(4)	1/50
A-15	管理棟 天井図、建具符号図、建具表	1/100, 1/50
A-16	建具表	1/50
A-17	管理棟 部分詳細図(1)	1/10, 1/5
A-18	管理棟 部分詳細図(2)	1/50, 1/20, 1/10, 1/5, 1/1
A-19	管理棟 部分詳細図(3)	1/10, 1/5, 1/5
A-20	管理棟 部分詳細図(4)	1/20
A-21	管理棟 屋外階段詳細図	1/30
A-22	エレベーター詳細図(1)	1/30
A-23	エレベーター詳細図(2)	1/30
A-24	エレベーター詳細図(3)	1/30, 1/50
A-25	屋外トイレ 柱上表、平面詳細図、立面図、断面図	1/50
A-26	屋外トイレ 矩計図、展開図、建具表、天井図	1/50, 1/30
A-27	外構図	1/200, 1/50

構造

図面番号	図面名	尺度
S-01	構造特記仕様書(管理棟)	N.S.
S-02	構造特記仕様書(屋外トイレ棟)	N.S.
S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	N.S.
S-04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	N.S.
S-05	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(3)	N.S.
S-06	鉄骨構造標準図(1)	N.S.
S-07	鉄骨構造標準図(2)	N.S.
S-08	ベースパック柱脚工法設計施工標準図	N.S.
S-09	梁貫通孔補強材ダイヤレンNS設計・施工標準仕様書	N.S.
S-10	梁貫通孔補強工法フリードーナツ工法標準図	N.S.
S-11	Fablux(ファラックス)DS柱はり接合工法設計標準図	N.S.
S-12	QLデッキ合成スラブ設計・施工標準(1)	N.S.
S-13	QLデッキ合成スラブ設計・施工標準(2)	N.S.
S-14	QLデッキ合成スラブ設計・施工標準(3)	N.S.
S-15	ボーリング調査位置図	N.S.
S-16	管理棟 杭・基礎・1階伏図	1/100
S-17	管理棟 MAGNUM-BASIC工法 特記仕様書	N.S.
S-18	「N-45」工法 設計・施工標準図	N.S.
S-19	管理棟 基礎詳細図・基礎梁基礎小梁リスト	1/50
S-20	管理棟 2階・屋根伏図	1/100
S-21	管理棟 軸組図(1)	1/100
S-22	管理棟 軸組図(2)	1/100
S-23	管理棟 部材リスト	1/50, 30
S-24	管理棟 鉄骨詳細図・部分詳細図	1/50, 30
S-25	管理棟 基礎梁配筋図	1/30
S-26	屋外トイレ 構造図	1/30, 1/100
S-27	屋外階段・伏図・軸組図・部材リスト	1/100, 50, 30
S-28	表裏改良工法特記仕様書	N.S.
S-29	屋外トイレ・管理棟基礎1階スリーブ図	1/100
S-30	管理棟2階・R階スリーブ図	1/100

電気設備

図面番号	図面名	尺度
E-01	電気設備 特記仕様書 1	N.S.
E-02	電気設備 特記仕様書 2	N.S.
E-03	電気設備 特記仕様書 3	N.S.
E-04	電気設備 全体平面図	1/400
E-05	電気設備 高圧受変電設備	N.S.
E-06	電気設備 幹線及び外灯系統図	N.S.
E-07	電気設備 テニスコート配線系統図	N.S.
E-08	電気設備 テニスコート用分電盤図	N.S.
E-09	電気設備 テニスコート外灯・時計機器図	N.S.
E-10	電気設備 配置図	1/500
E-11	動力盤リスト	N.S.
E-12	電灯盤リスト	N.S.
E-13	管理棟 幹線・動力設備 平面図	1/100
E-14	管理棟 コンセント・非常警報設備 平面図	1/100
E-15	照明器具姿図	N.S.
E-16	管理棟 電灯設備 平面図	1/100
E-17	管理棟 トイレ呼出設備 系統図・機器姿図	N.S.
E-18	管理棟 モニター設備 系統図	N.S.
E-19	管理棟 弱電設備 平面図	1/100
E-20	管理棟 放送設備 機器姿図	N.S.
E-21	管理棟 放送設備 平面図	1/100
E-22	屋外トイレ 電気設備 平面図	1/40

機械設備

図面番号	図面名	尺度
M-01	機械設備 特記仕様書(1)	N.S.
M-02	機械設備 特記仕様書(2)	N.S.
M-03	衛生設備 配置図	1/500
M-04	管理棟 衛生設備 機器表・器具表	N.S.
M-05	管理棟 衛生設備 1階平面図	1/50
M-06	管理棟 衛生設備 2階平面図	1/50
M-07	管理棟 空調換気設備 機器表	N.S.
M-08	管理棟 空調換気設備 系統図	N.S.
M-09	管理棟 空調設備 平面図	1/100
M-10	管理棟 換気設備 平面図	1/100
M-11	屋外トイレ 機械設備 平面図	1/50
M-12	汚水中縫槽 仕様図(1)	1/20
M-13	汚水中縫槽 仕様図(2)	N.S.

※リスト内尺度はAI出力時の数字を示す。N.Sは尺度無しを表す。

MEMO	
------	--

株式会社 ジェイエイ津安芸 三重県津市一色町 211 TEL 059-224-8941 FAX 059-224-9001	
---	--



作製年月日
訂正年月日

御承認

作図

工事名称

令和元年度河川ス振継第2号
旧津市民プール跡地テニスコート整備工事

図面名称

図面リスト

図番
-

縮尺

工事特記仕様書

I. 工事名		旧津市民プール跡地テニスコート整備工事		
II. 工事概要				
1. 工事場所	津市殿村地内			
2. 敷地面積	21,582.00m ²			
3. 工事内容	棟名称 管理棟・屋外便所棟・観覧席 構造 鉄骨造 建築面積 526.62m ² 延べ面積 829.06m ²			
工事項目				
III. 建築工事仕様				
1. 共通仕様				
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、公共建築工事標準仕様書（「建築工事編」最新版）（以下「標準仕様書」）及び公共建築改修工事標準仕様書（「建築工事偏」最新版）				
2. 特記仕様				
①項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 ②特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ③項目に記載の（ ）内番号は標準仕様書の当該項目、図又は表を示す。				
章	項目	特記事項		
①一般共通事項	①適用基準等	本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。 1) 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官房営繕部整備課監修（平成28年版） 2) 建築物解体工事共通仕様書 国土交通省大臣官房官房営繕部整備課監修（平成24年版） 3) 津市公共建築物等木材利用方針		
	②施工条件	施工方法及び検査に関する事項 ※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書等を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。 ※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。 ※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。 ※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし又、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行うこと。 ※ 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落とさせたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。 ※ 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。 ※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。 ※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。 ※ 工事期間中、工事に起因し既存施設破損等を与えた場合は、工事請負者の責任において速やかに現状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。 ※ 工事着手前には、現況状況把握の為に破損箇所等があれば、市監督員立合いのもと写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて、既設施設に破損等を与えた場合は、請負者の負担において速やかに復旧すると共に、市監督員に報告すること。 ※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。		
③発生材の処理等	(1.3.11)	③本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号、以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。		
④建設副産物情報交換システムの利用		分別解体等の方法		
⑤三重県産業廃棄物税		工程 作業の有無 分別解体等の方法 造成等 ・有・無 ・手作業 基礎・基礎ぐい ・有・無 ・手作業 上部構造部分・外装 ・有・無 ・手作業 屋根 ・有・無 ・手作業 建築設備・内装等 ・有・無 ・手作業 その他 (アスファルト舗装) ・有・無 ・手作業		
⑥電気保安技術者	(1.3.3)	引渡を要するもの (・無) 特別管理産業廃棄物 ・有() 处理方法() アスベスト成形板等解体時の留意点 1. 手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。 2. 可能であれば湿潤状態（散水）として作業を進めること。 3. 飛散されない様にすること。 4. 保護具及び作業着を着用すること。 5. 解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。 6. 事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。 再資源化を図るもの ・コンクリート塊 アスファルトコンクリート塊 建設発生木材 引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し監督員へ提出すること。 引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。		
⑦技能士	(1.5.2)	受注者は受注時において延べ面積が500m ² 以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出すること。 また、工事着手前にJACIOが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。		
⑧建築材料等	(1.5.9)	1) 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。 2) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆以上とする。		
⑨化学物質の濃度測定	(1.5.9)	測定対象化学物質 (●で示したものとする。) 適用 施設用途 ホルムアルデヒド トルエン キシレン エチルベンゼン スチレン パラジンベンゼン 学校・教育施設 ● ● ● ● ● ● 住宅 ● ● ● ● ● ● ○その他 ● ● ● ● ● ●		
⑩特別な材料の工法		対象箇所 (●) 図面番号: A-04 () 測定方法 (●) パッシブ法 アクティブ法 報告書提出部数 2部		
⑪騒音・振動の防止		標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。		
⑫工事写真		低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。 工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官房営繕部整備課監修（最新版））に従い撮影する。 提出部数 1部 紙用紙は上質紙とする。		
⑬完成図書	(1.7.2)	○ 作成する (●) 完成図 ○ 保全に関する資料 () ○ 完成図作図範囲 (設計図を訂正) 完成図はCADにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）は発注者に移譲するものとする。また、製本2部（原図サイズ）により提出すること。		
⑭完成写真		○ デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。 (A4版用紙に1ページあたり3枚) 1部 箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多大になる場合には、監督員と協議すること。 写真是、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。		
⑮設備工事との取合い		施工範囲 ○ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強 ○ 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び補強 ○ 駆動装置又は電動建具等の2次側配管配線及び操作スイッチ施工図 ・設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。		
⑯設計GL		○ 図示のベンチマーク(B.M) -40 mm (現状地盤はB.M mm)		
⑰養生その他		工事施工に際し既存部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、既存にならい補修すること。		
⑱事故の発生時		工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員に提出すること。 また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。		
⑲消防法関係の手続き		1) 消火器に係る消防法用設備等設置届出書の作成 ○本工事 (●) 建築工事 電気設備工事 機械設備工事 ・別途工事 2) 防火対象物使用開始届出書 書類の作成（建築図面の作成及び建築に関する部分の記入）を行うこと。		
⑳労働安全衛生法に基づく労働衛生防止措置		労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の受注者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。		



② 仮設工事 1. 監督員事務所 (2.3.1) - ・ 設置する。 - 監督員事務所の規模 (単位: m²) - 適用 - 規模 10程度 20程度 35程度 65程度 100程度 2. 監督員事務所の備品 (2.3.1)	種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計		----	------	-----	-------------	---------	--------		数量	組	台	個	個	個		種類	長靴	雨合羽	保護帽	機中電灯	衣類ロッカー		数量	足	着	個	個	台		種類	消火器	掃除具	受注者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器		数量	個	個	台	台	台	監督員職員事務所の仕上げ	部位等	仕上げ		-------	---------------------------		床	合板張り又はビニール床シート張り		内壁・天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂マルション塗り		屋根	溶融垂鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り	3. 仮設便所 4. 工事用水 5. 工事用電力 6. 足場 7. 交通誘導警備員 8. 施工方法 9. 地盤の載荷試験 (4.2.4) 10. 既製コンクリート杭 (4.3.2) (4.3.3) (4.3.4) (4.3.5) (4.3.7) 11. 鋼杭地業 (4.4.2) (表4.4.2) (4.4.4) (4.4.5) (4.4.6) (4.3.7) 12. 場所打ちコンクリート杭地業 (4.5.3) (4.5.4) (4.5.5) (表4.5.1) 13. 地盤改良 (4.2.2)	⑦ 水平方向の位置ずれ (100) mm以下 8. 杭の載荷試験 (4.2.3) 試験方法 ① 鉛直載荷 ② 水平載荷 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 (面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部 9. 地盤の載荷試験 (4.2.4) 試験方法 ① 平板載荷 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 (面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部 10. 既製コンクリート杭 (4.3.2) (4.3.3) (4.3.4) (4.3.5) (4.3.7) ・ PHC杭 ・ A種 ② B種 ③ C種 ④ D種 ⑤ E種 ⑥ F種 ・ SC杭 ・ PRC杭 ⑦ 上記以外の建築基準法に基づく杭 (参考表)	種別	杭径 (mm)	杭長	継手数	セット数	支点力 (kN/本)	備考		-----	---------	-------	-----	------	------------	----		P1	350Φ	15.0m	1	19本	680			P1A	350Φ	15.0m	1	3本	680										先端形状 ①開放型 ②閉そく型 施工方法 - 打込み工法 設計支持力 () - 打込み杭の推定支持力の算定方法 () - 打撃工法 - ブレボーリング打撃併用工法 (掘削深さ 設計GL m 挖削径 mm) - セメントミルク工法 - オーガーの支持地盤への掘削深さ ()m 図示 (面番号:) - 杭の支持地盤への根入れ深さ ()m 図示 (面番号:) - 特定埋込杭工法 (建築基準法に基づく埋込杭工法とする。) 継手 ①アーケ溶接 ②無溶接継手 杭頭の処理 ①行う ②行わない 11. 鋼杭地業 (4.4.2) (表4.4.2) (4.4.4) (4.4.5) (4.4.6) (4.3.7) 種別 ①A種 ②B種 ③C種 ④D種 ②自由処分 ・ 処分地指定 処分地 () ・ 処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 8km 3. 山留めの撤去 (3.3.3) ・ 撤去 ②存置 12. 場所打ちコンクリート杭地業 (4.5.3) (4.5.4) (4.5.5) (表4.5.1) 杭の施工管理 杭工事特記仕様書による。 2. 適用基準 本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。 国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するため に講ずべき措置」(平成28年3月4日) 3. 施工記録 受注者は、杭の施工期間中は、1週間にごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。 なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。 4. 根拠資料 共通仕様書、特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料(施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等)は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第31条第4項又は第5項(第38条においてこれらの規定を準用する場合を含む。)の規定による引渡しを受けた日から10年とする。 また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。 5. 試験杭及び試験掘 (4.2.2) ・ 試験杭 位置、本数及び寸法 図示 (面番号:) ・ 試験掘 位置、本数及び寸法 図示 (面番号:) 6. 杭の支持地盤 支持地盤の位置、種類 図示 (面番号: S-15) ()	⑧ 水平方向の位置ずれ (100) mm以下 8. 杭の載荷試験 (4.2.3) 試験方法 ① 鉛直載荷 ② 水平載荷 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 (面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部 9. 地盤の載荷試験 (4.2.4) 試験方法 ① 平板載荷 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 (面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部 10. 既製コンクリート杭 (4.3.2) (4.3.3) (4.3.4) (4.3.5) (4.3.7) ・ PHC杭 ・ A種 ② B種 ③ C種 ④ D種 ⑤ E種 ⑥ F種 ・ SC杭 ・ PRC杭 ⑦ 上記以外の建築基準法に基づく杭 (参考表)	種別	杭径 (mm)	杭長	継手数	セット数	支点力 (kN/本)	備考		-----	---------	-------	-----	------	------------	----		P1	350Φ	15.0m	1	19本	680			P1A	350Φ	15.0m	1	3本	680										先端形状 ①開放型 ②閉そく型 施工方法 - 打込み工法 設計支持力 () - 打込み杭の推定支持力の算定方法 () - 打撃工法 - ブレボーリング打撃併用工法 (掘削深さ 設計GL m 挖削径 mm) - セメントミルク工法 - オーガーの支持地盤への掘削深さ ()m 図示 (面番号:) - 杭の支持地盤への根入れ深さ ()m 図示 (面番号:) - 特定埋込杭工法 (建築基準法に基づく埋込杭工法とする。) 継手 ①アーケ溶接 ②無溶接継手 杭頭の処理 ①行う ②行わない 11. 鋼杭地業 (4.4.2) (表4.4.2) (4.4.4) (4.4.5) (4.4.6) (4.3.7) 種別 ①A種 ②B種 ③C種 ④D種 ②自由処分 ・ 処分地指定 処分地 () ・ 処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 8km 3. 山留めの撤去 (3.3.3) ・ 撤去 ②存置 12. 場所打ちコンクリート杭地業 (4.5.3) (4.5.4) (4.5.5) (表4.5.1) 杭の施工管理 杭工事特記仕様書による。 2. 適用基準 本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。 国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するため に講ずべき措置」(平成28年3月4日) 3. 施工記録 受注者は、杭の施工期間中は、1週間にごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。 なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。 4. 根拠資料 共通仕様書、特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料(施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等)は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第31条第4項又は第5項(第38条においてこれらの規定を準用する場合を含む。)の規定による引渡しを受けた日から10年とする。 また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。 5. 試験杭及び試験掘 (4.2.2) ・ 試験杭 位置、本数及び寸法 図示 (面番号:) ・ 試験掘 位置、本数及び寸法 図示 (面番号:) 6. 杭の支持地盤 支持地盤の位置、種類 図示 (面番号: S-15) ()	⑨ 地盤改良 (4.2.2) 試験方法 ① 土質試験 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 (面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部 10. 地盤改良 (4.2.2) 試験方法 ① 土質試験 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 (面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部	⑩ 地盤改良 (4.2.2) 試験方法 ① 土質試験 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 (面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部	⑪ 地盤改良 (4.2.2) 試験方法 ① 土質試験 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 (面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部	⑫ 地盤改良 (4.2.2) 試験方法 ① 土質試験 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 (面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部	⑬ 地盤改良 (4.2.2) 試験方法 ① 土質試験 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 (面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部	⑭ 地盤改良 (4.2.2) 試験方法 ① 土質試験 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 (面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部	⑮ 地盤改良 (4.2.2) 試験方法 ① 土質試験 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 (面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部	⑯ 地盤改良 (4.2.2) 試験方法 ① 土質試験 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 (面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部	⑰ 地盤改良 (4.2.2) 試験方法 ① 土質試験 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 (面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部	⑱ 地盤改良 (4.2.2) 試験方法 ① 土質試験 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 (面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部	⑲ 地盤改良 (4.2.2) 試験方法 ① 土質試験 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 (面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部	⑳ 地盤改良 (4.2.2) 試験方法 ① 土質試験 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 (面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部	㉑ 地盤改良 (4.2.2) 試験方法 ① 土質試験 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 (面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部	㉒ 地盤改良 (4.2.2) 試験方法 ① 土質試験 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 (面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部	㉓ 地盤改良 (4.2.2) 試験方法 ① 土質試験 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 (面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部	㉔ 地盤改良 (4.2.2) 試験方法 ① 土質試験 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 (面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部	㉕ 地盤改良 (4.2.2) 試験方法 ① 土質試験 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 (面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部	㉖ 地盤改良 (4.2.2) 試験方法 ① 土質試験 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 (面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部	㉗ 地盤改良 (4.2.2) 試験方法 ① 土質試験 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 (面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部	㉘ 地盤改良 (4.2.2) 試験方法 ① 土質試験 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 (面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部	㉙ 地盤改良 (4.2.2) 試験方法 ① 土質試験 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 (面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部	㉚ 地盤改良 (4.2.2) 試験方法 ① 土質試験 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 (面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部	㉛ 地盤改良 (4.2.2) 試験方法 ① 土質試験 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 (面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部	㉜ 地盤改良 (4.2.2) 試験方法 ① 土質試験 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 (面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部	㉝ 地盤改良 (4.2.2) 試験方法 ① 土質試験 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 (面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部
<td rowspan="10" style="vertical-align: top; width: 10%;

構造特記仕様書による	⑦ 鉄骨工事	① 施工管理技術者 (7.1.4) ② 製作工場 (7.1.3) ③ 鋼材 (7.2.1) ④ 高力ボルト (7.2.2) ⑤ 普通ボルト (7.2.3) ⑥ 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.2.4) ⑦ アンカーボルト (7.2.4) ⑧ 溶接材料 (7.2.5) ⑨ ターンバックル (7.2.6) ⑩ ディッキングレート (7.2.7) (7.7.8) ⑪ 柱底均しモルタル (7.2.9) ⑫ 材料試験等 (7.2.10) ⑬ 仮組 (7.3.10)	○ 適用する (株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 - ・ J - ・ R - ・ M - ・ H - ・ S 材質、形状及び寸法 ○ 図示 (図面番号: S-23, 24) 種類 ○ トルシア形高力ボルト2種(S10T) - ・ JIS形高力ボルト2種(F10T) ○ 溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(F8T相当) 高力ボルトの径 ○ 図示 (図面番号: S-25) ボルトの緯端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ○ 図示 (図面番号: S-07, 25) すべり係数試験 ○ 行わない 行う 試験方法等 JIS形、ナット回転法かつボルト長がねじの呼びの5倍を超える場合 - ・ 回転量 () ° ボルト及びナットの材料等、ボルトの径 ○ 図示 (図面番号: S-07) ボルトの緯端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ○ 図示 (図面番号: S-07) 摩擦面の処理 - ・ ブラスト処理(表面粗度50 μmRz以上) - ・ りん酸塗処理 すべり耐力等の確認方法 - ・ すべり耐力試験 試験方法等 ボルトの緯端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ○ 図示 (図面番号: S-07, 25) 適用箇所及び種類 - 構造用 ○ 図示 (図面番号: S-08, 25) - 建方用 ○ 図示 (図面番号:) - ・ SS400 - ・ () 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み - ・ A種 - ・ B種 - ・ C種 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 - ・ 標準仕様書[表7.2.3] - ・ 図示 (図面番号:) 構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状、寸法 - ・ 図示 (図面番号:) ボルトの緯端距離、ボルト間隔、ゲージ等 - ・ 図示 (図面番号:) 材料 ○ 標準仕様書[7.2.5] (a) (b) 以外の溶接材料 種類及びねじの呼び等 ○ 図示 (図面番号: S-25) 建築用ターンバックル胴 割替式 建築用ターンバックルボルト ○ 羽子板ボルト 材質、形状及び寸法 ○ 図示 (図面番号: S-12, 13, 14) 溶接方法 ○ 図示 (図面番号: S-12, 13, 14) 柱底均しモルタルの工法、厚み ○ A種 (30) mm 無収縮モルタルの材料及び調合 ○ 標準仕様書[7.2.9] (b) 板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験 - ・ JIS G 0901により行う ○ 行わない 行う 仮組を行う範囲 - ・ 図示 (図面番号:)	⑭ 溶接作業における技能資格者 (7.6.3) ⑮ 溶接部の開先 (7.6.4) ⑯ 溶接施工 (7.6.7) ⑰ 溶接部の試験 (7.6.11) ⑱ 鑄止め塗装 (7.8.3) ⑲ 耐火被覆 (7.9.2) ⑳ 軽量形鋼構造 (7.11.2) 8. ブロ・押出成形セメントパネル 1. 構造用コンクリートブロック (8.2.2) 2. コンクリートブロック帳壁及び堀 (8.3.2) 3. ALCパネル (8.4.2) 4. 押出成形セメントパネル (8.5.2) 5. 鋼構造 (9.2.3) 6. 防水工事 (9.2.3) 7. 断熱材 (9.2.4) 8. 保護材 (9.2.5) 9. 仕上塗料 (9.2.6) 10. 防水 (9.2.7) 11. 断熱材 (9.2.8) 12. 保護材 (9.2.9) 13. 仕上塗料 (9.2.10) 14. 保護材 (9.2.11) 15. 保護材 (9.2.12) 16. 保護材 (9.2.13) 17. 保護材 (9.2.14) 18. 保護材 (9.2.15) 19. 保護材 (9.2.16) 20. 保護材 (9.2.17) 21. 保護材 (9.2.18) 22. 保護材 (9.2.19) 23. 保護材 (9.2.20) 24. 保護材 (9.2.21) 25. 保護材 (9.2.22) 26. 保護材 (9.2.23) 27. 保護材 (9.2.24) 28. 保護材 (9.2.25) 29. 保護材 (9.2.26) 30. 保護材 (9.2.27) 31. 保護材 (9.2.28) 32. 保護材 (9.2.29) 33. 保護材 (9.2.30) 34. 保護材 (9.2.31) 35. 保護材 (9.2.32) 36. 保護材 (9.2.33) 37. 保護材 (9.2.34) 38. 保護材 (9.2.35) 39. 保護材 (9.2.36) 40. 保護材 (9.2.37) 41. 保護材 (9.2.38) 42. 保護材 (9.2.39) 43. 保護材 (9.2.40) 44. 保護材 (9.2.41) 45. 保護材 (9.2.42) 46. 保護材 (9.2.43) 47. 保護材 (9.2.44) 48. 保護材 (9.2.45) 49. 保護材 (9.2.46) 50. 保護材 (9.2.47) 51. 保護材 (9.2.48) 52. 保護材 (9.2.49) 53. 保護材 (9.2.50) 54. 保護材 (9.2.51) 55. 保護材 (9.2.52) 56. 保護材 (9.2.53) 57. 保護材 (9.2.54) 58. 保護材 (9.2.55) 59. 保護材 (9.2.56) 60. 保護材 (9.2.57) 61. 保護材 (9.2.58) 62. 保護材 (9.2.59) 63. 保護材 (9.2.60) 64. 保護材 (9.2.61) 65. 保護材 (9.2.62) 66. 保護材 (9.2.63) 67. 保護材 (9.2.64) 68. 保護材 (9.2.65) 69. 保護材 (9.2.66) 70. 保護材 (9.2.67) 71. 保護材 (9.2.68) 72. 保護材 (9.2.69) 73. 保護材 (9.2.70) 74. 保護材 (9.2.71) 75. 保護材 (9.2.72) 76. 保護材 (9.2.73) 77. 保護材 (9.2.74) 78. 保護材 (9.2.75) 79. 保護材 (9.2.76) 80. 保護材 (9.2.77) 81. 保護材 (9.2.78) 82. 保護材 (9.2.79) 83. 保護材 (9.2.80) 84. 保護材 (9.2.81) 85. 保護材 (9.2.82) 86. 保護材 (9.2.83) 87. 保護材 (9.2.84) 88. 保護材 (9.2.85) 89. 保護材 (9.2.86) 90. 保護材 (9.2.87) 91. 保護材 (9.2.88) 92. 保護材 (9.2.89) 93. 保護材 (9.2.90) 94. 保護材 (9.2.91) 95. 保護材 (9.2.92) 96. 保護材 (9.2.93) 97. 保護材 (9.2.94) 98. 保護材 (9.2.95) 99. 保護材 (9.2.96) 100. 保護材 (9.2.97) 101. 保護材 (9.2.98) 102. 保護材 (9.2.99) 103. 保護材 (9.2.100) 104. 保護材 (9.2.101) 105. 保護材 (9.2.102) 106. 保護材 (9.2.103) 107. 保護材 (9.2.104) 108. 保護材 (9.2.105) 109. 保護材 (9.2.106) 110. 保護材 (9.2.107) 111. 保護材 (9.2.108) 112. 保護材 (9.2.109) 113. 保護材 (9.2.110) 114. 保護材 (9.2.111) 115. 保護材 (9.2.112) 116. 保護材 (9.2.113) 117. 保護材 (9.2.114) 118. 保護材 (9.2.115) 119. 保護材 (9.2.116) 120. 保護材 (9.2.117) 121. 保護材 (9.2.118) 122. 保護材 (9.2.119) 123. 保護材 (9.2.120) 124. 保護材 (9.2.121) 125. 保護材 (9.2.122) 126. 保護材 (9.2.123) 127. 保護材 (9.2.124) 128. 保護材 (9.2.125) 129. 保護材 (9.2.126) 130. 保護材 (9.2.127) 131. 保護材 (9.2.128) 132. 保護材 (9.2.129) 133. 保護材 (9.2.130) 134. 保護材 (9.2.131) 135. 保護材 (9.2.132) 136. 保護材 (9.2.133) 137. 保護材 (9.2.134) 138. 保護材 (9.2.135) 139. 保護材 (9.2.136) 140. 保護材 (9.2.137) 141. 保護材 (9.2.138) 142. 保護材 (9.2.139) 143. 保護材 (9.2.140) 144. 保護材 (9.2.141) 145. 保護材 (9.2.142) 146. 保護材 (9.2.143) 147. 保護材 (9.2.144) 148. 保護材 (9.2.145) 149. 保護材 (9.2.146) 150. 保護材 (9.2.147) 151. 保護材 (9.2.148) 152. 保護材 (9.2.149) 153. 保護材 (9.2.150) 154. 保護材 (9.2.151) 155. 保護材 (9.2.152) 156. 保護材 (9.2.153) 157. 保護材 (9.2.154) 158. 保護材 (9.2.155) 159. 保護材 (9.2.156) 160. 保護材 (9.2.157) 161. 保護材 (9.2.158) 162. 保護材 (9.2.159) 163. 保護材 (9.2.160) 164. 保護材 (9.2.161) 165. 保護材 (9.2.162) 166. 保護材 (9.2.163) 167. 保護材 (9.2.164) 168. 保護材 (9.2.165) 169. 保護材 (9.2.166) 170. 保護材 (9.2.167) 171. 保護材 (9.2.168) 172. 保護材 (9.2.169) 173. 保護材 (9.2.170) 174. 保護材 (9.2.171) 175. 保護材 (9.2.172) 176. 保護材 (9.2.173) 177. 保護材 (9.2.174) 178. 保護材 (9.2.175) 179. 保護材 (9.2.176) 180. 保護材 (9.2.177) 181. 保護材 (9.2.178) 182. 保護材 (9.2.179) 183. 保護材 (9.2.180) 184. 保護材 (9.2.181) 185. 保護材 (9.2.182) 186. 保護材 (9.2.183) 187. 保護材 (9.2.184) 188. 保護材 (9.2.185) 189. 保護材 (9.2.186) 190. 保護材 (9.2.187) 191. 保護材 (9.2.188) 192. 保護材 (9.2.189) 193. 保護材 (9.2.190) 194. 保護材 (9.2.191) 195. 保護材 (9.2.192) 196. 保護材 (9.2.193) 197. 保護材 (9.2.194) 198. 保護材 (9.2.195) 199. 保護材 (9.2.196) 200. 保護材 (9.2.197) 201. 保護材 (9.2.198) 202. 保護材 (9.2.199) 203. 保護材 (9.2.200) 204. 保護材 (9.2.201) 205. 保護材 (9.2.202) 206. 保護材 (9.2.203) 207. 保護材 (9.2.204) 208. 保護材 (9.2.205) 209. 保護材 (9.2.206) 210. 保護材 (9.2.207) 211. 保護材 (9.2.208) 212. 保護材 (9.2.209) 213. 保護材 (9.2.210) 214. 保護材 (9.2.211) 215. 保護材 (9.2.212) 216. 保護材 (9.2.213) 217. 保護材 (9.2.214) 218. 保護材 (9.2.215) 219. 保護材 (9.2.216) 220. 保護材 (9.2.217) 221. 保護材 (9.2.218) 222. 保護材 (9.2.219) 223. 保護材 (9.2.220) 224. 保護材 (9.2.221) 225. 保護材 (9.2.222) 226. 保護材 (9.2.223) 227. 保護材 (9.2.224) 228. 保護材 (9.2.225) 229. 保護材 (9.2.226) 230. 保護材 (9.2.227) 231. 保護材 (9.2.228) 232. 保護材 (9.2.229) 233. 保護材 (9.2.230) 234. 保護材 (9.2.231) 235. 保護材 (9.2.232) 236. 保護材 (9.2.233) 237. 保護材 (9.2.234) 238. 保護材 (9.2.235) 239. 保護材 (9.2.236) 240. 保護材 (9.2.237) 241. 保護材 (9.2.238) 242. 保護材 (9.2.239) 243. 保護材 (9.2.240) 244. 保護材 (9.2.241) 245. 保護材 (9.2.242) 246. 保護材 (9.2.243) 247. 保護材 (9.2.244) 248. 保護材 (9.2.245) 249. 保護材 (9.2.246) 250. 保護材 (9.2.247) 251. 保護材 (9.2.248) 252. 保護材 (9.2.249) 253. 保護材 (9.2.250) 254. 保護材 (9.2.251) 255. 保護材 (9.2.252) 256. 保護材 (9.2.253) 257. 保護材 (9.2.254) 258. 保護材 (9.2.255) 259. 保護材 (9.2.256) 260. 保護材 (9.2.257) 261. 保護材 (9.2.258) 262. 保護材 (9.2.259) 263. 保護材 (9.2.260) 264. 保護材 (9.2.261) 265. 保護材 (9.2.262) 266. 保護材 (9.2.263) 267. 保護材 (9.2.264) 268. 保護材 (9.2.265) 269. 保護材 (9.2.266) 270. 保護材 (9.2.267) 271. 保護材 (9.2.268) 272. 保護材 (9.2.269) 273. 保護材 (9.2.270) 274. 保護材 (9.2.271) 275. 保護材 (9.2.272) 276. 保護材 (9.2.273) 277. 保護材 (9.2.274) 278. 保護材 (9.2.275) 279. 保護材 (9.2.276) 280. 保護材 (9.2.277) 281. 保護材 (9.2.278) 282. 保護材 (9.2.279) 283. 保護材 (9.2.280) 284. 保護材 (9.2.281) 285. 保護材 (9.2.282) 286. 保護材 (9.2.283) 287. 保護材 (9.2.284) 288. 保護材 (9.2.285) 289. 保護材 (9.2.286) 290. 保護材 (9.2.287) 291. 保護材 (9.2.288) 292. 保護材 (9.2.289) 293. 保護材 (9.2.290) 294. 保護材 (9.2.291) 295. 保護材 (9.2.292) 296. 保護材 (9.2.293) 297. 保護材 (9.2.294) 298. 保護材 (9.2.295) 299. 保護材 (9.2.296) 300. 保護材 (9.2.297) 301. 保護材 (9.2.298) 302. 保護材 (9.2.299) 303. 保護材 (9.2.300) 304. 保護材 (9.2.301) 305. 保護材 (9.2.302) 306. 保護材 (9.2.303) 307. 保護材 (9.2.304) 308. 保護材 (9.2.305) 309. 保護材 (9.2.306) 310. 保護

⑥シーリング (9.7.2) (9.7.3) (表9.7.1) (9.7.5)	●標準仕様書[表9.7.1]による 施工箇所 目地寸法 種類 誘発目地 20×10 MS-2 金物取合 10×10 MS-2 建具枠廻り 10×10 MS-2 その他 10×10 MS-2	5.内壁空積工法 (10.2.2) (10.3.3) (10.4.2) 受け金物の材質、形状、寸法 ・図示(図面番号:) 下地ごしらえ ・あと施工アンカー横筋流し工法 あと施工アンカーの材質及び形状 目地一般目地 目地幅(mm) 6以上 () シーリング材・適用する 伸縮調整目地 位置 6mごと 国示(図面番号:) シーリング材の目地寸法 幅、深さとも10mm以上 国示(図面番号:)	11タ イ ル 工 事	1.伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3) 位置 標準仕様書[表11.1.1] ・図示(図面番号:) 2.陶磁器質 タイル張り (表11.2.3) (11.2.2) (11.3.2) (11.3.4) 目地一般目地 目地幅(mm) 6以上 () シーリング材・適用する 伸縮調整目地 位置 6mごと 国示(図面番号:) シーリング材の目地寸法 幅、深さとも10mm以上 国示(図面番号:)	4.単板積層材 (12.2.1) 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 厚さ、表面の品質及び防虫加工 ・図示(図面番号:) 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 厚さ、表面の品質、含水率及び防虫加工 ・図示(図面番号:)	5床張り用合板 及びその他の合板 (12.2.1) 部材名称 樹種名 接着の程度 等級 板面の品質 防虫処理等 厚さ 床下地 ラーチ — — — — 12	
10 石 工 事	1.天然石 (10.2.1) (表10.2.1) (表10.2.2) (10.1.3) (10.1.5) (表10.2.1) (10.3.2) 2.テラゾ (10.2.1) (表10.2.2) (10.1.3) (10.1.5) 3.その他の材料 (10.3.2) 4.外壁湿式工法 (10.2.2) (10.2.3) (10.3.2) (10.3.3) 下地ごしらえ ・流し筋工法 あと施工アンカーア工法 あと施工アンカーハ横筋流し工法 アンカーア材質及び径 SS400 M12 () あと施工アンカーア材質及び形状 () 目地一般目地 目地幅(mm) 6以上 () シーリング材・適用する 伸縮調整目地 位置 標準仕様書[表11.1.1] 国示(図面番号:) シーリング材の目地寸法 幅、深さとも10mm以上 国示(図面番号:)	6.乾式工法 (10.2.2) (10.5.2) (10.5.3) 取り付け工法 ・スライド方式 ロッキング方式 たぼ用穴の位置 国示(図面番号:) 圧力に対応した工法 国示(図面番号:) あと施工アンカーア材質及び形状 () 目地 目地幅(mm) 8以上 () シーリング材・適用する 7.床及び階段 の石張り (10.3.3) (10.6.2) (10.6.3) 目地一般目地 目地幅(mm) 屋内4mm以上、屋外3~6mm 国示(図面番号:) シーリング材・適用する 伸縮調整目地 位置 標準仕様書[10.6.2](e)(2)(i) 国示(図面番号:) シーリング材の目地寸法 幅、深さとも10mm以上 国示(図面番号:) 8.アーチ、上部裏 等の石張り (10.2.2) (10.3.3) 取付工法 外壁湿式工法 内壁空積工法 乾式工法 取付け金物 標準仕様書[10.2.2](c) () 吊り金物及び化粧吊りボルト 設ける 吊り金物 ステンレス(SUS304) 径6mm長さ80mm(加工物) 吊りボルト ステンレス(SUS304) M10 化粧ナット付き 及び他の部材と取り合う箇所 アンカーア材質及び径 () あと施工アンカーア材質及び形状 () 目地一般目地 目地幅(mm) 6以上 () 伸縮調整目地 位置 国示(図面番号:) シーリング材の目地寸法 幅、深さとも10mm以上 国示(図面番号:) 9.釜木、甲板等 (10.2.2) (10.3.3) (10.5.3) (10.7.1) (10.7.3) 取付工法 外壁湿式工法 内壁空積工法 乾式工法 取付け金物 標準仕様書[10.2.2](c) () 取付け(乾式工法の場合)(mm) 標準仕様書[10.5.3](b) () アンカーア材質及び径 () あと施工アンカーア材質及び形状 () 石裏の補強用モルタル(乾式工法の場合) 適用する 国示(図面番号:) 目地一般目地 目地幅(mm) () シーリング材・適用する 伸縮調整目地(外壁湿式工法の場合) 位置 国示(図面番号:) シーリング材の目地寸法 幅、深さとも10mm以上 国示(図面番号:) 10.隔て板 (10.7.4) 石材の厚さ ()	12木 工 事	1.木材 (12.1.4) (表12.1.1) (12.2.1) 見え掛り部の表面仕上げ A種 B種 C種 適用箇所 () 木材の含水率 部材名称 種別 下地材 A種 B種 造作材 A種 B種 樹種 国示(図面番号: A-11、A-17、A-18) 2.製材 (12.2.1)(b)(1) 「製材の日本農林規格」による製材 樹種・寸法・形状 等級 含水率 下地用 鈴葉樹製材 () 造作用 鈴葉樹製材 () 広葉樹製材 () 10%以下 12.2.1(b)(2) (表12.2.2) (表12.2.3) 「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種・寸法、防虫処理、難燃処理及び含水率 国示(図面番号:) 造作材の材面の品質 A種 () 樹種 部位 樹種 県産材 代用樹種の使用 禁止する 3.集成材等 (12.2.1) 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 樹種・寸法・形状 等級 化粧薄板厚さ 造作用集成材 () 1等 () 化粧ばり造作用集成材 () 化粧ばり構造用集成材 ()	13屋 根 及 び と い 工 事	1.長尺金属板 葺 (13.2.2) (13.2.3) (表13.2.1) 屋根葺形式 材種 厚さ 屋根葺形 (mm) 下葺の種類 備考 塗装溶融55%アルミニウム・亜鉛合金メッキ鋼板 0.4 アスファルトルーフィング940 耐風圧及び積雪荷重に対応した工法 国示(図面番号:) 雪止め 国示(図面番号:) 2.折板葺 (13.3.2) (13.3.3) 屋外トリル棟 緊結方法 板厚(mm) 山の高さ(mm) 山のピッチ(mm) 耐力区分 重ね形 0.8 90 500 () 材種 軒先戸面板 はぜ縫め形 塗装溶融55%アルミニウム・亜鉛合板めっき鋼板 () あり なし 断熱材 種別 ガラス繊維シート () 厚さ(mm) 0.5 () 防火性能 () 風圧力及び積雪荷重に対応した工法 国示(図面番号:) 3.粘土瓦葺 (13.4.2) (13.4.3) 種類 大きさ 产地 役物の種類 棟の工法 雪止め瓦 使用する 瓦棟木の材種、寸法 杉又は桧 21×15 () 棟補強用心材の材種、寸法 杉又は桧 40×30 () 下葺材料の種類 () 風圧力及び積雪荷重に対応した工法 国示(図面番号:) 棟木の留付け工法 国示(図面番号:) 棟の工法 標準仕様書[13.4.3](d) 国示(図面番号:)	



④とい (13.5.2) (表13.5.1) (13.5.3) (表13.5.5)	材種	◎ 硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) ・ 配管用鋼管(白管) ・ ()	床の目地	既製目地材 ・ 使用する 図示(図面番号:) 床の目地 ・ 国示(図面番号:)	⑯ 左 官 工 事	1. モルタル塗り (15.2.2) (15.2.5) 2. カルフレーリング (15.4.2) 3. 仕上塗材仕上 (15.5.2) (表15.5.1)	下地モルタルの接着力試験(外壁タイル張り等) ・ 実施する
	鋼管製といいの防露巻工法	・ 標準仕様書[表13.5.5] ・ ()	種類	せっこう系 ◎セメント系			
	標準仕様書[表13.5.5]	・ ()	種類	呼び名	仕上形状	工法	
⑭ 金 屬 工 事	1.あと施工 アンカー (14.1.3)	引抜き耐力の確認試験 ・ 実施する 設計用引張強度 ・ ()	官 工 事	薄付仕上塗材	・ 外装薄塗材E ・ 着色骨材砂壁状 ・ ()	・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状 ・ ()	・ 吹付け ・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし
	2.ステンレス (14.2.1)	表面仕上げ ◎ HL仕上げ ・ ()		厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C ・ ()	・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ こて	・ 吹付け
	3.アルミニウム (14.2.2) (表14.2.1)	表面処理の種別 ・ A-1 ◎ A-2 B-1 B-2 C-1 C-2 D 常温乾燥形の塗装 ・ ()		複層仕上塗材	・ 外装厚塗材Si ・ ()	・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ こて	・ 吹付け
⑮ 金 屬 工 事	4.鉄鋼の亜鉛 めっき (14.2.3)	亜鉛めっきの種別 ・ A種 ◎ B種 C種 D種 E種 F種	官 工 事	複層仕上塗材	・ 外装厚塗材E ・ ()	・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水型複層塗材E ・ 防水型複層 塗材RE ・ ()	・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ ひき起こし ・ ローラー
	5.軽量鉄骨 天井下地 (14.4.2)	野縁などの種類 屋内 ◎ 19形 ・ ()		軽量骨材 仕上塗材	・ 吹付用軽量塗材 ・ ()	・ 砂壁状 ・ 平たん状	・ 吹付け
	(表14.4.1)	屋外の野縁受等の間隔 ・ 国示(図面番号:)					
⑯ 金 屬 工 事	(14.4.3)	吊りボルトの補強方法(@900mm超) ・ 国示(図面番号:)	官 工 事				
	(表14.4.2)	吊りボルトの水平補強、斜め補強 ・ 天井ふところ≥1.5m ・ 標準仕様書[14.4.4](h) ・ 国示(図面番号:)					
	(14.4.4)	・ 天井ふところ>3.0m ・ 国示(図面番号:)					
⑰ 金 屬 成 形 板	6.軽量鉄骨壁 下地 (14.5.3) (表14.5.1)	天井ふとろ ・ 耐震天井 ・ 耐風圧の補強 国示(図面番号:)	官 工 事				
	7.金属成形板 板張り (14.6.2) (14.6.3)	スタッド、ランナーの種類 ◎ 標準仕様書[表14.5.1] ・ 国示(図面番号:)					
	(表15.5.2)	スタッドの高さ5m超 ◎ 国示(図面番号: A-10)					
⑱ アルミニウム 製笠木 (14.7.2)(14.7.3) (表14.7.1)	施工箇所	軒裏					
	材種	◎ アルミニウム ・ ステンレス 鋼					
	形状	◎ スパンドレル形 ・ パネル形					
⑲ 角すり (14.8.2)	表面処理	・					
	取付け用下地	◎ 国示(図面番号: A-19)					
	長尺ものにおける伸縮調整継手 ・ 設ける	国示(図面番号:)					
⑳ アルミニウム 製笠木 (14.7.2)(14.7.3) (表14.7.1)	部材の種類	◎ 200形 250形 300形 350形 ◎ 400形					
	表面処理	◎(電解着色)					
	固定方法	◎ 国示(図面番号: A-19)					
㉑ 角すり (14.8.2)	材種	表面処理の種別	施工箇所				
	アルミニウム	◎ 標準仕様書[表14.2.1]の種別(A-2種) ・ ()	屋上				
	鋼	・ 標準仕様書[表14.2.2]の種別(種) ・ ()					
㉒ タラップ (14.8.3)	ステンレス	・ HL程度 ・ ()					
	材種	表面処理の種別	施工箇所				
	鋼	・ 標準仕様書[表14.2.2]の種別(種) ・ ()					
㉓ 天井見切縁	ステンレス	◎ HL					
	材種	アルミニウム合金製 ◎ 塩化ビニル製					
	取付箇所	材種 尺法 形式					
㉔ 点検口	◎ 天井	◎ アルミニウム製 450角 600角	◎ 額縁タイプ ・ 目地タイプ				
	床	・ アルミニウム製 450角 600角					
㉕ 天井見切縁							
㉖ 点検口							

ユ ニ ツ 及 び そ の 他 工 事	②0	5. 著段滑り止め (20. 2. 6) 寸法 ○ 約35mm 工法 ○ 接着工法 埋込み工法 6. 黒板及び ホワイトボード (20. 2. 8) 7. 鏡 (20. 2. 14) 8. 表示 (20. 2. 10) 9. 煙突 ライニング (20. 2. 11) 10. ブラインド (20. 2. 12) 11. ロール スクリーン (20. 2. 13) 12. カーテン及び カーテンレール (20. 2. 14)	○ ステンレスSUS304製 ピニルタイヤ入り(両端フラットエンド付き) ・ () 寸法 ○ 約35mm ・ 図示(図面番号:) 工法 ○ 接着工法 埋込み工法 黒板の種類 ・ 焼付け ・ () 黒板の色 ・ 緑 ・ () 厚さ ○ 5mm(防湿、SUS枠) ・ (mm) 区分 材質 厚さ 寸法 印刷等の種類 取付方法 ○ 室名札 ○ アクリル ○ 5mm 図示 (図面番号: A-19) ・ () ○ 案内板 ○ アクリル ○ 6mm 図示 (図面番号: A-19) ・ () ・ 衝突防止表示 図示(図面番号: A-15) ・ 非常用進入口表示 図示(図面番号:) 煙突用成形ライニング材 ・ リバウト系けい酸がい粉 ・ 心材付き繊維積層 適用安全使用温度 ・ (°C) 形式 スラット 開閉方式 スラットの成形幅(mm) ヘッドボックス・ボトムレールの種類 ○ 横形 ブラインド ○ アルミニウム合金 ・ () ・ ギヤ式 ○ コード式 ・ () ○ 鋼製 ・ () ・ 縦形 ブラインド ○ アルミニウム合金 ・ () ・ ギヤ式 ○ コード式 ・ () ・ 100 ・ () 操作方法 ・ スプリング式 ・ コード式 ・ 電動式 寸法及び材種 ・ 図示(図面番号:) カーテンの形式等 きれ地 ひだの種類 形式 開閉操作 ・ ドレープ ・ フランスひだ ・ 箱ひだ ・ つまひだ ・ 図示() ・ ブレーンひだ ・ 片ひだ ・ 暗幕 ・ () ・ () ・ () カーテンレール ○ アルミ製 ・ ステンレス製 強さ区分 ○ 10~90 ・ () 形状 ○ シングル ・ ダブル 断面形状 ○ 角形 ・ C形 ・ D形 補強鉄線の径 ・ 3.2mm ・ () 設計基準強度Fc ・ 図示(図面番号:) 配筋 ・ 図示(図面番号:) 取付方法 ・ 図示(図面番号:) 材種 ・ () 種類及び質量区分 ・ 図示(図面番号:) 積み方 ・ 谷積み ・ 布積み 目塗り ・ () 伸縮調整目地 ・ 材種() ・ 厚さ(mm)	21	1. 排水管 (21. 2. 1) (表21. 2. 1)	排水管用材料 材種 管の種類 呼び径 備考 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 VP	2. 排水樹等 (21. 2. 1)	3. アスファルト 舗装 (22. 4. 2) ~ (22. 4. 6) (表22. 4. 1) ~ (表22. 4. 6)	舗装厚 ・ A-5-15 ・ A-3-10 ・ () 表層及び基層の種類 ・ 加熱アスファルト混合物 路盤材料 ・ クラッシャラン ・ 再生材クラッシャラン ・ () シールコートの施工 ・ 行う(適用範囲 図示(図面番号:)) 試験 ・ アスファルト混合材等の抽出試験	4. 新植樹木の 枯補償 (23. 3. 4) 5. 移植樹木の 枯損処理 (23. 3. 6) 6. 芝 (23. 4. 2) (23. 4. 3) 7. 屋上緑化 (23. 5. 3) (23. 5. 4)	引渡しの日から ・ 1年 ・ ()
	22	1. 路床 (22. 2. 2) (22. 2. 3) (表22. 2. 2) (22. 2. 4) (22. 2. 5)	路床の材料(厚さは図示(図面番号:)) ・ 透断層 ・ 川砂 ・ 海砂又は良質な山砂 ・ 凍上抑制層 ・ 切込み砂利 ・ 砂 ・ フィルター層 ・ 砂 路床安定処理 ・ 行う 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰()号 ・ 消石灰()号 添加量()kg/m ² (目標CBR ・ 5以上 ・ ())	2. フェンス (22. 7. 2) (表22. 7. 1)	透水性アス ファルト舗装 厚さ(mm) ・ () ・ 図示(図面番号:)	6. 透水性アス ファルト舗装 厚さ(mm) ・ () ・ 図示(図面番号:)	7. ブロック系舗装 (22. 8. 2) (22. 8. 3)	1. 旗竿 材種 ・ アルミニウム製 ・ () 形式 テーパー付き ・ ロープ式 ・ ハンドル式 脚部 ・ 埋込式 ・ ベース式 高さ(m) ・ 5 ・ 6 ・ 7			
	23	2. 路盤 (22. 3. 2) (表22. 3. 1) (22. 3. 3) (22. 3. 5)	路盤の材料(厚さは図示(図面番号:)) ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 C種の場合: 建設発生土受入量()m ³ 片道の運搬距離()km 試験 ・ 路床土の支持力比(CBR)試験 ・ 路床締固め度の試験 ・ 現場CBR試験	3. 地業の材料 (21. 2. 1)	3. 地業 ・ 再生クラッシャラン ・ 切込み砂利又は切込み碎石 ・ 砂の粒度試験	4. コンクリート 舗装 (22. 5. 2) ~ (22. 5. 6) (表22. 5. 1)	5. カラー舗装 (22. 6. 2) (22. 6. 3)	6. 早強セメント ・ 使用しない 注入目地材料 ・ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 目地 ・ 種類() ・ 間隔() 構造 ・ 標準仕様書[図22. 5. 1] ・ ()	7. 屋上緑化 ・ 土壤層の厚さ ・ 土壤層 ・ 排水量 ・ 軽量骨材(層の厚さ:) ・ 植込み用土 ・ 改良土 ・ 人工軽量土 ・ 樹木の材種 ・ 図示(図面番号:) ・ 尺寸 ・ 図示(図面番号:) ・ 株立数 ・ 図示(図面番号:) ・ 屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ・ 図示(図面番号:) 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ・ 図示(図面番号:) 支柱 ・ 図示(図面番号:) かん水装置 ・ 図示(図面番号:)		
	24	3. 植樹 (23. 3. 2) (23. 3. 3) (表23. 2. 2)	8. 砂利敷き (22. 9. 2)	9. 旗竿 材種 ・ アルミニウム製 ・ () 形式 テーパー付き ・ ロープ式 ・ ハンドル式 脚部 ・ 埋込式 ・ ベース式 高さ(m) ・ 5 ・ 6 ・ 7	1. 旗竿 材種 ・ アルミニウム製 ・ () 形式 テーパー付き ・ ロープ式 ・ ハンドル式 脚部 ・ 埋込式 ・ ベース式 高さ(m) ・ 5 ・ 6 ・ 7	1. 旗竿 材種 ・ アルミニウム製 ・ () 形式 テーパー付き ・ ロープ式 ・ ハンドル式 脚部 ・ 埋込式 ・ ベース式 高さ(m) ・ 5 ・ 6 ・ 7	2. フェンス (22. 7. 2) (表22. 7. 1)	1. 旗竿 材種 ・ アルミニウム製 ・ () 形式 テーパー付き ・ ロープ式 ・ ハンドル式 脚部 ・ 埋込式 ・ ベース式 高さ(m) ・ 5 ・ 6 ・ 7			



管理棟 外部仕上																不燃・準不燃材料認定番号					
屋根	改質アクリル防水保護コート直均し仕上げ 成型伸縮目地:シリコンゴム製 t=25			開口部	玄関ドア:7mm製 窓:7mmサッシ(7mm処理) 扉:スチードドア(フッ素樹脂焼付塗装)																
パラペット	笠木:7mm製押出材 W=400 立上り:突出アクリル防水																				
ルーフドレイン	錆鉄製ドレインφ100 横引き			断熱材	屋根 硬質ウレタン t=35 外壁 グリセリン24kg/m3 t=100 充填 土間下:硬質ウレタン t=30 その他																
堅 橋	硬質ウレタン化粧管 φ100 (ホルト) 掘み金物: SUS 既製品 φ1200																				
外 壁	窓枠系タイピング t=16 横張(通気工法)																				
軒 裏	ケイカル板 t=8 NAD																				
巾 木	化粧合板型枠コート打放し 誘発目地@1,200 接着剤塗布																				
キヤドー	耐火野地板t=12 屋根:FRP防水 軒裏:7mmハンドル																				
庇	7mm製 既製品 D=600 W=2,300																				
																※アライド等は防炎物品とする。					

■内部仕上表

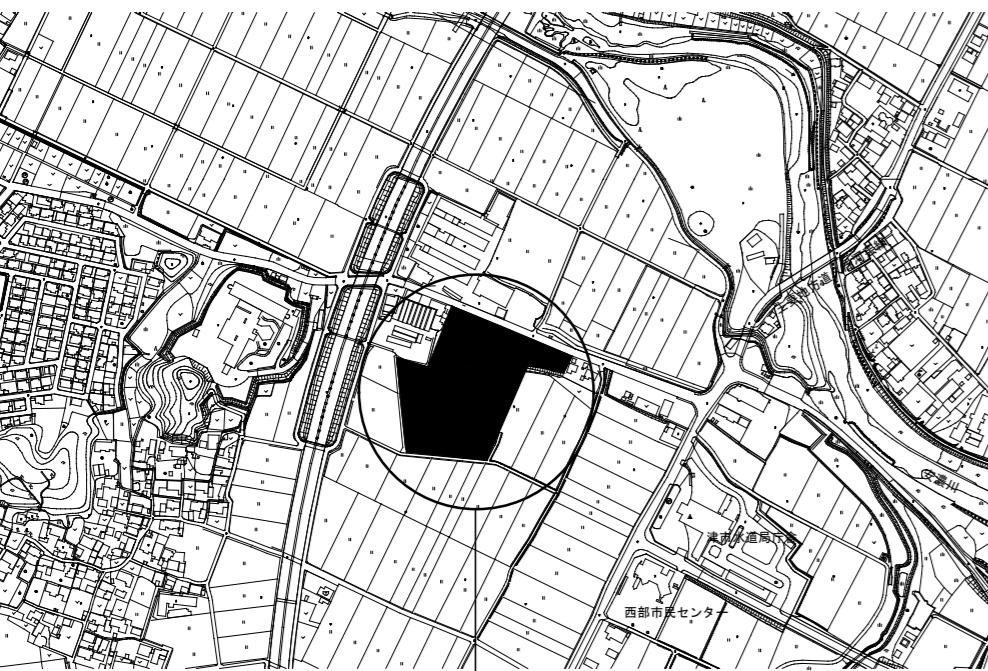
階	室名	床			巾木	壁			天井				室名札	備考	
		FL	下地	仕上		仕上高さ	下地	仕上	柱型	下地	仕上	梁型			
管理棟															
1階	玄関	FL±0	RC	セラフレーリング t=17 + 防滑ビニール床シート t=2.5	ビニール幅木 H=60	LGS	GB-R t=12.5 + ビニール	—	LGS	GB-D t=9.5	—	塗装	2,700	—	SUS製玄関マット ノンスリップタイプ 1,500×900
	階段下倉庫	FL-20	—	シリコン直均し塗床仕上げ	ビニール幅木 H=60	LGS	GB-R t=12.5 NAD	—	—	階段裏表し SOP	—	—	直天	○	—
ロビー 休憩コーナー	FL±0	RC	セラフレーリング t=17 + ビニール床シート t=2.5	ビニール幅木 H=60	LGS	GB-R t=12.5 + ビニール	GB-R t=12.5 + ビニール	LGS	GB-D t=9.5	—	塗装	2,700	○(休憩コーナー)	案内版(ロビー) W1100×H1100、マグネット掲示板(ロビー) W1800×H900 7mm製ブライドボックス、ブライド	
廊下 通用口	FL±0	RC	セラフレーリング t=17 + ビニール床シート t=2.5	ビニール幅木 H=60	LGS	GB-R t=12.5 + ビニール 一部: GB-R t=12.5×2 + ビニール	—	LGS	GB-D t=9.5	—	塗装	2,700	—	消火器、消火器ボックス	
事務室	FL±0	RC	OA机下 H=50 + タイプベット t=6.5 (帯電防止)	ビニール幅木 H=60	LGS	GB-R t=12.5 + ビニール	GB-R t=12.5 + ビニール	LGS	GB-D t=9.5	—	塗装	2,700	○	受付カウンター、7mm製ブライドボックス、ブライド キーBOX:ミチル製 W:317・D:124・H:310 テンキータイプ	
湯沸コーナー	FL±0	RC	セラフレーリング t=17 + ビニール床シート t=2.5	ビニール幅木 H=60	LGS	GB-S t=12.5 + ビニール	GB-S t=12.5 + ビニール	LGS	GB-D t=9.5	—	塗装	2,700	—	ミニキッチン L=1,200 屋内、7mm製カナレル	
医務室	FL±0	RC	セラフレーリング t=17 + ビニール床シート t=2.5 (抗菌タイプ)	ビニール幅木 H=60	LGS	GB-R t=12.5 + ビニール (不燃) GB-S t=12.5 + ビニール (不燃)	GB-R t=12.5 + ビニール (不燃) GB-S t=12.5 + ビニール (不燃)	LGS	GB-D t=9.5 + ビニール (不燃)	—	塗装	2,700	○	ミニキッチン L=900 屋内、製水機(設備工事) 7mm製カナレル	
男子更衣室 女子更衣室	FL+100 (踏込: FL±0)	RC	FF H=100 + 合板t=12 + ビニール床シート t=2.5	ビニール幅木 H=60	LGS	GB-R t=12.5 + ビニール シャワーブース前室: GB-S t=12.5 + ビニール 一部: GB-R t=12.5×2 + ビニール	GB-R t=12.5 + ビニール シャワーブース前室: GB-S t=12.5 + ビニール 一部: GB-R t=12.5×2 + ビニール	LGS	GB-D t=9.5	—	塗装	2,600	○	ライング天端:ボストフーム t=20、シャワーコネクト 0808#バ' 7mm製カナレル、SUS製上蓋H=100、シャワーブース前室等壁: GB-S t=12.5 ロッカ(男女更衣室とも) 六人用: SLD-6-S2×6ヶずつ	
障がい者用更衣室	FL±0	RC	セラフレーリング t=17 + ビニール床シート t=2.5	ビニール幅木 H=300	LGS	GB-R t=12.5 + ビニール	GB-R t=12.5 + ビニール	LGS	GB-D t=9.5	—	塗装	2,700	○	—	
男子便所	FL±0	RC	セラフレーリング t=17 + ビニール床シート t=2.5 (汚防タイプ)	ビニール幅木 H=60	LGS	GB-S t=12.5 + ブラッシュ化粧板 t=3.0 一部: GB-S t=12.5×2 + ブラッシュ化粧板 t=3.0 (GW-24kg/m3 t=50充填)	GB-S t=12.5 + ブラッシュ化粧板 t=3.0 (GW-24kg/m3 t=50充填)	LGS	GB-D t=9.5	—	塗装	2,700	○	トイレ天端:高圧ラミン化粧板ラッソ t=40 ライング天端:ボストフーム t=20 汚垂天端:TOTOKOバフロード	
女子便所	FL±0	RC	セラフレーリング t=17 + ビニール床シート t=2.5 (汚防タイプ)	ビニール幅木 H=60	LGS	GB-S t=12.5 + ブラッシュ化粧板 t=3.0 一部: GB-S t=12.5×2 + ブラッシュ化粧板 t=3.0 (GW-24kg/m3 t=50充填)	GB-S t=12.5 + ブラッシュ化粧板 t=3.0 一部: GB-S t=12.5×2 + ブラッシュ化粧板 t=3.0 (GW-24kg/m3 t=50充填)	LGS	GB-D t=9.5	—	塗装	2,700	○	トイレ天端:高圧ラミン化粧板ラッソ t=40 ライング天端:ボストフーム t=20	
多目的便所	FL±0	RC	セラフレーリング t=17 + ビニール床シート t=2.5 (汚防タイプ)	ビニール幅木 H=300	LGS	GB-S t=12.5 + ブラッシュ化粧板 t=3.0 (GW-24kg/m3 t=50充填)	GB-S t=12.5 + ブラッシュ化粧板 t=3.0 (GW-24kg/m3 t=50充填)	LGS	GB-D t=9.5	—	塗装	2,700	○	ライング天端:ボストフーム t=20	
倉庫	FL-20	—	シリコン直均し塗床	ビニール幅木 H=60	LGS	GB-R t=12.5 NAD	GB-R t=12.5 NAD	LGS	GB-D t=9.5	—	塗装	2,720	○	—	
2階	廊下	FL±0	RC	セラフレーリング t=17 + ビニール床シート t=2.5	ビニール幅木 H=60	LGS	GB-R t=12.5 + ビニール	—	LGS	GB-D t=9.5	—	塗装	2,700	—	—
会議室(1) 会議室(2) 会議室(3)	FL±0	RC	セラフレーリング t=17 + ビニール床シート t=2.5	ビニール幅木 H=60	LGS	GB-R t=12.5 + ビニール	GB-R t=12.5 + DR t=12	LGS	GB-D t=9.5 + DR t=12	—	塗装	2,700	○	7mm製ブライドボックス、会議室(1):出窓板:ラミン化粧板 t=30 会議室(2):移動簡仕切 遮音ドア(表面化粧板仕上) 会議室(3):ミニキッチン L=900 屋内	
共通	階段	—	S	モルタル金具 t=37 + ビニール床シート t=2.5	サザンアルク部 SOP	LGS	GB-R t=12.5 + ビニール	—	LGS	GB-D t=9.5	—	塗装	—	—	SUS製ワイヤーフック W=40 ゴム入り 樹脂製手摺 Ø34、階数表示 点字タグ 300×300

※内装仕上材は全てF★★★★以上とする。

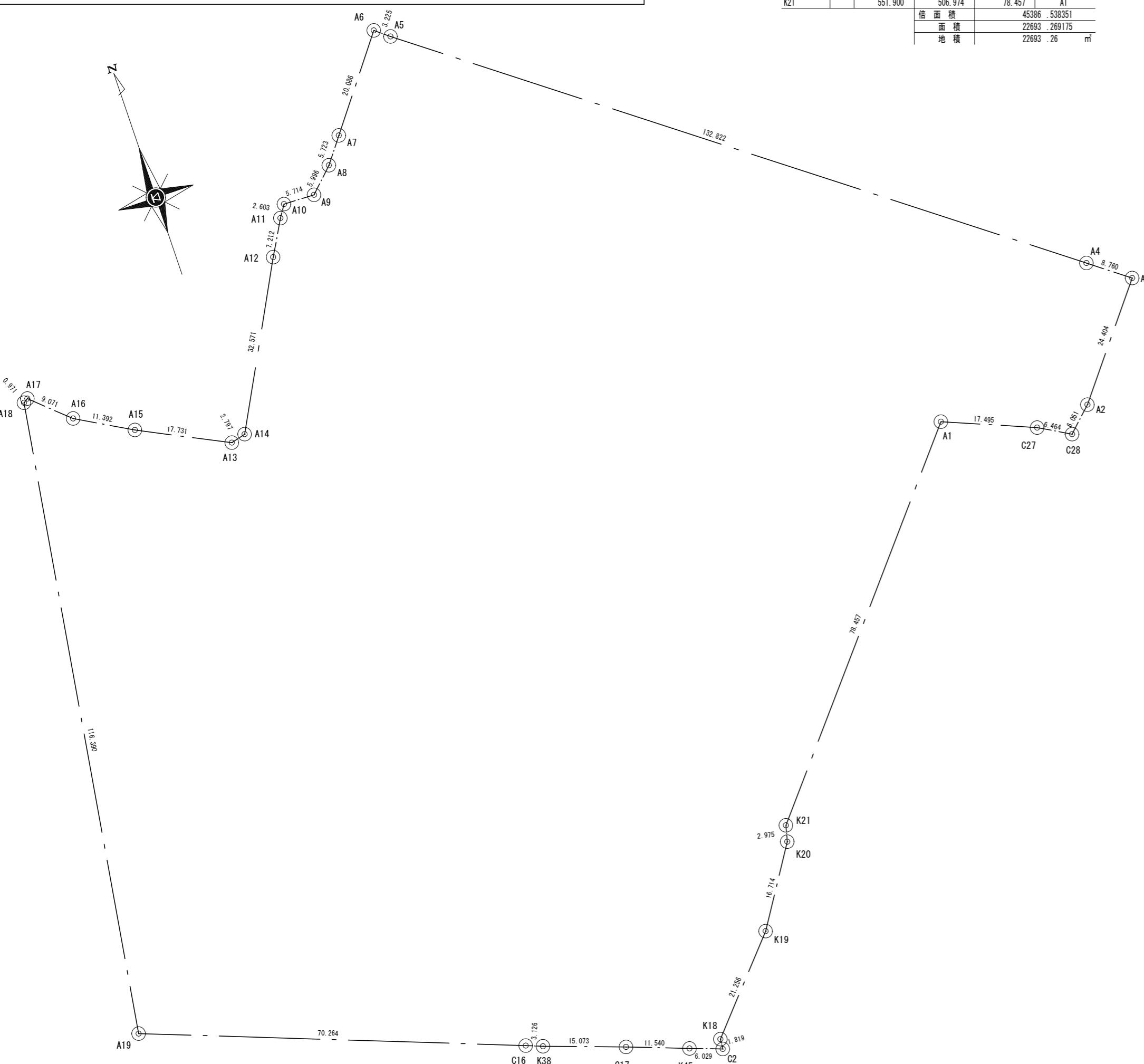
※石縫含有建材は使用しない。

表示 略号	EP 合成樹脂エマルションペイント塗り		OS オイルステイン塗り	ALC 軽量空気コンクリートパネル	GB-R セラフレーリング	RW ロックウール	SLF 均しモルタル(セルフレーリング工法)	御承認	作図	工事名称
----------	---------------------	--	--------------	-------------------	---------------	-----------	------------------------	-----	----	------

■付近見取図

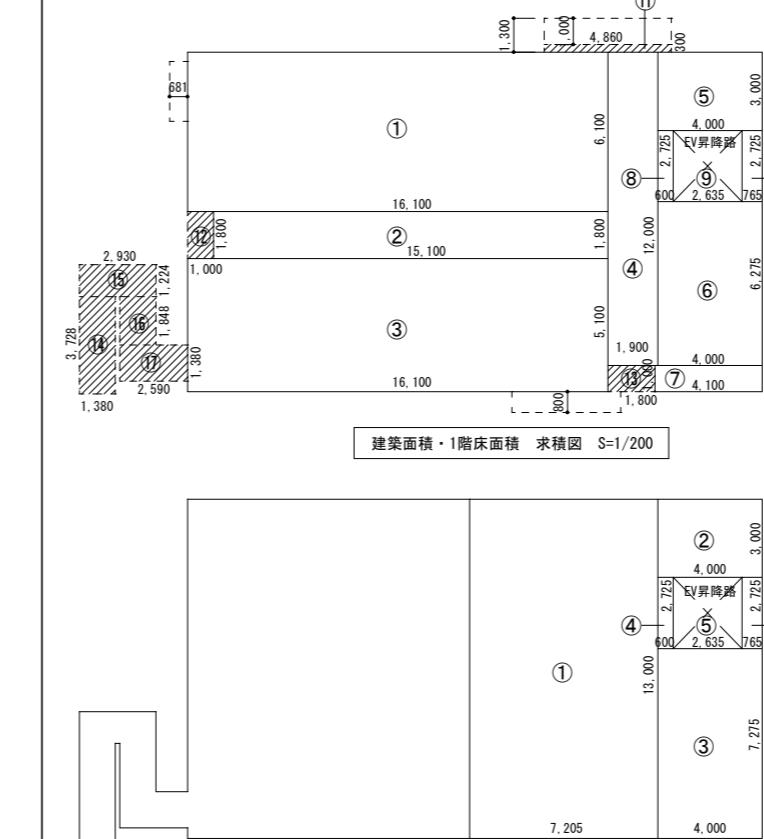


■敷地求積図 S=1/500

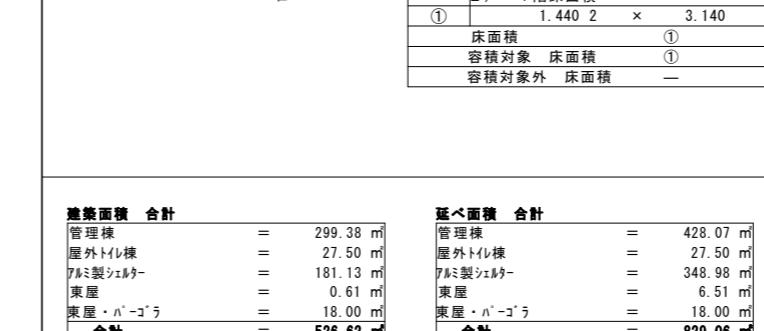
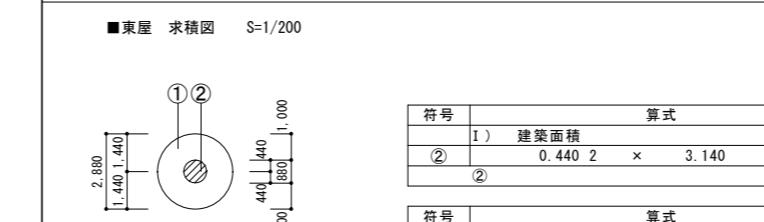


■面積表 S=1/200

■管理棟 求積図 S=1/200



建築面積・1階床面積 求積図 S=1/200



建築面積 合計

管理棟 = 299.38 m²屋外トイレ棟 = 27.50 m²T字型シャンク = 13.16 m²東屋 = 0.61 m²東屋・n'-g' = 18.00 m²合計 = 526.62 m²延べ面積 = 428.07 m²管理棟 = 428.07 m²屋外トイレ棟 = 27.50 m²T字型シャンク = 34.86 m²東屋 = 6.51 m²東屋・n'-g' = 18.00 m²合計 = 514.70 m²

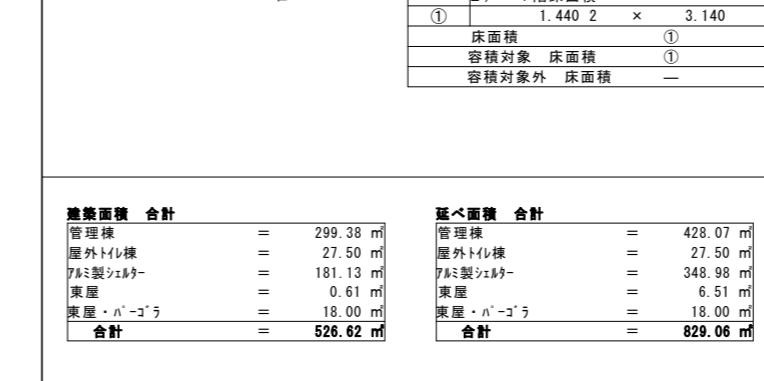
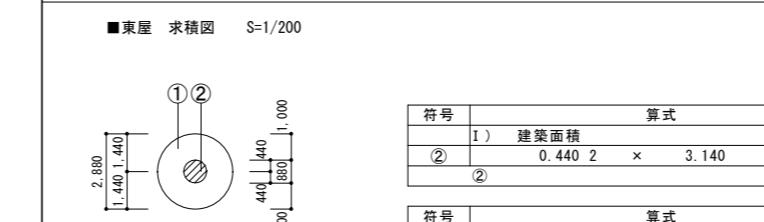
容積対象床面積 合計

管理棟 = 413.71 m²屋外トイレ棟 = 27.50 m²T字型シャンク = 34.86 m²東屋 = 6.51 m²東屋・n'-g' = 18.00 m²合計 = 514.70 m²敷地面積 22,693.26 m²

建蔽率 526.62 / 22,693.26 × 100 = 2.32 %

容積率 814.70 / 22,693.26 × 100 = 3.59 %

2階床面積 求積図 S=1/200



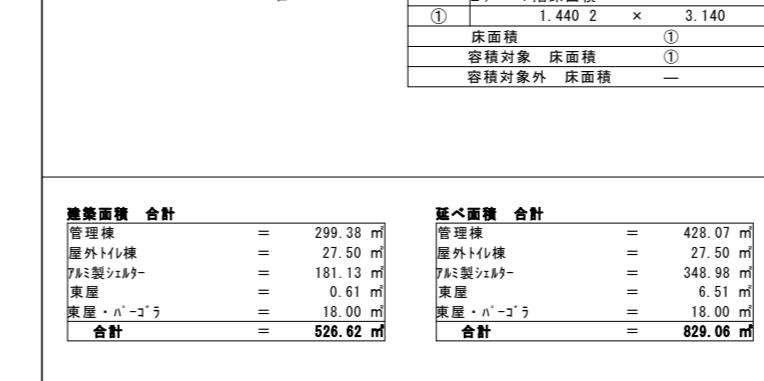
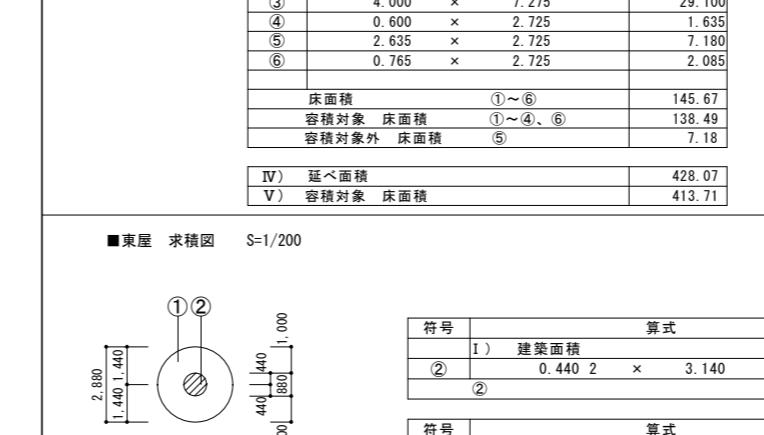
建築面積 合計

管理棟 = 299.38 m²屋外トイレ棟 = 27.50 m²T字型シャンク = 13.16 m²東屋 = 0.61 m²東屋・n'-g' = 18.00 m²合計 = 526.62 m²延べ面積 = 428.07 m²管理棟 = 428.07 m²屋外トイレ棟 = 27.50 m²T字型シャンク = 34.86 m²東屋 = 6.51 m²東屋・n'-g' = 18.00 m²合計 = 514.70 m²

容積対象床面積 合計

管理棟 = 413.71 m²屋外トイレ棟 = 27.50 m²T字型シャンク = 34.86 m²東屋 = 6.51 m²東屋・n'-g' = 18.00 m²合計 = 514.70 m²

3階床面積 求積図 S=1/200



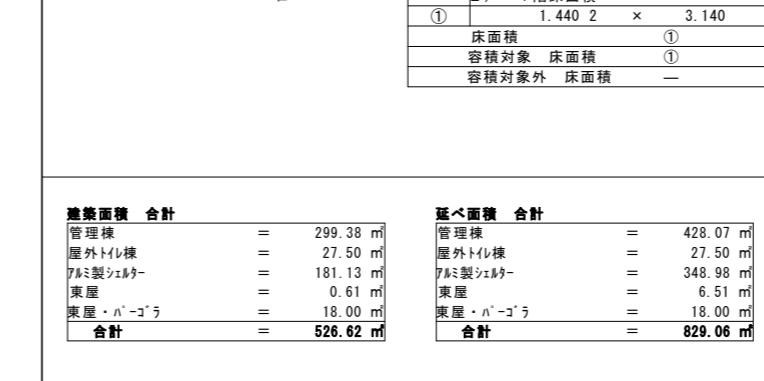
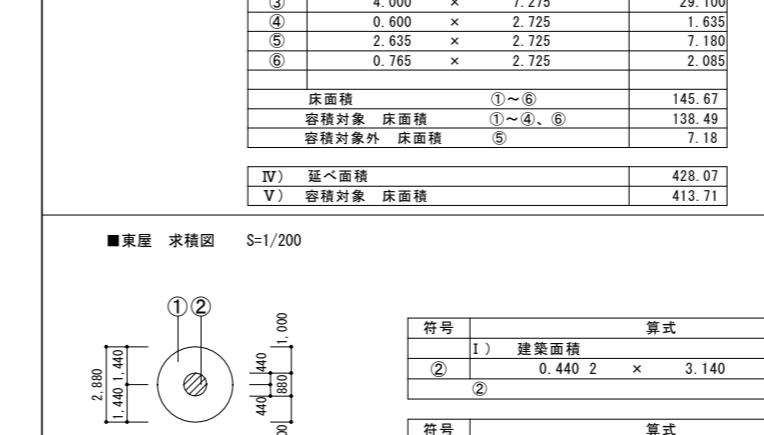
建築面積 合計

管理棟 = 299.38 m²屋外トイレ棟 = 27.50 m²T字型シャンク = 13.16 m²東屋 = 0.61 m²東屋・n'-g' = 18.00 m²合計 = 526.62 m²延べ面積 = 428.07 m²管理棟 = 428.07 m²屋外トイレ棟 = 27.50 m²T字型シャンク = 34.86 m²東屋 = 6.51 m²東屋・n'-g' = 18.00 m²合計 = 514.70 m²

容積対象床面積 合計

管理棟 = 413.71 m²屋外トイレ棟 = 27.50 m²T字型シャンク = 34.86 m²東屋 = 6.51 m²東屋・n'-g' = 18.00 m²合計 = 514.70 m²

4階床面積 求積図 S=1/200



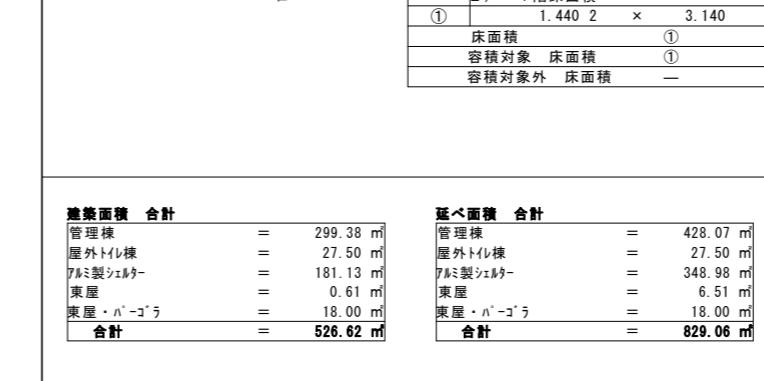
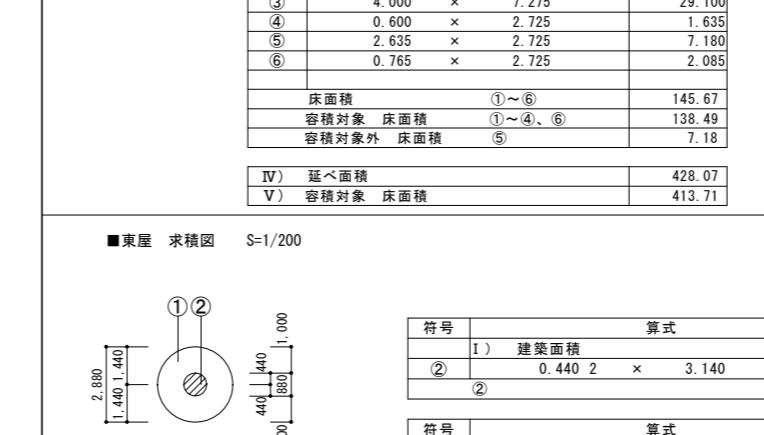
建築面積 合計

管理棟 = 299.38 m²屋外トイレ棟 = 27.50 m²T字型シャンク = 13.16 m²東屋 = 0.61 m²東屋・n'-g' = 18.00 m²合計 = 526.62 m²延べ面積 = 428.07 m²管理棟 = 428.07 m²屋外トイレ棟 = 27.50 m²T字型シャンク = 34.86 m²東屋 = 6.51 m²東屋・n'-g' = 18.00 m²合計 = 514.70 m²

容積対象床面積 合計

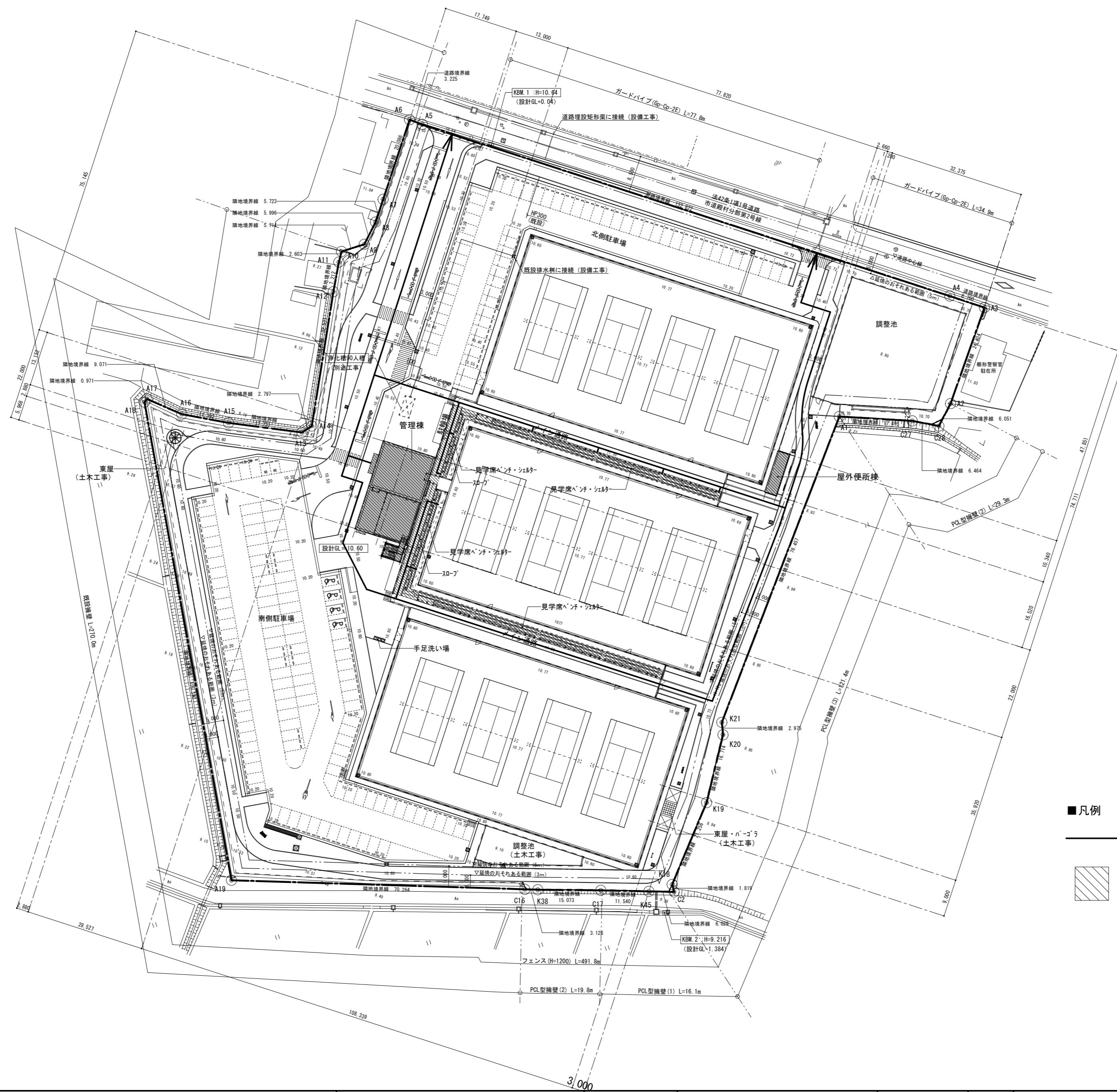
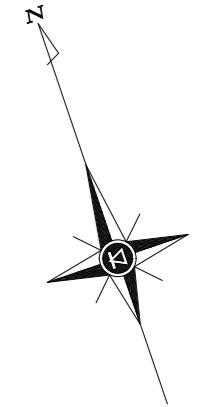
管理棟 = 413.71 m²屋外トイレ棟 = 27.50 m²T字型シャンク = 34.86 m²東屋 = 6.51 m²東屋・n'-g' = 18.00 m²合計 = 514.70 m²

5階床面積 求積図 S=1/200

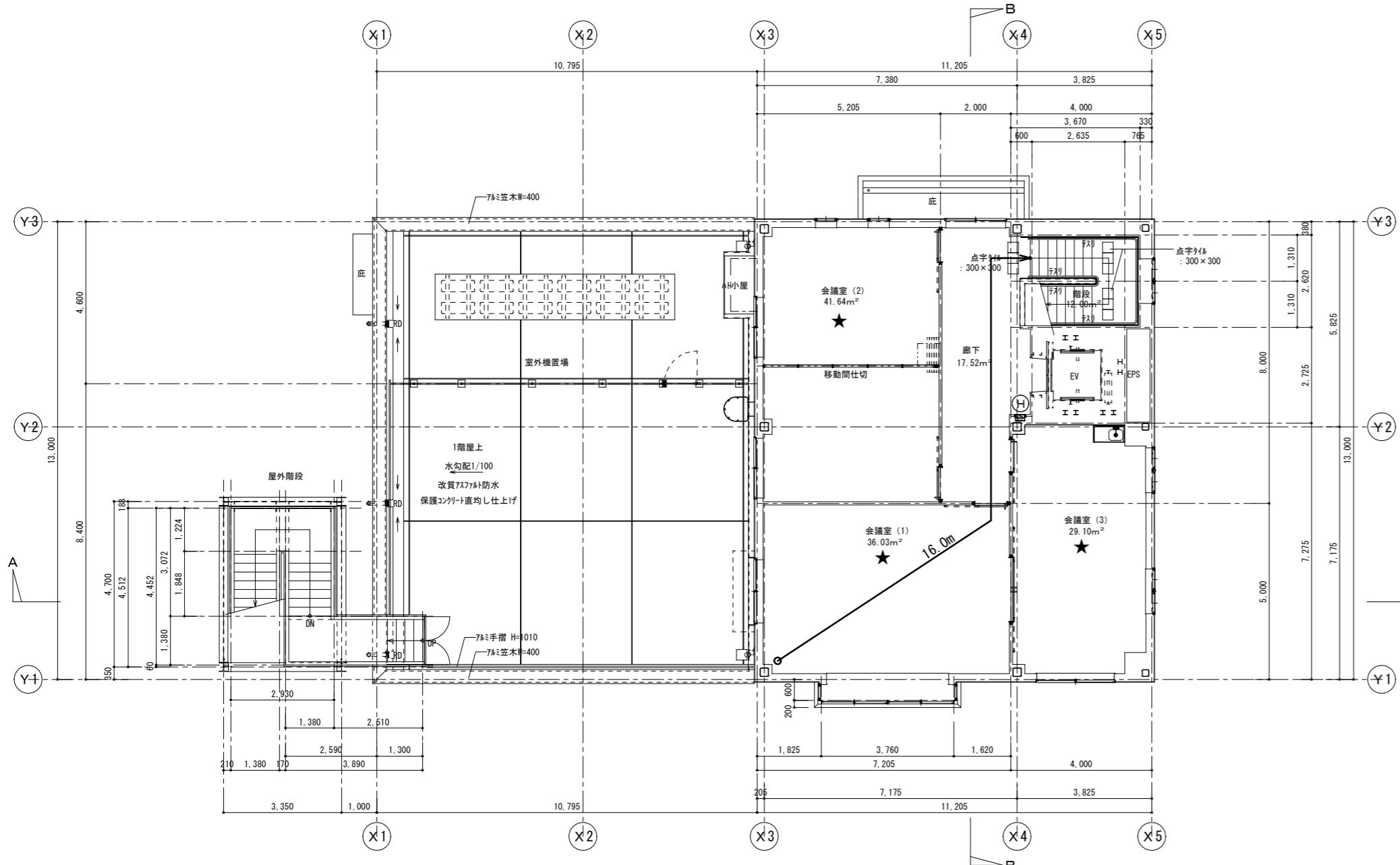


建築面積 合計

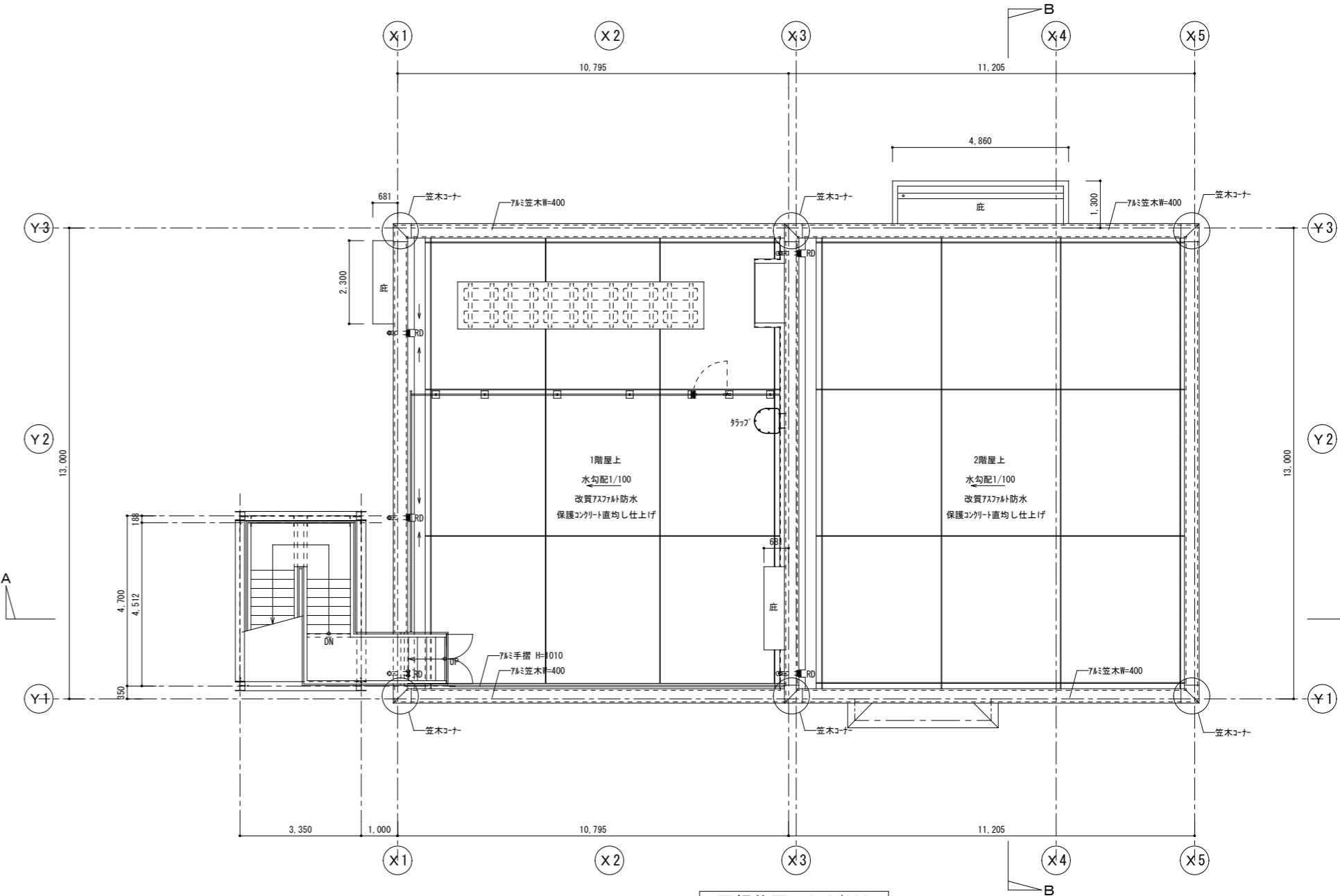
管理棟 = 299.38 m²屋外トイレ棟 = 27.50 m²T字型シャンク = 13.16 m²東屋 = 0.61 m²東屋・n'-g' = 18.00 m²



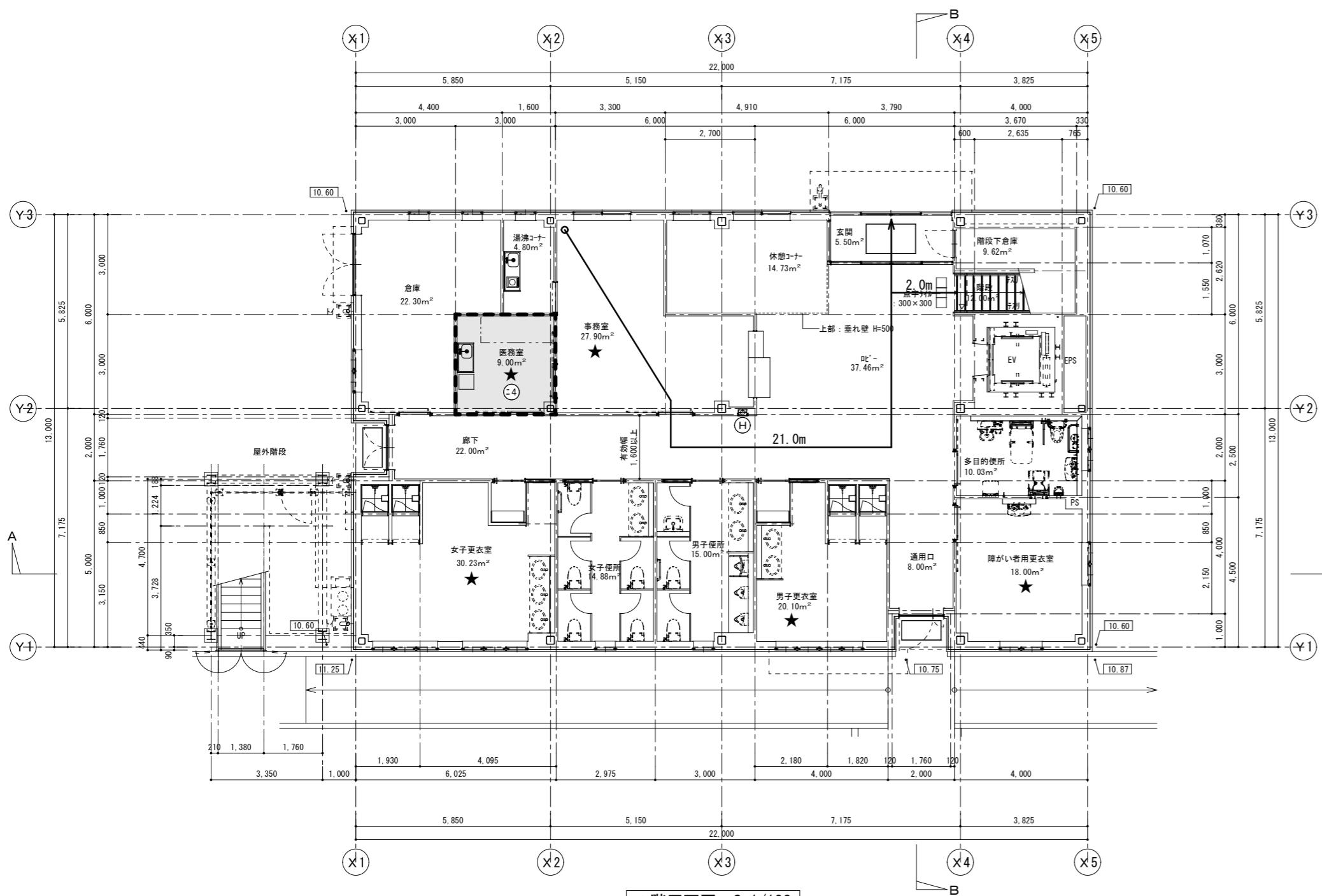
MEMO	株式会社 ジェイエイ津安芸 三重県津市一色町 211 TEL 059-224-8941 FAX 059-224-9001		作製年月日	御承認	作図	工事名称	令和元年度河川ス振継第2号 旧津市民プール跡地テニスコート整備工事	図面番号
			訂正年月日			配置図	縮尺	
							1/500 (A1)	A-03



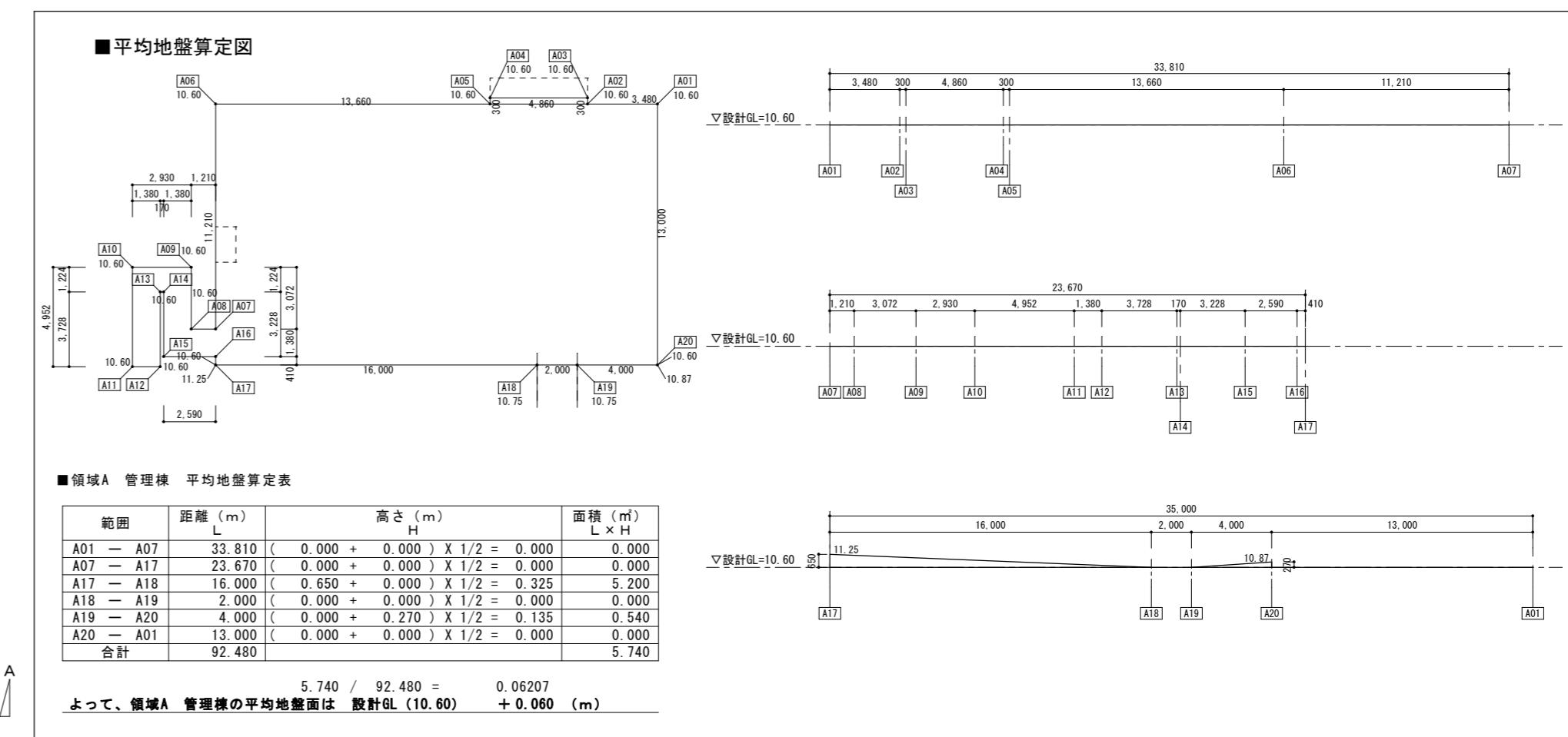
2階平面図 S=1/100



屋根伏図 S=1/100



1階平面図 S=1/100



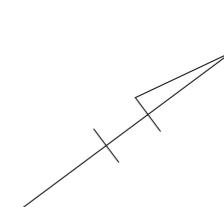
凡例

階段	避難距離
—	有効幅 1,150mm ≥ 750mm
(4)	踏場巾 1,170mm ≥ 750mm
- - -	蹴上げ 195mm ≤ 220mm
(H)	踏面 250mm ≥ 210mm
	段数 18段
	手摺両側

* 1.2階とも火気使用室なし
※ 避難経路に係る器具は空錠もしくは内側サムコンとする。

階段

有効幅	1,150mm	≥ 750mm
踏場巾	1,170mm	≥ 750mm
蹴上げ	195mm	≤ 220mm
踏面	250mm	≥ 210mm
段数	18段	
手摺	両側	



■凡例
★ : 室内空気汚染物質測定箇所
*** : 計画地盤高さを示す

MEMO

株式会社 ジェイエイ津安芸
三重県津市一色町 211 TEL 059-224-8941 FAX 059-224-9001



作製年月日

訂正年月日

御承認

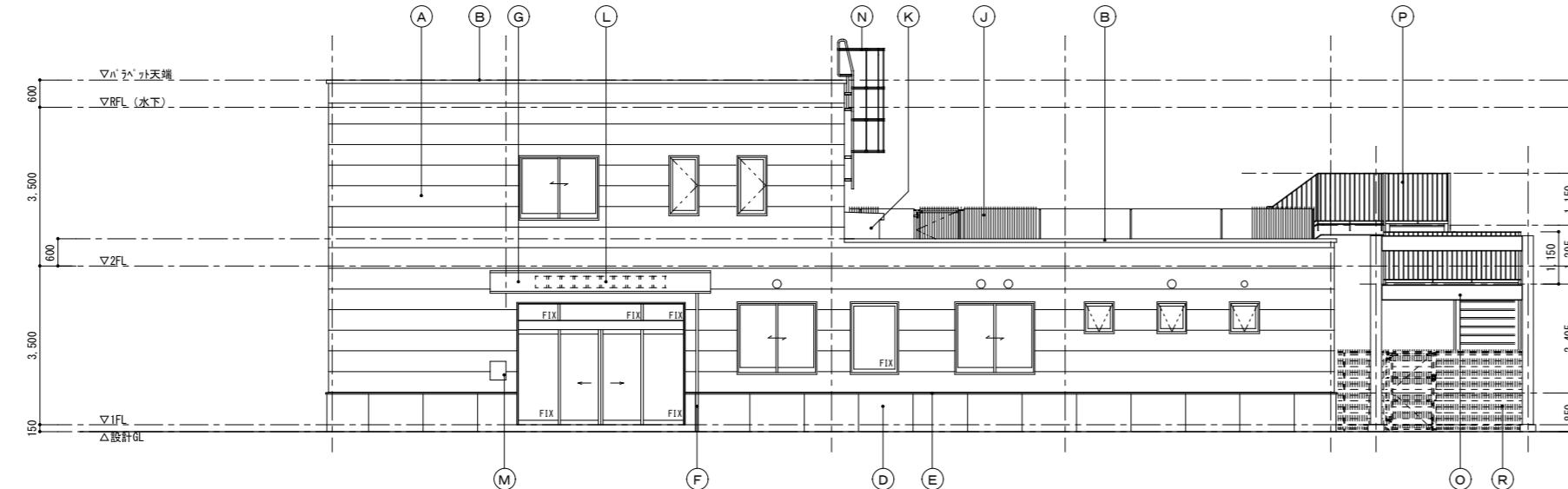
作図

工事名称

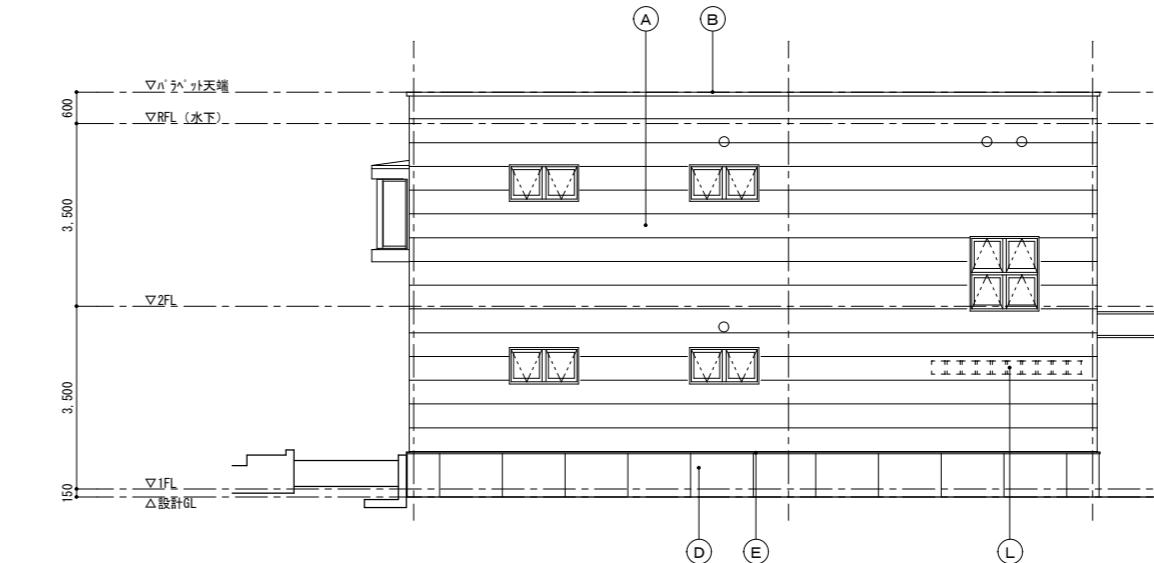
令和元年度河川ス振継第2号
旧津市民プール跡地テニスコート整備工事

図面名称
管理棟 平面図、平均地盤算定図

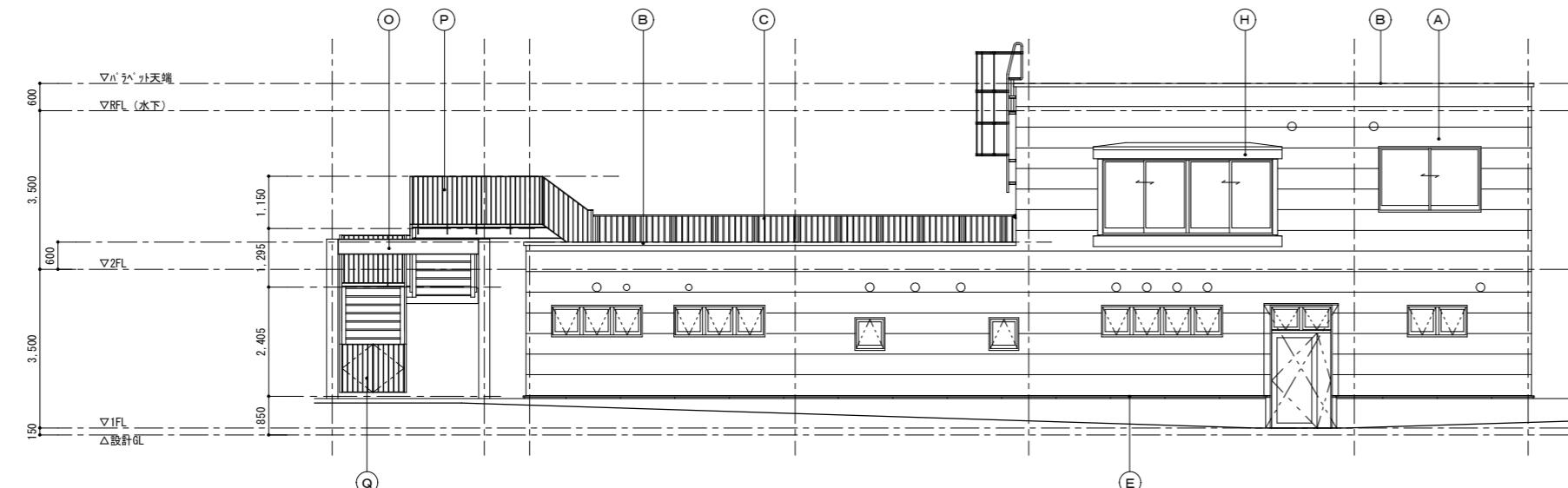
図番
A-04
縮尺
1/100, 1/200 (A1)



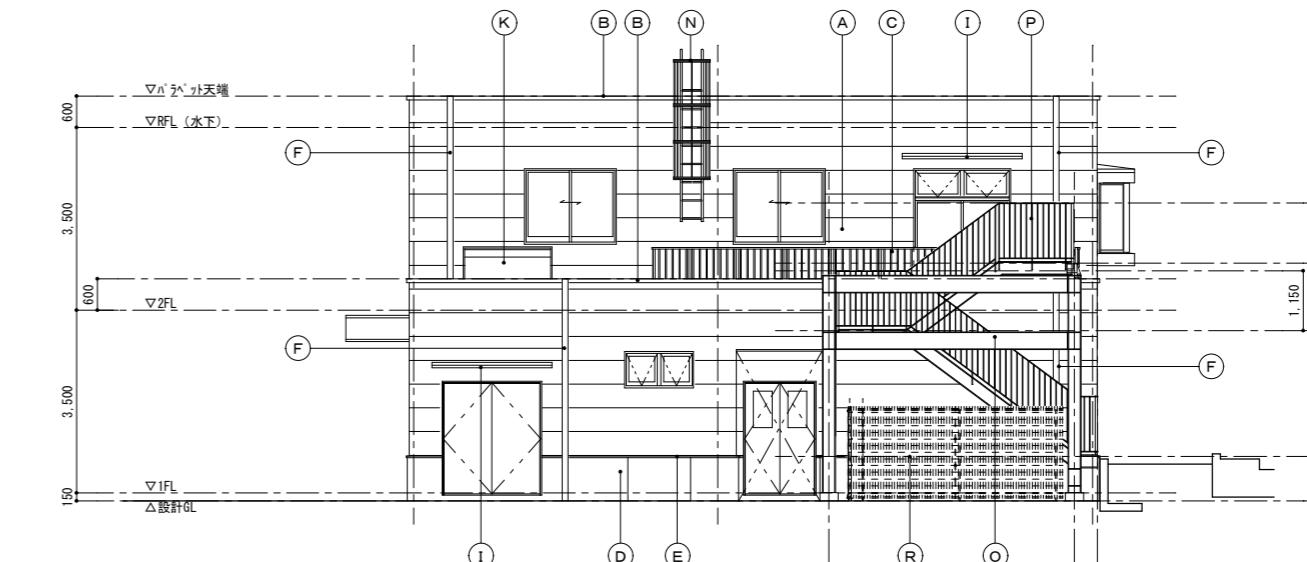
西立面図 S=1/100



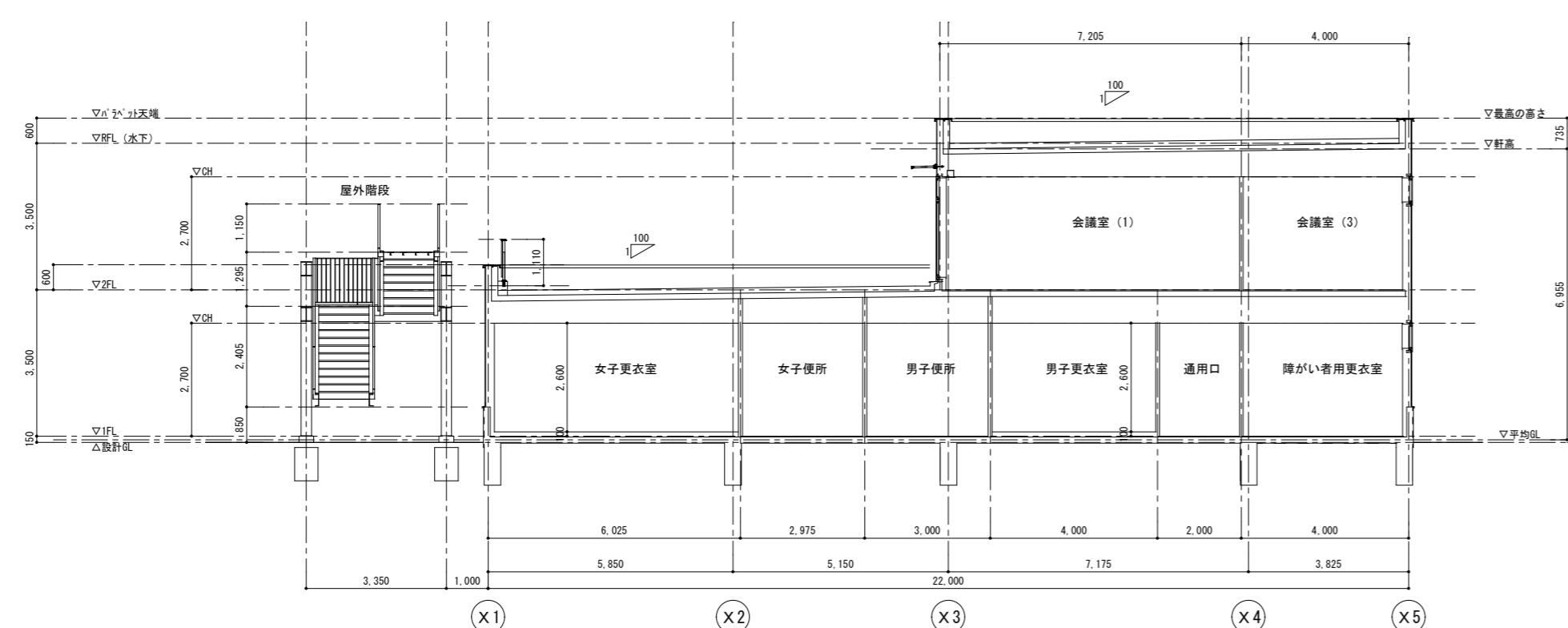
北立面図 S=1/100



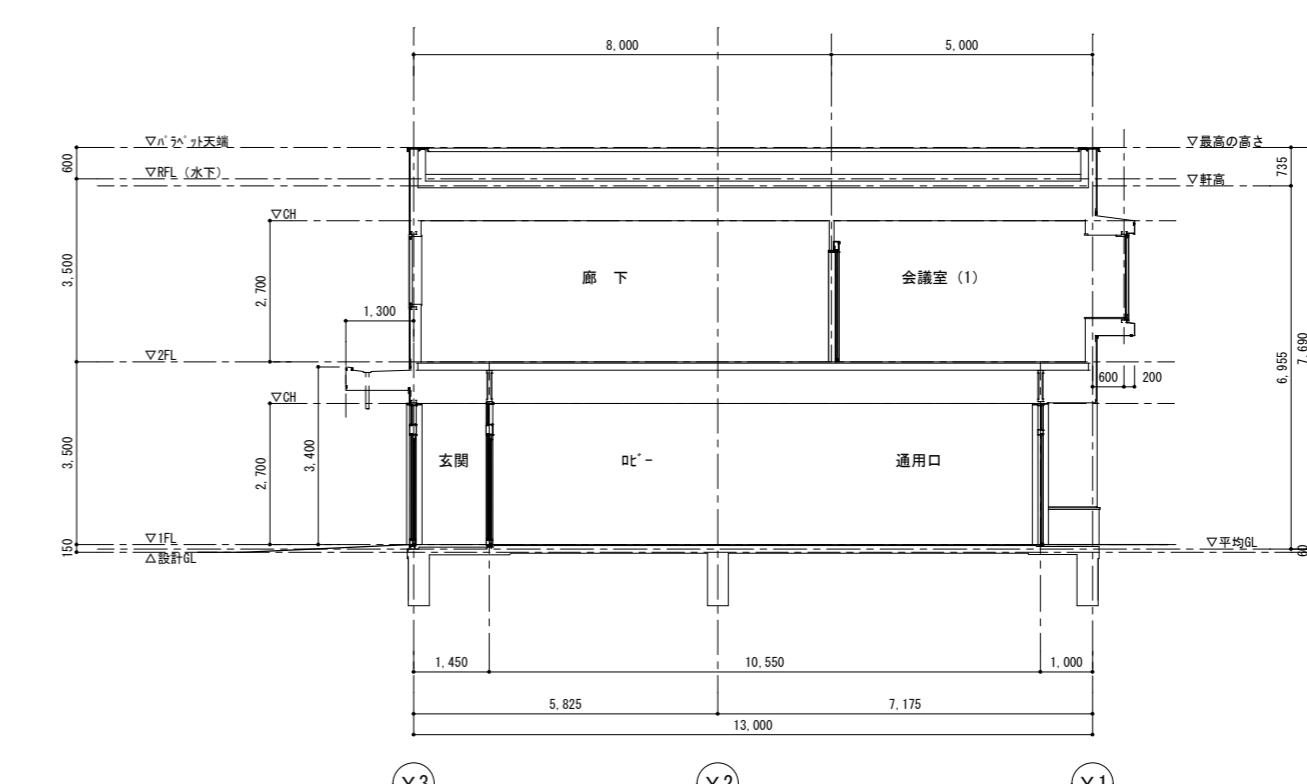
東立面図 S=1/100



南立面図 S=1/100



A断面図 S=1/100



B断面図 S=1/100

凡例	外壁：窓系サッシ t=16 横張（通気工法）	J	フレンス：リクシル製 H1,000 独立基礎 一部片開き門扉
	笠木：7mm厚押出材 W=400	K	ハト小屋：化粧合板型枠コート打放し 塗膜防水
	手摺：7mm厚（織格子タイプ）H=1010	L	鏡板：SUS-HL 切り文字250×250
	巾木：化粧合板型枠コート打放し 漆水剤塗布	M	郵便受け：大型J-H4ラッカ
	水切り：3mm厚PVC板 t=0.35加工	N	SUS304 不鏽鋼 安全ガード付き
	堅縫：硬質U型化粧セイ管 Ø100 SUS組み金物共	O	屋外階段：鉄骨表し 溶融亜鉛メッキ
	庇：重鉛鋼板t=1.6 フッ素焼付塗装仕上げ	P	手摺：X-Lock製 H=1,150 溶融亜鉛メッキ
	出窓：重鉛鋼板t=1.6 フッ素焼付塗装仕上げ	Q	門扉：X-Lock製 H=1,150 半開き門扉
	庇：7mm厚既成品 D=600 W=2,300	R	リクシル製 H1,800 (土木工事)

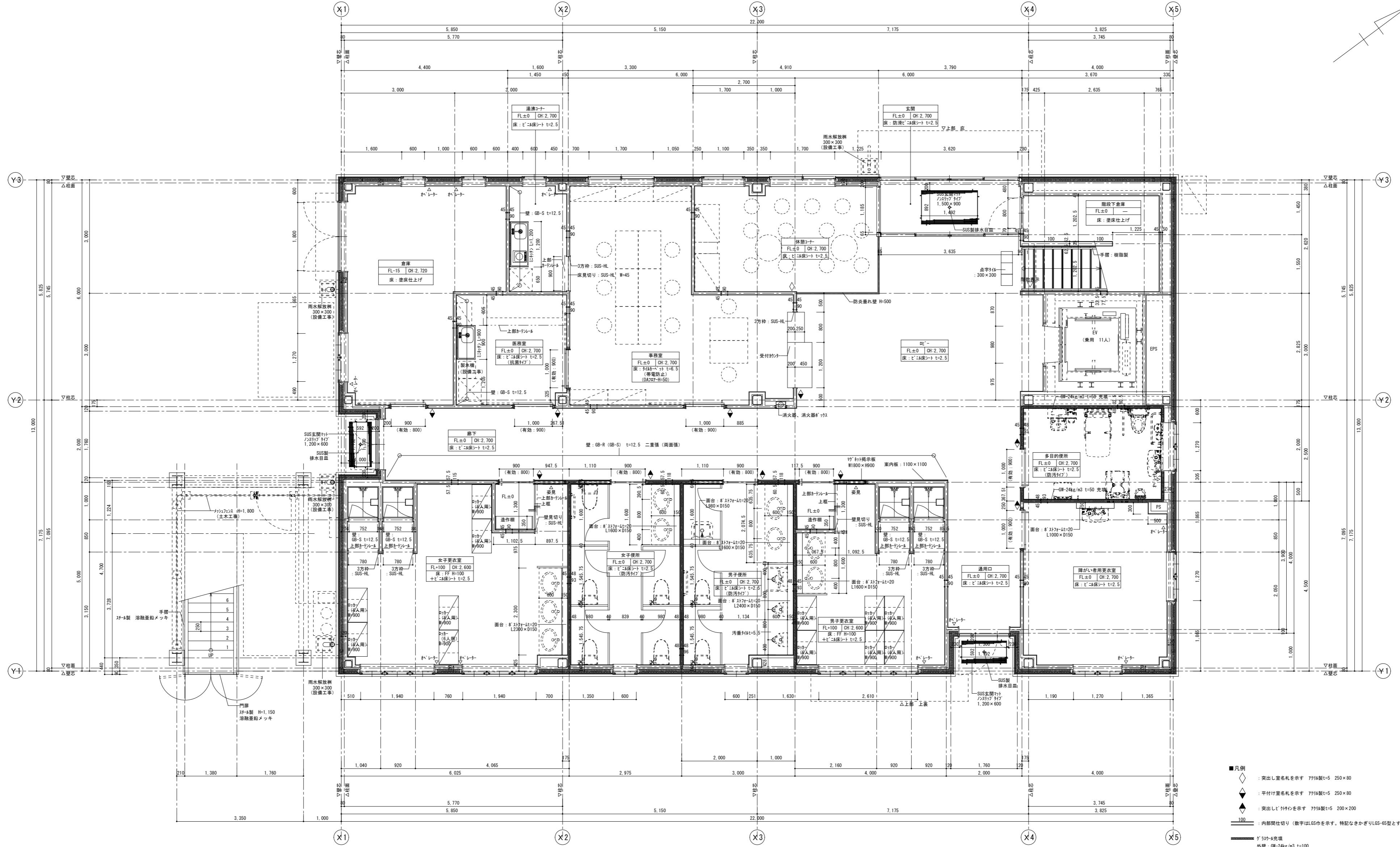
MEMO



作製年月日
訂正年月日

御承認
作図
工事名称
令和元年度河川ス振継第2号
旧津市民プール跡地テニスコート整備工事
図面名称
管理棟 立面図、断面図

図番
A-05
縮尺
1/100 (A1)

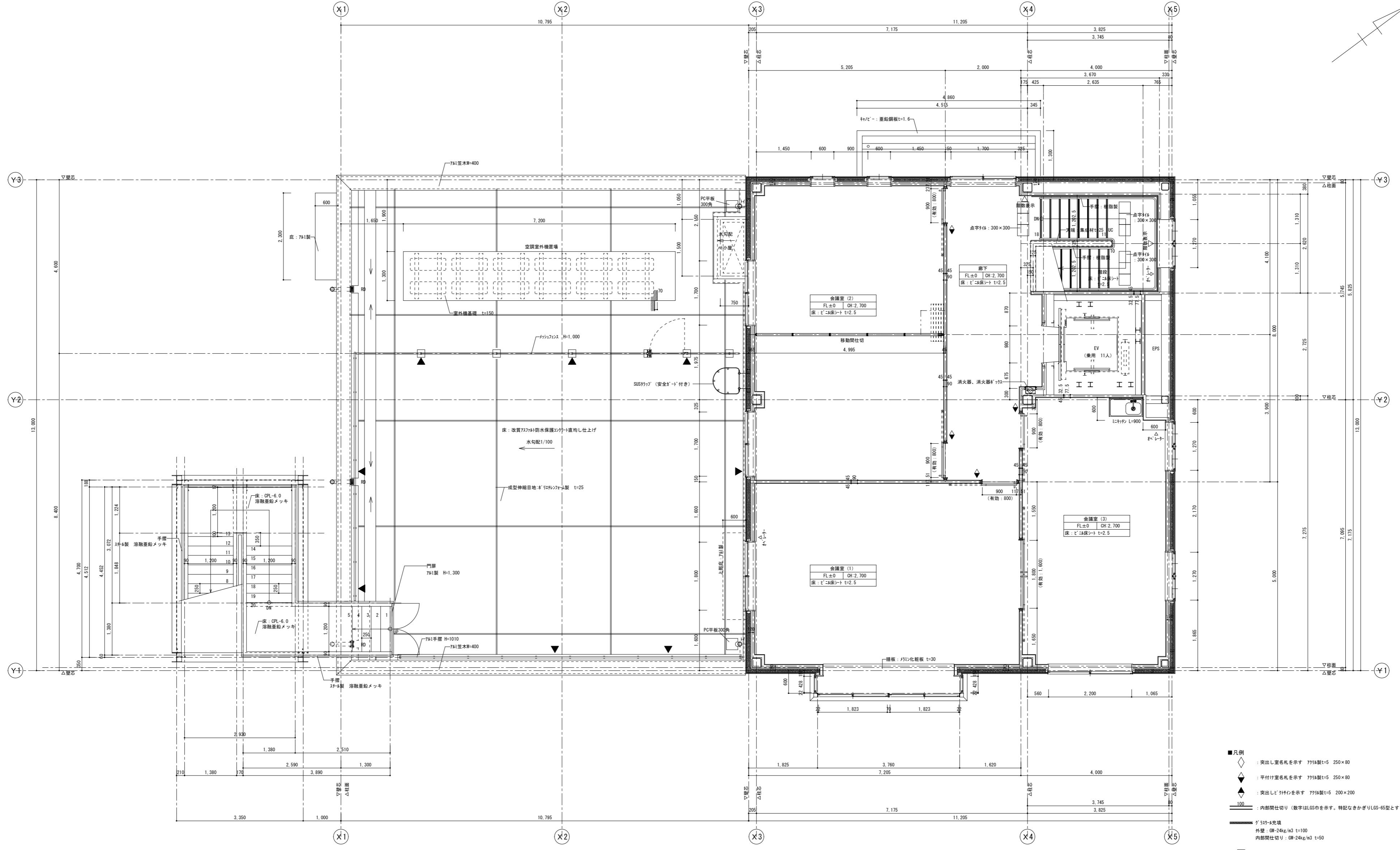


1階平面詳細図 S-1/50



MEMO



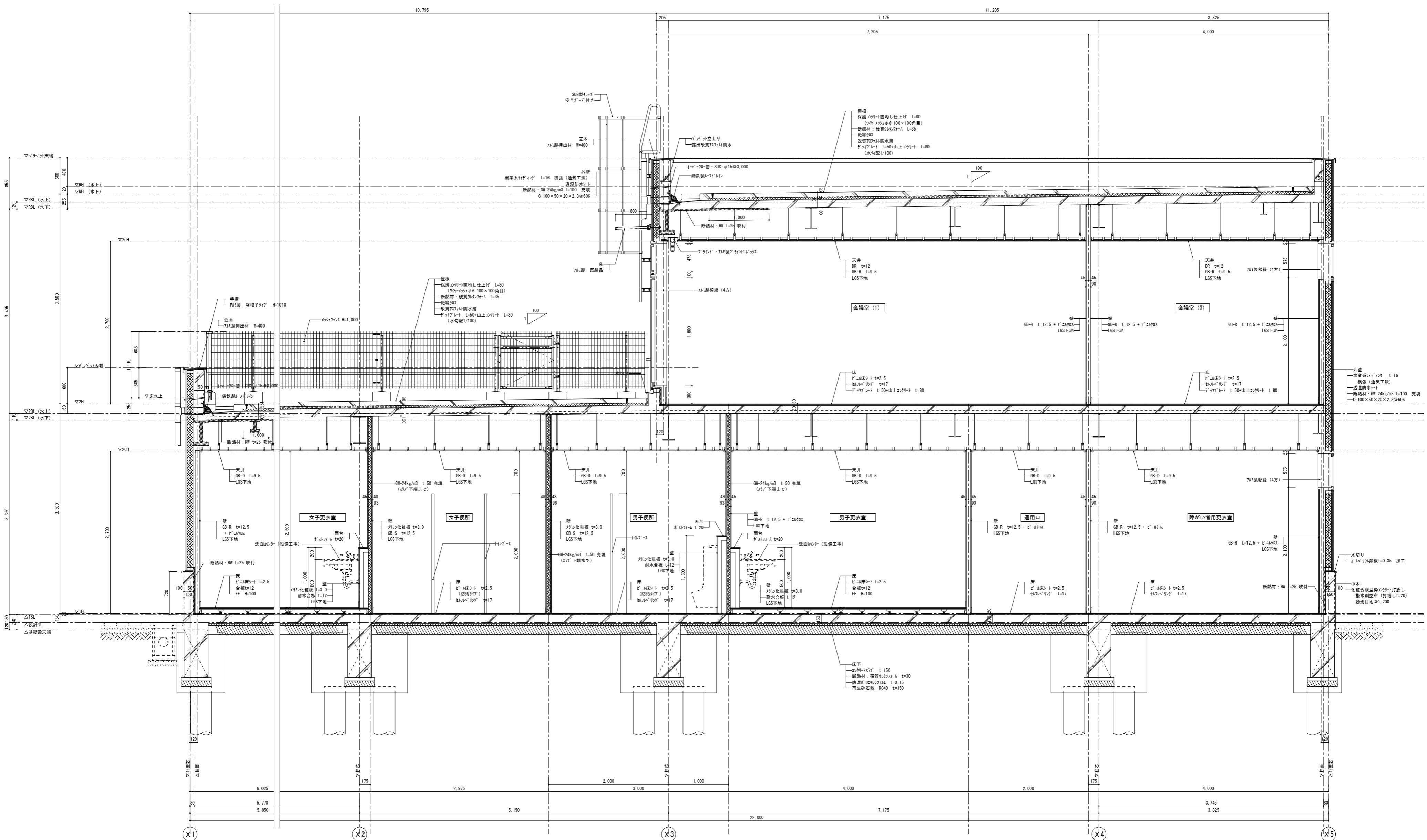


2階平面詳細図 S=1/50



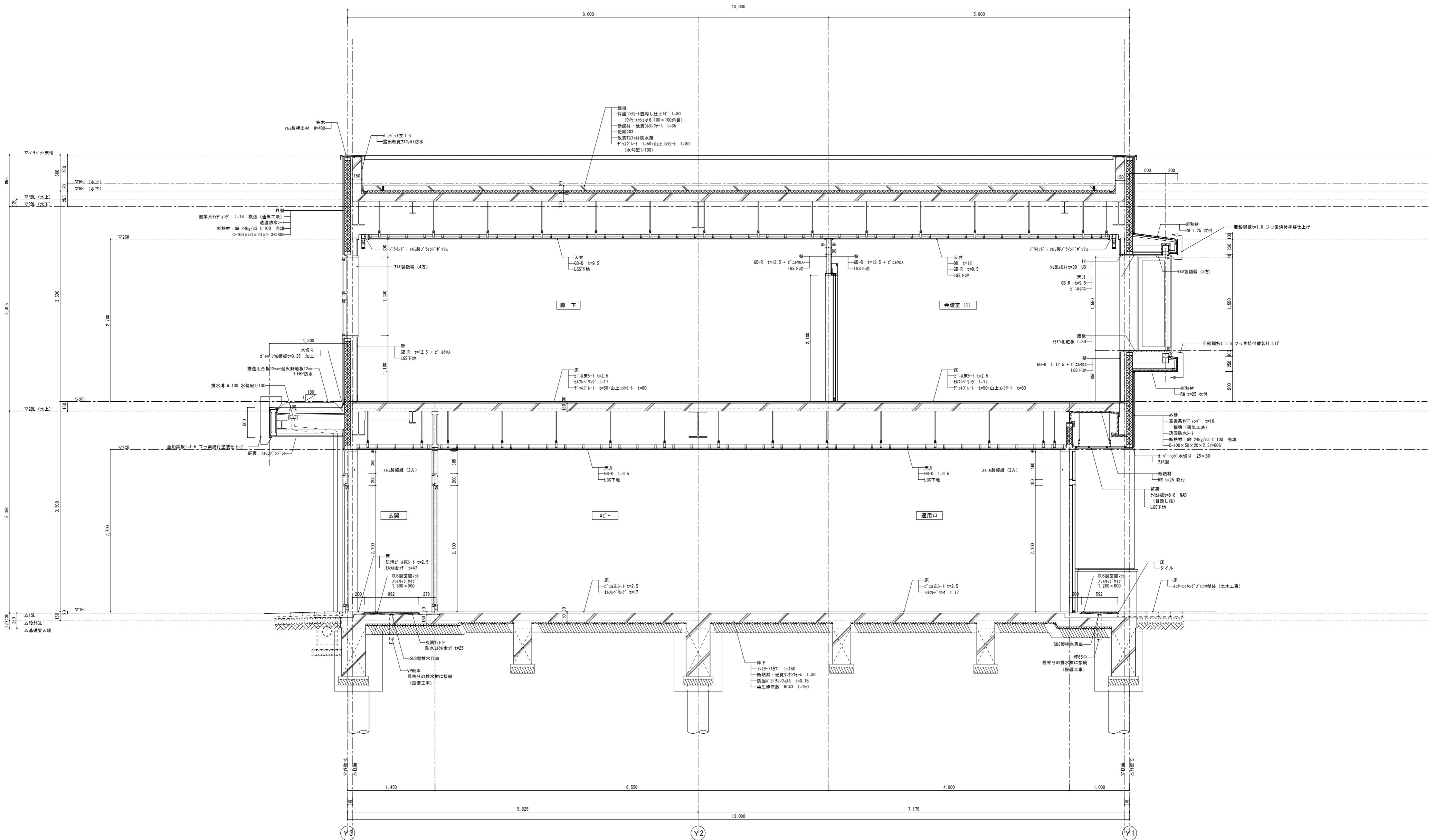
MEMO





MEMO	
------	--





MEMO

株式
会社 ジェイエイ津安芸
三重県津市一色町 211 TEL 059-224-8941
FAX 059-224-9001



作製年月日

訂正年月日

御承認

作図

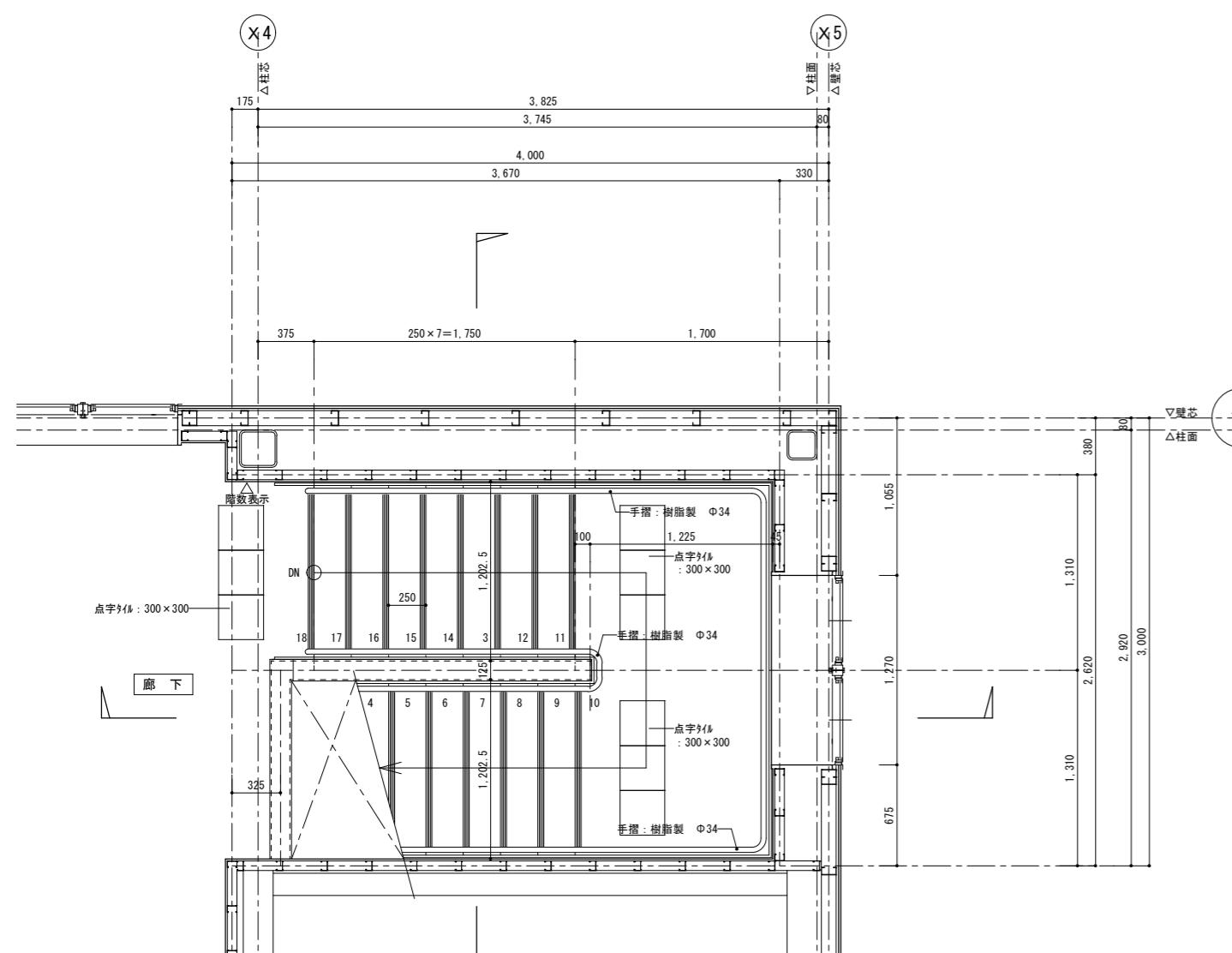
工事名称

令和元年度河川ス振継第2号
旧津市民プール跡地テニスコート整備工事

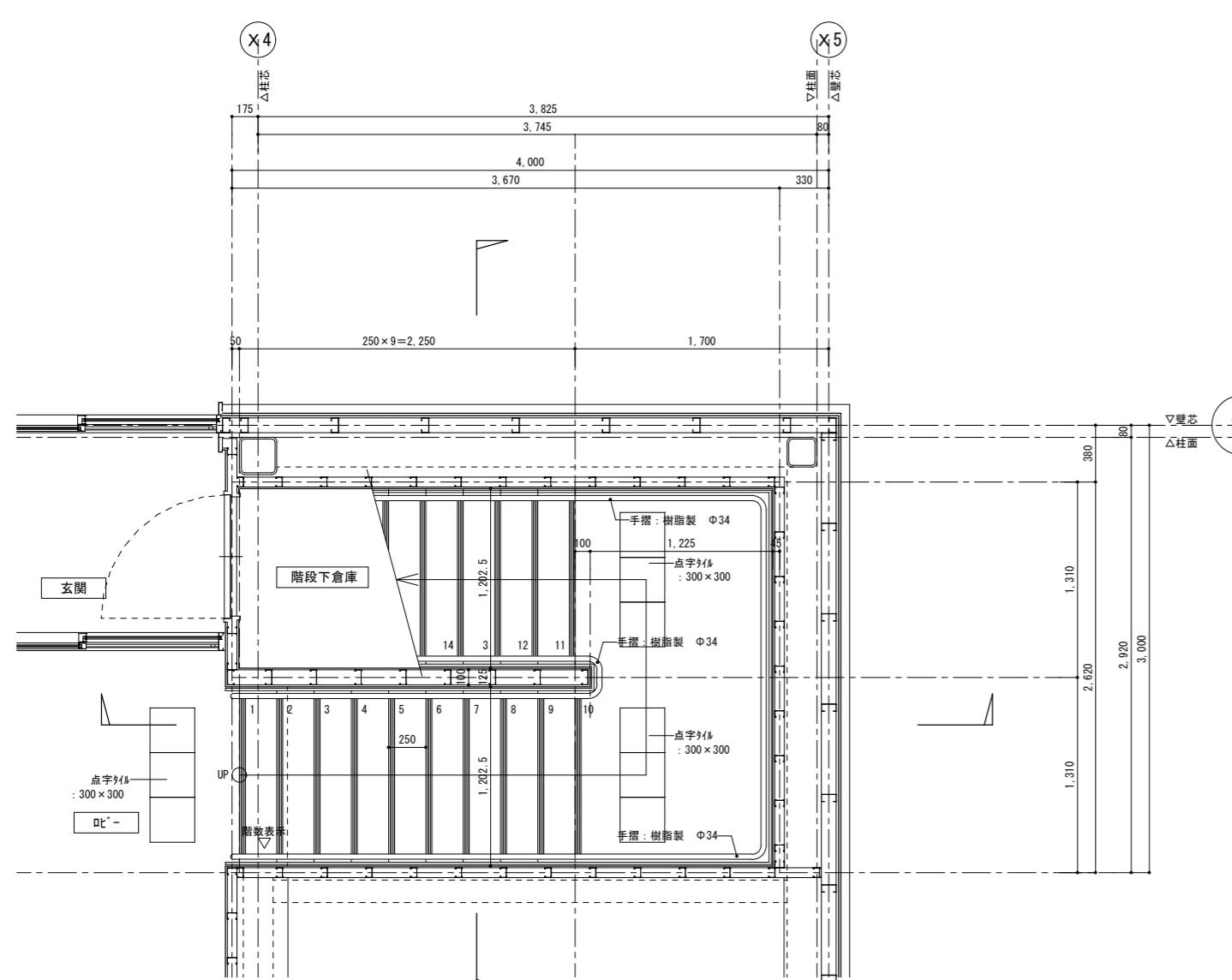
図面名称

管理棟 矩計図 (2)

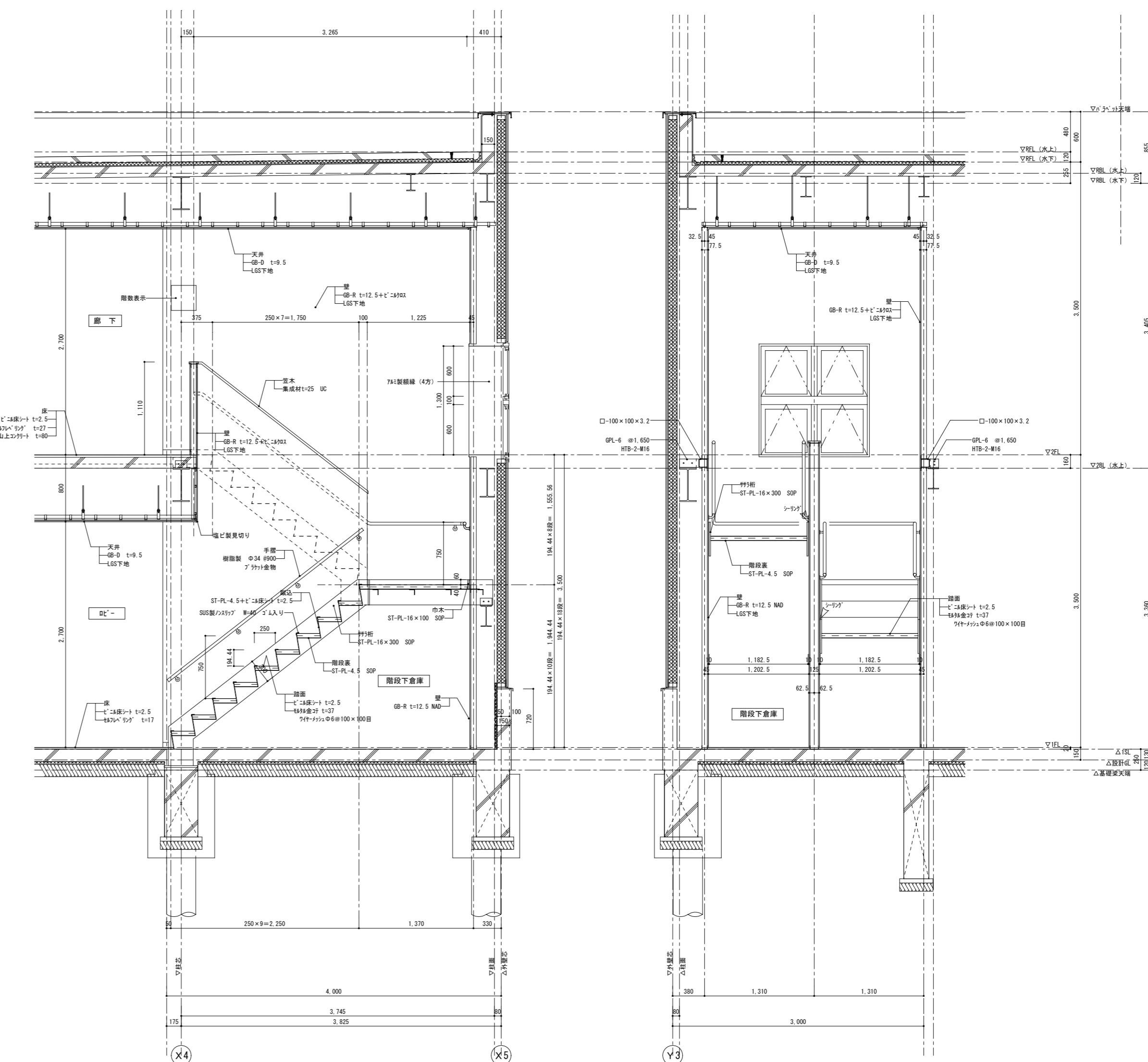
図番
A-09
縮尺
1/30 (A1)



2階平面図 S=1/30



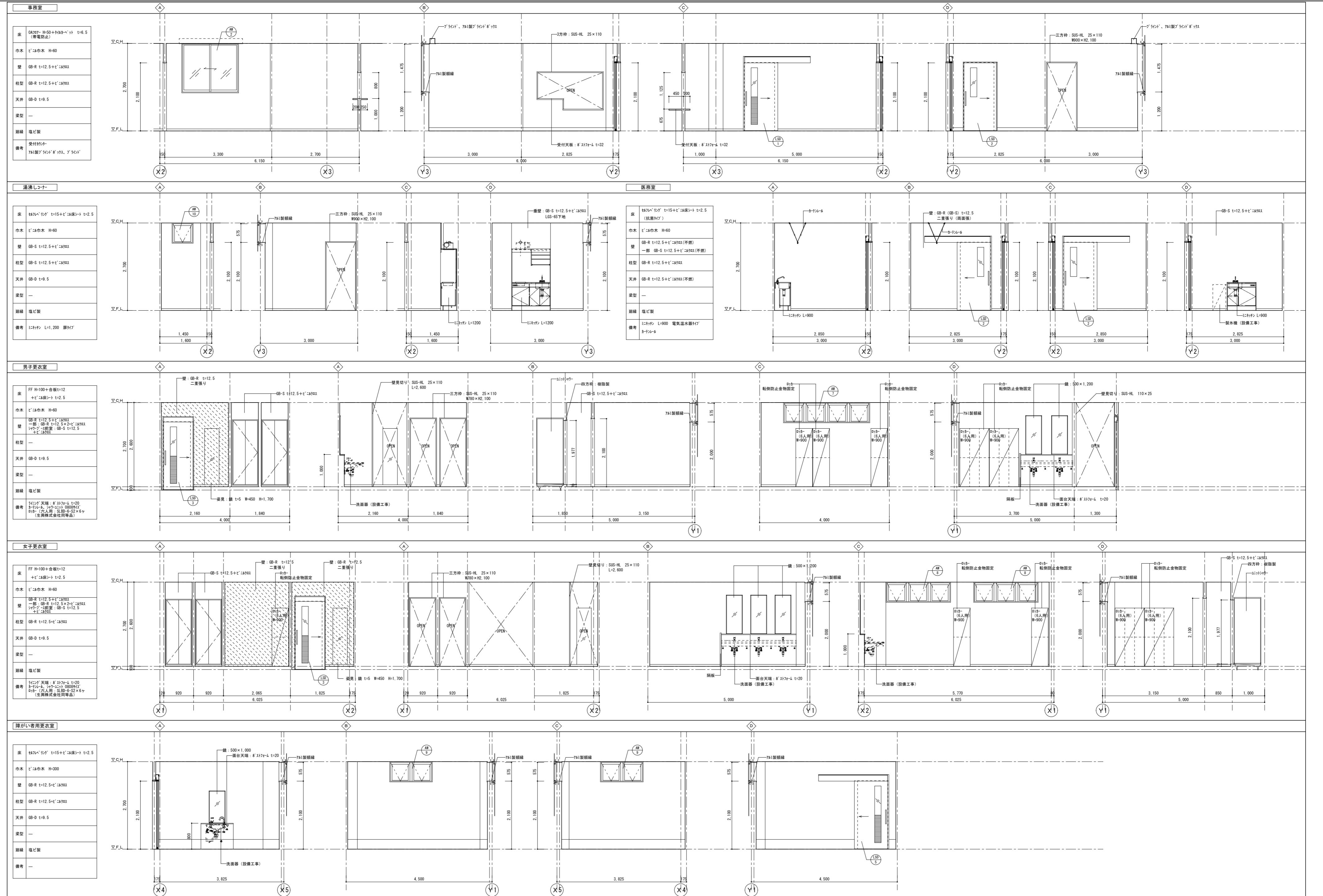
1階平面図 S=1/30

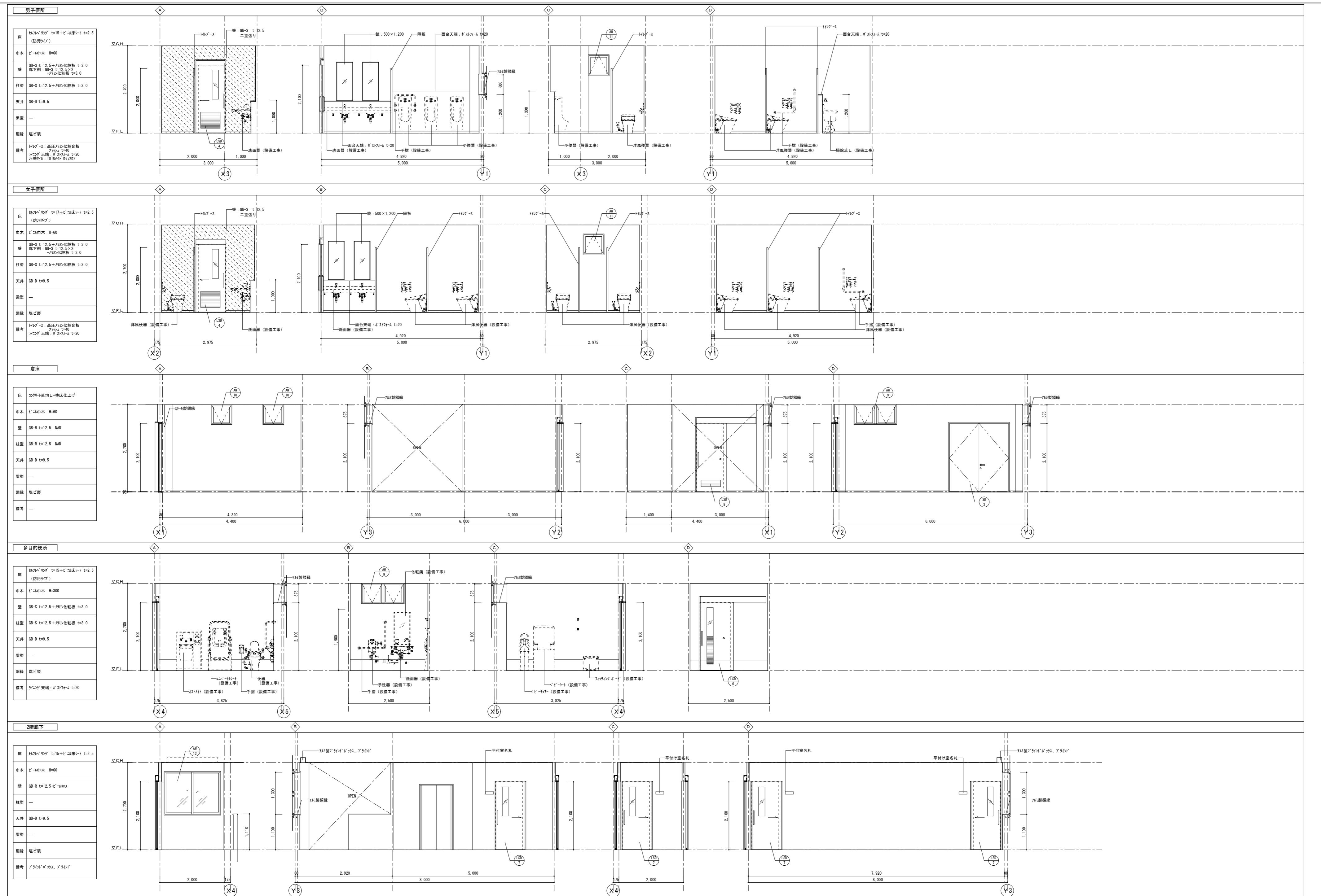


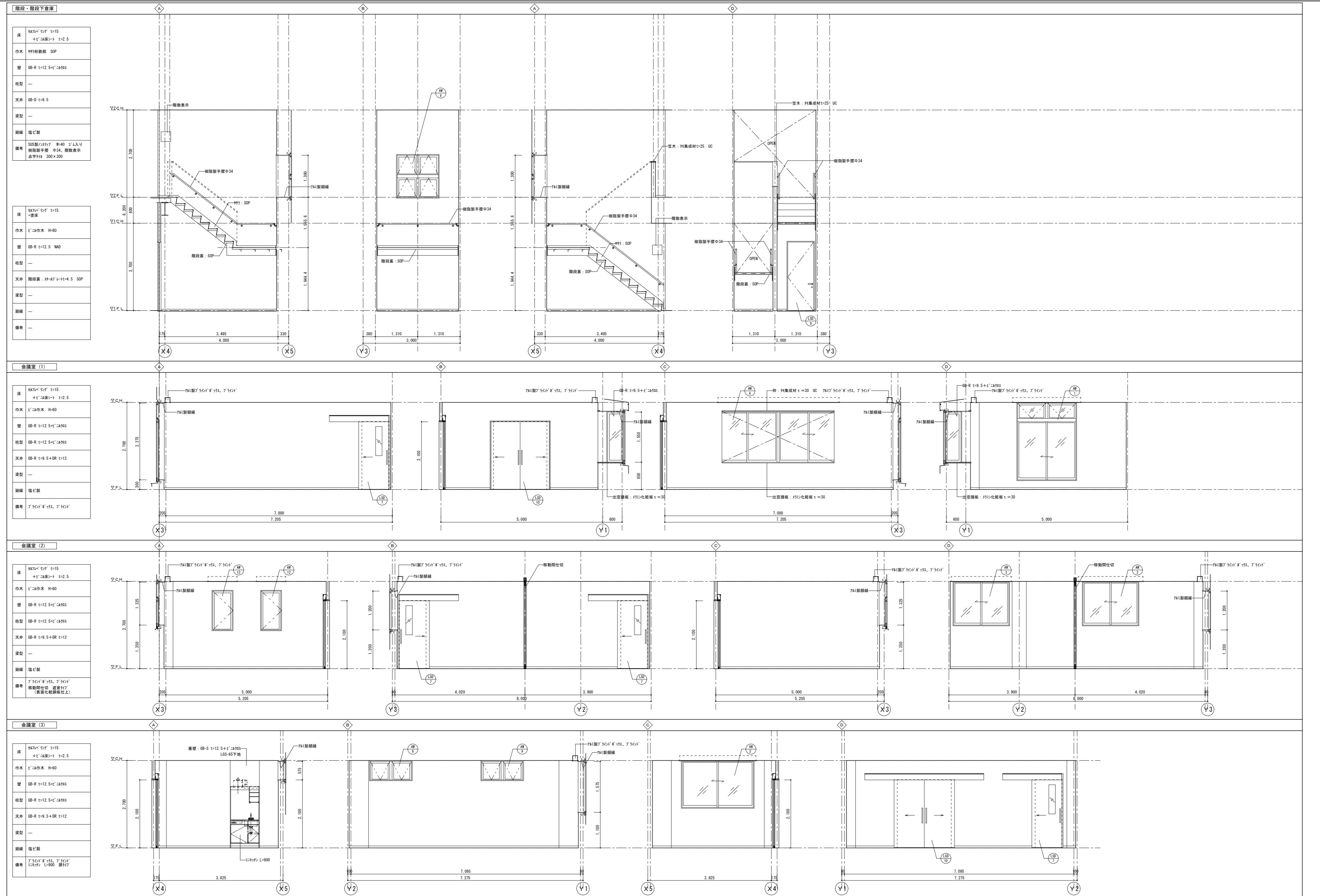
断面図 S=1/30











MEMO



作製年月日

訂正年月日

御承認

作図

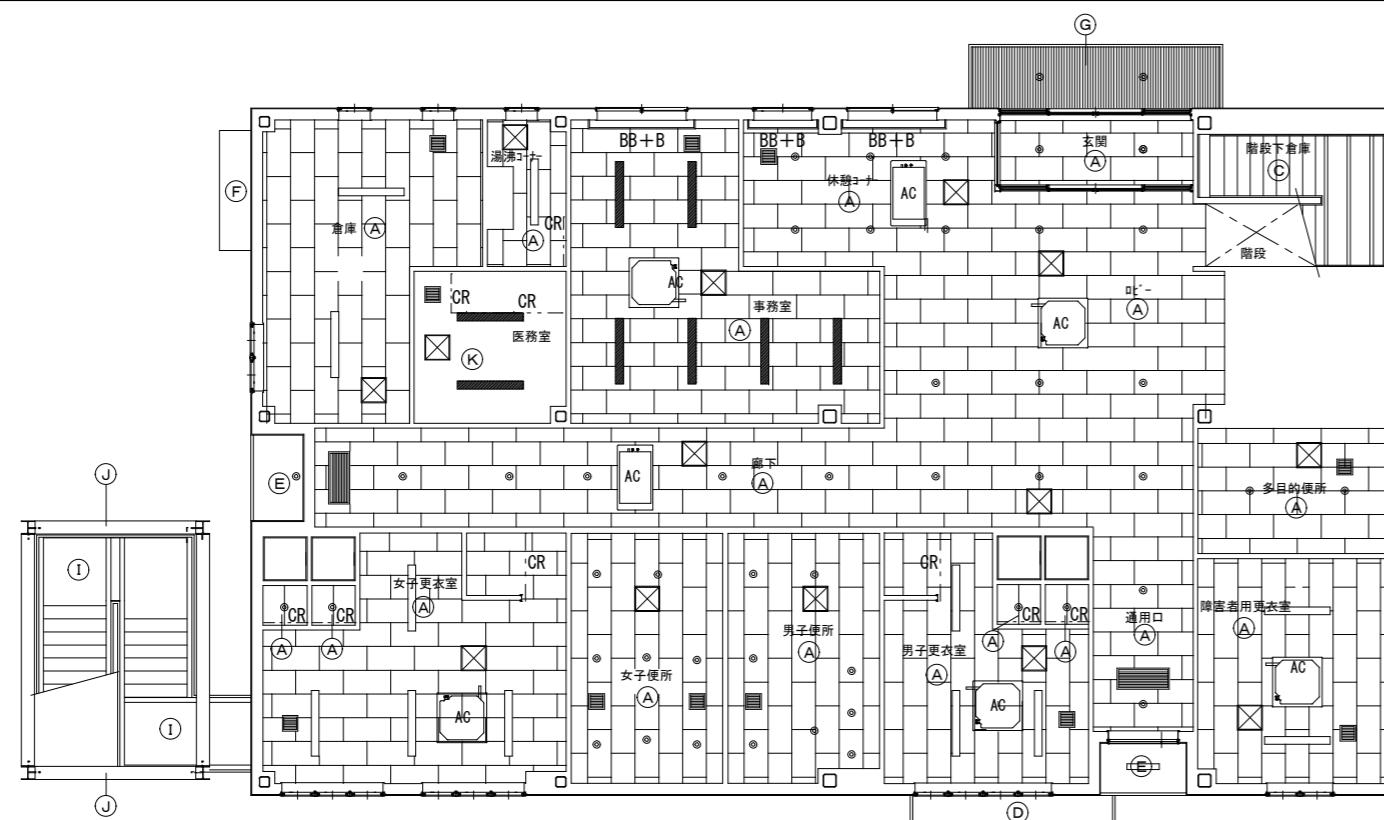
工事名称

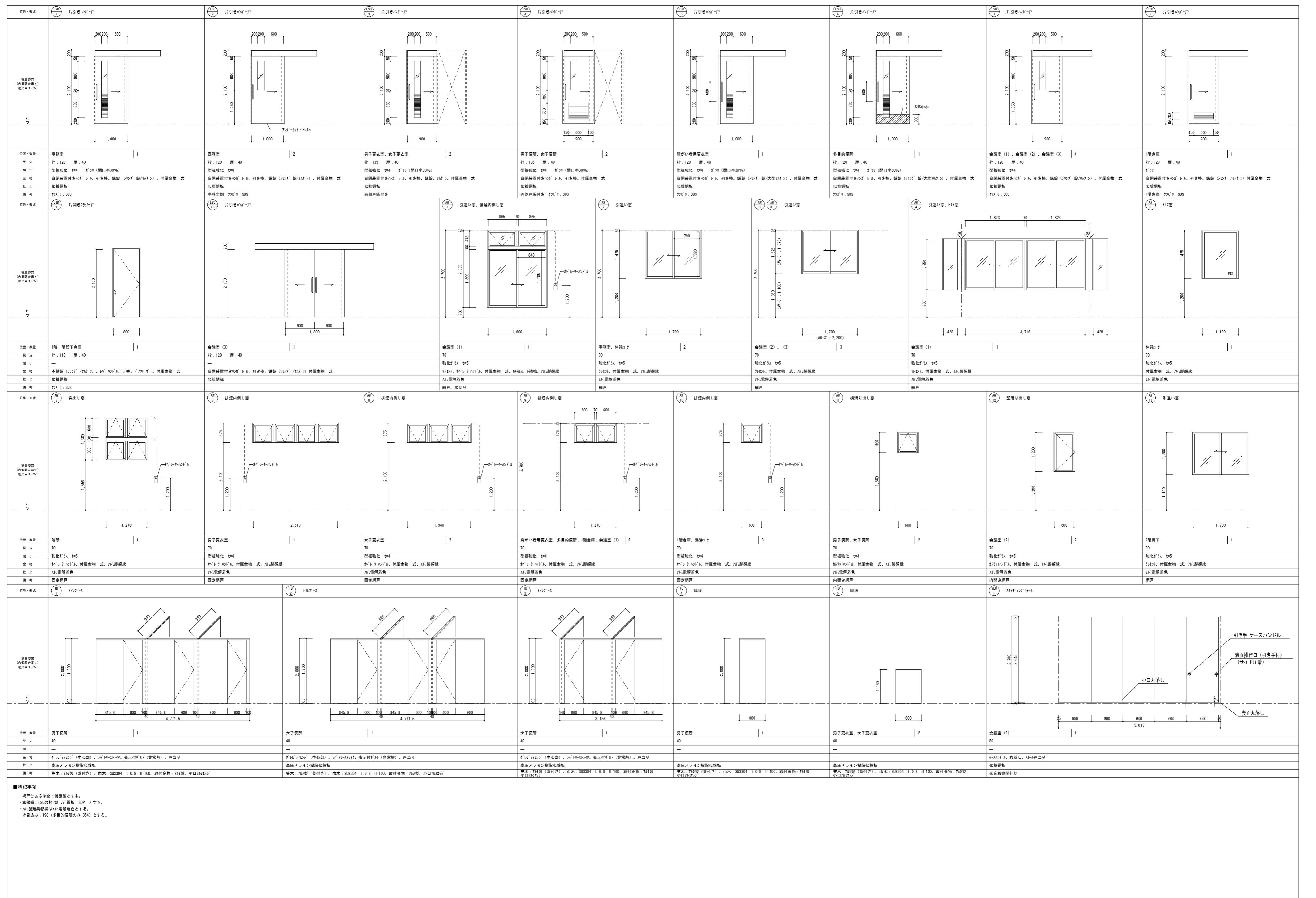
令和元年度河川ス振継第2号
旧津市民プール跡地テニスコート整備工事

図面名称 展開図 (4)

図番

A-14

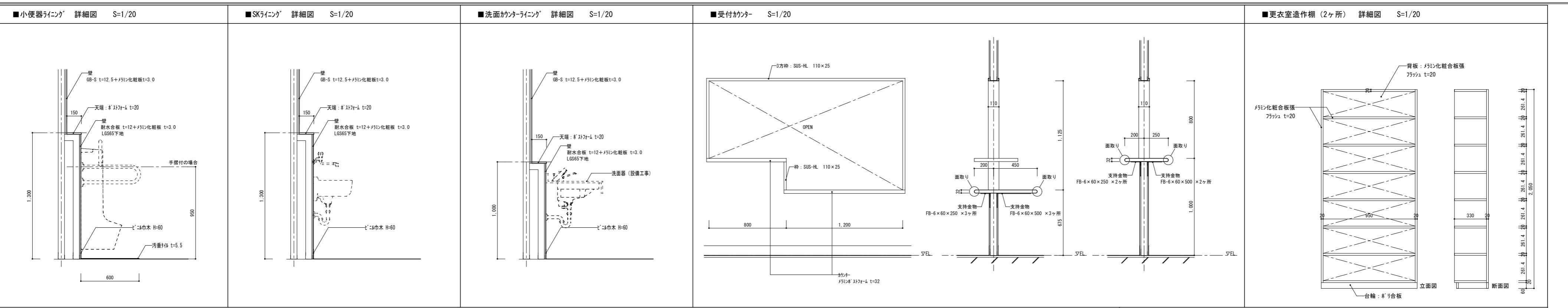




■特記事項

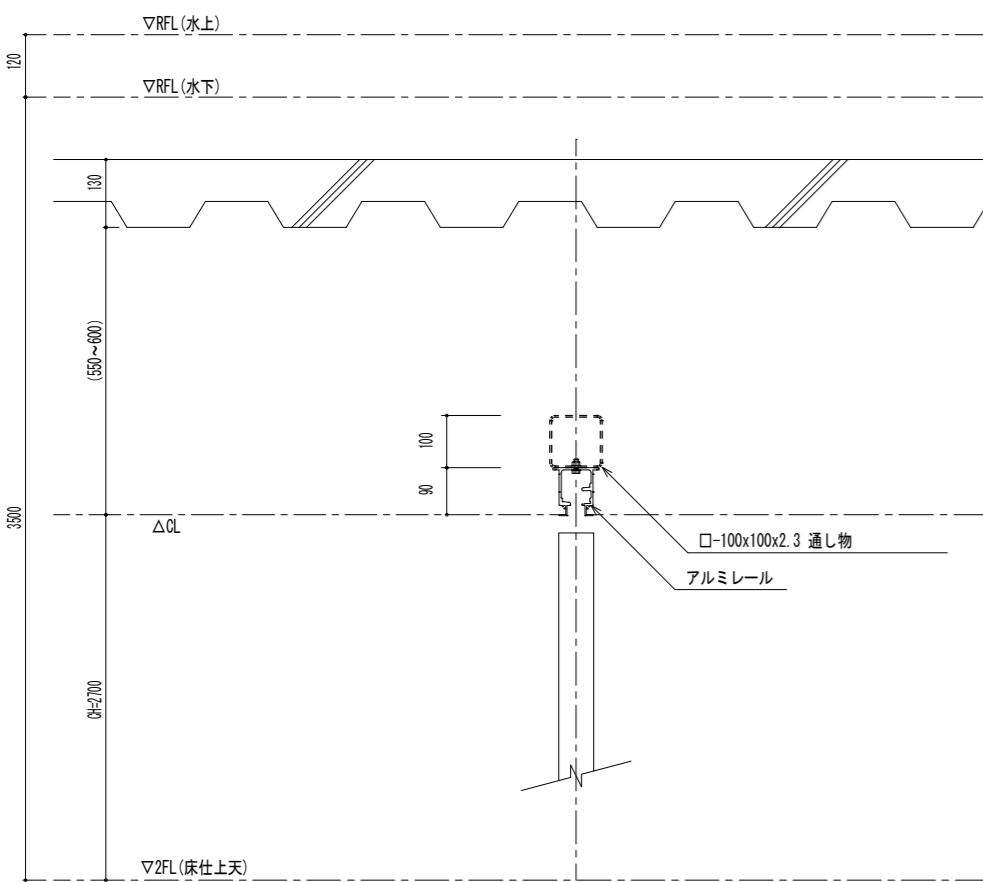
- ・ 网戸とあるは全て樹脂製とする。
- ・ SD額縁、LSDの枠はボンディング板 SOP と
- ・ 7ミリ製見具額縁は7ミリ電解着色とする。
枠見込み：198（多目的便所のみ 354）



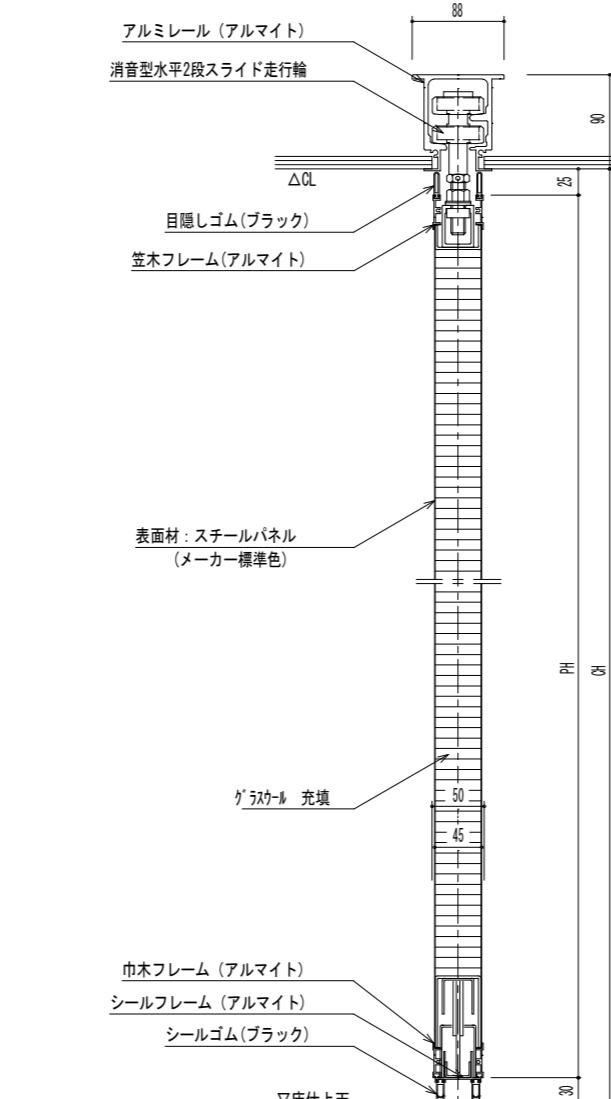


■移動間仕切 詳細図 S=1/50、1/10、1/5

スライディングウォール 厚み50mm(50VS)		
レール仕様	レール	アルミ押出型材ハンガーレール(アルマイト処理)
		コーナー部 直角レール
ランナー仕様	走行輪	消音型水平2段スライド走行輪(ペアリング内蔵)
	吊ボルト	M14
パネル仕様	表面仕上	
	表面材	スチールパネル
	充填材	グラスウール
	骨組	スチール補強材又は木枠(LVL)
	フレーム	アルミ押出形材(アルマイト処理)
	召合せ	固定ゴム嵌合
	下部シールド	接床装置(ブッシュロッド式)
	固定方法	小口及び表面丸落としにて固定

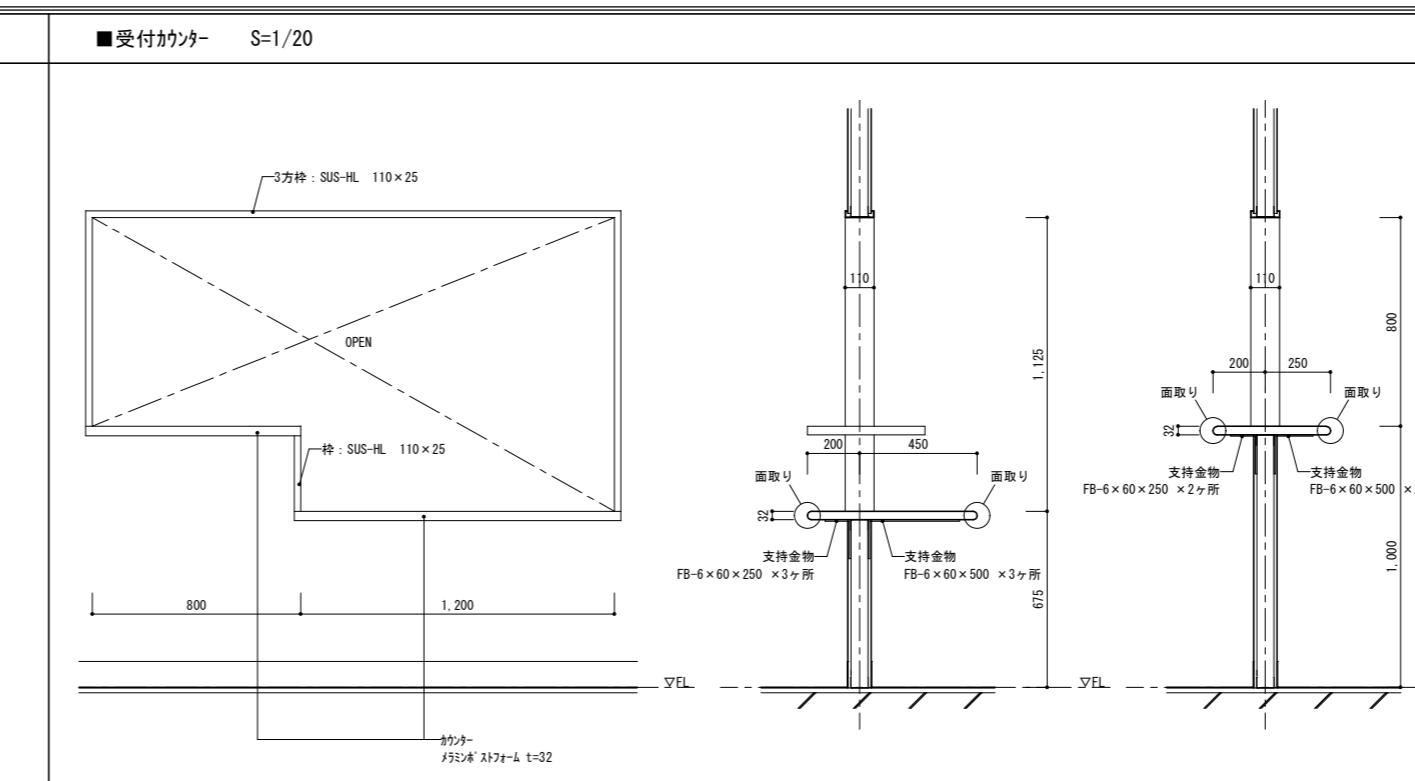


レール取付断面図 S=1:1

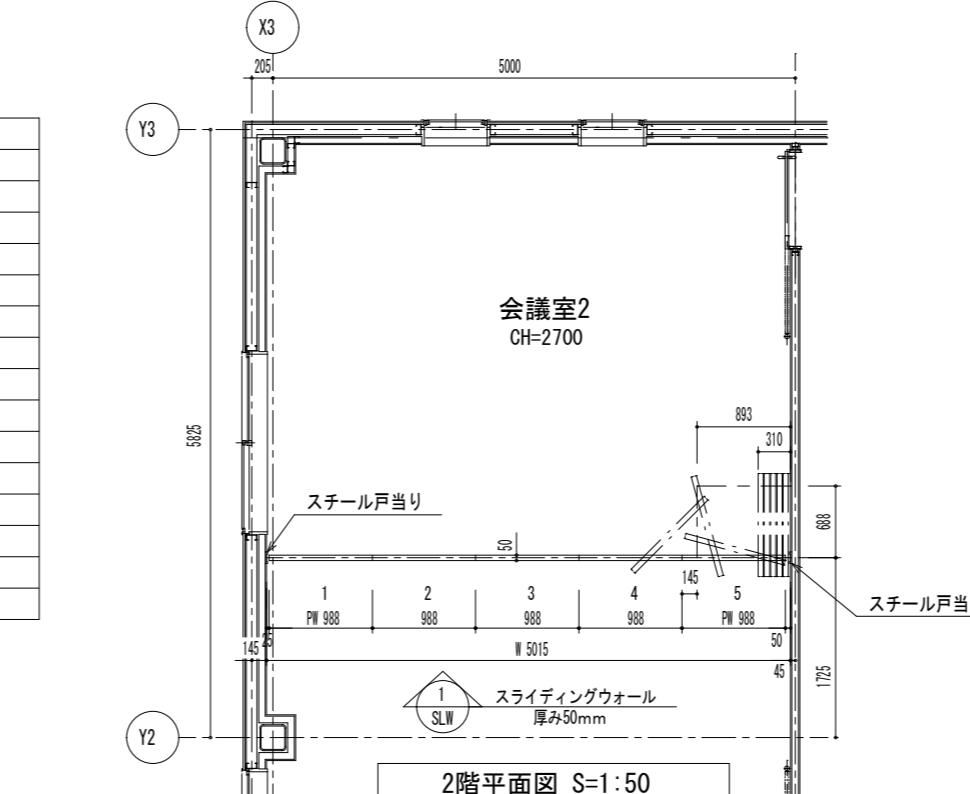


縦断面詳細図 S=1:5

×スライディングウォール 厚み50mm



■SUS製玄関マット 詳細図 S=1/10、1/5、1/1



スライディングウォール厚み50mm
パネル重量45kg／枚

△ C L

CH 2700

▽床仕上天

1 2 3 4 5

引き手 ケースハンドル

表面操作口（引き手）
(サイド押着)

表面丸落し

小口丸落し

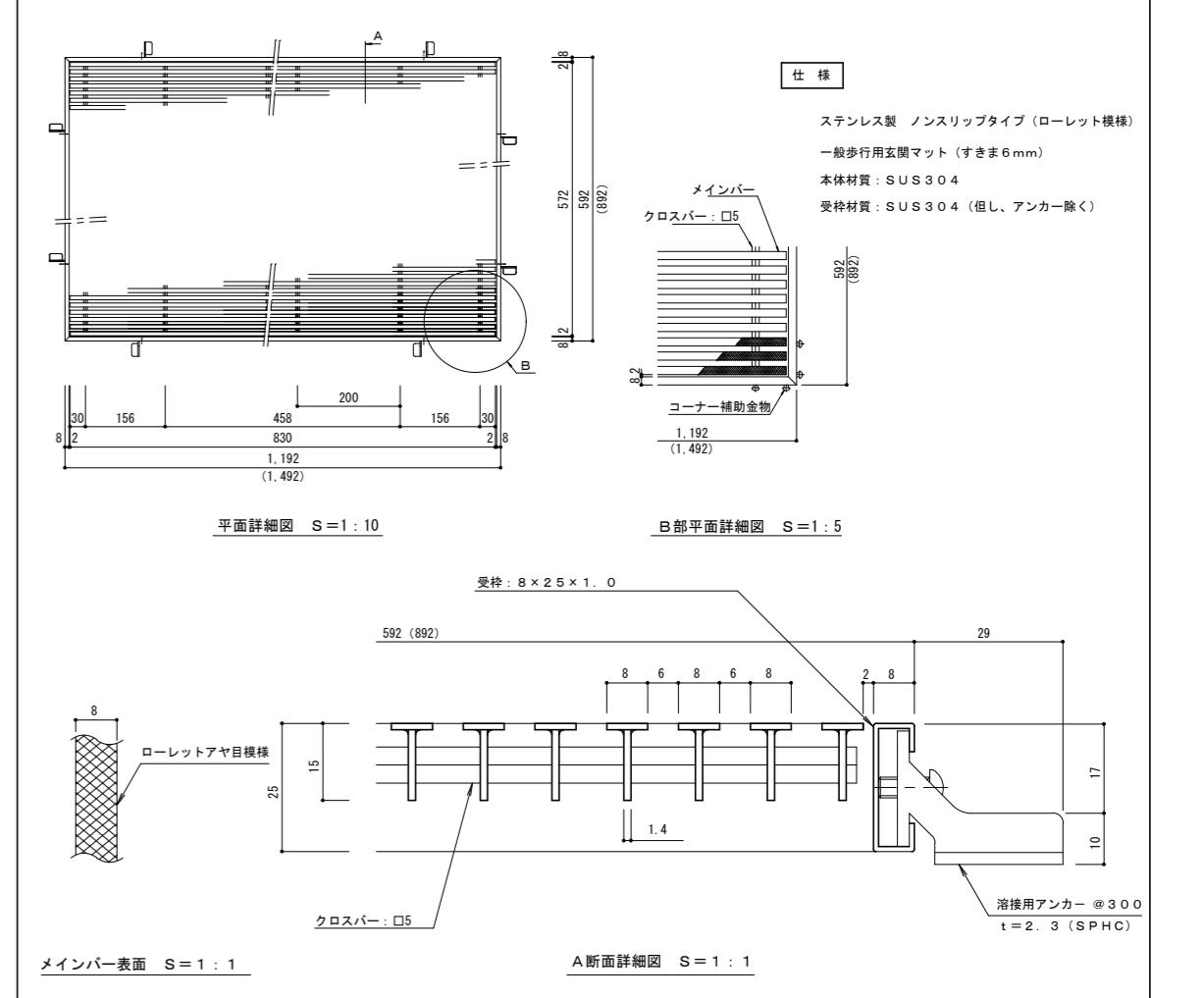
W 5015

PW 988 988 988 988 PW 988 (50)

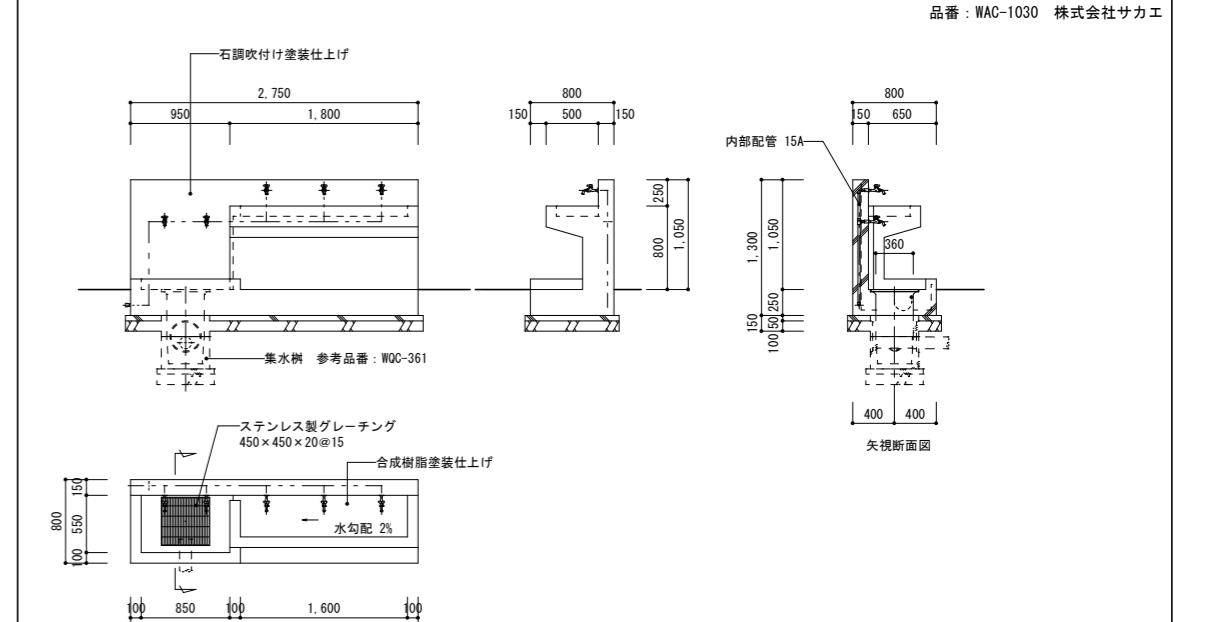
900

展开図 S=1:50

横断面詳細図 S=1:5



■手足洗い場 詳細図 S=1/50



6. () 内数字は $1,500 \times 900\text{m}^2/\%$ を示す

株式
会社 ジェイエイ津安芸
三重県津市一色町 211 TEL 059-224-8941
FAX 059-224-9001



作製年月日

訂正年月日

10

1

1

三

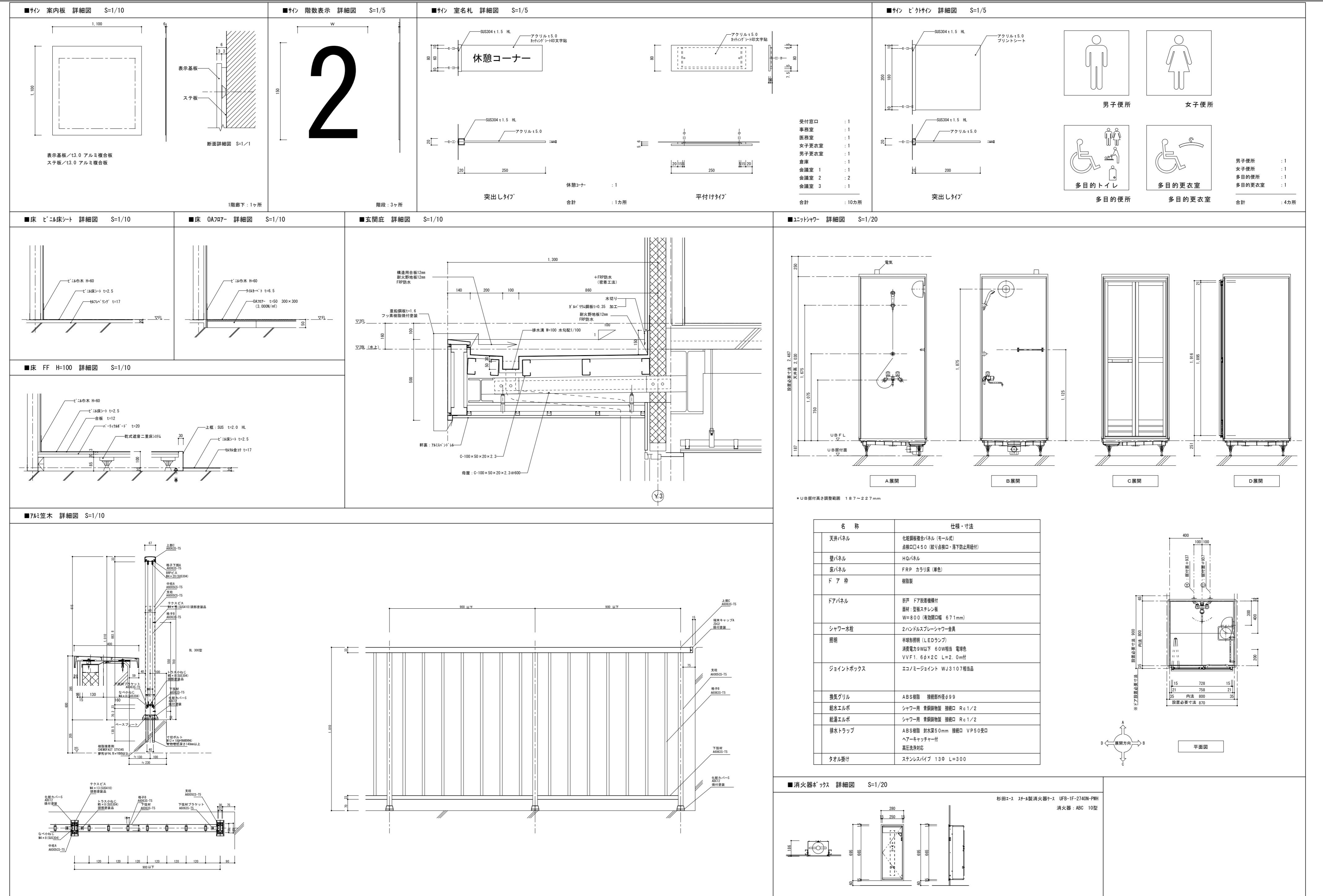
作図工事名称 令和元年度河川工事継続第2号

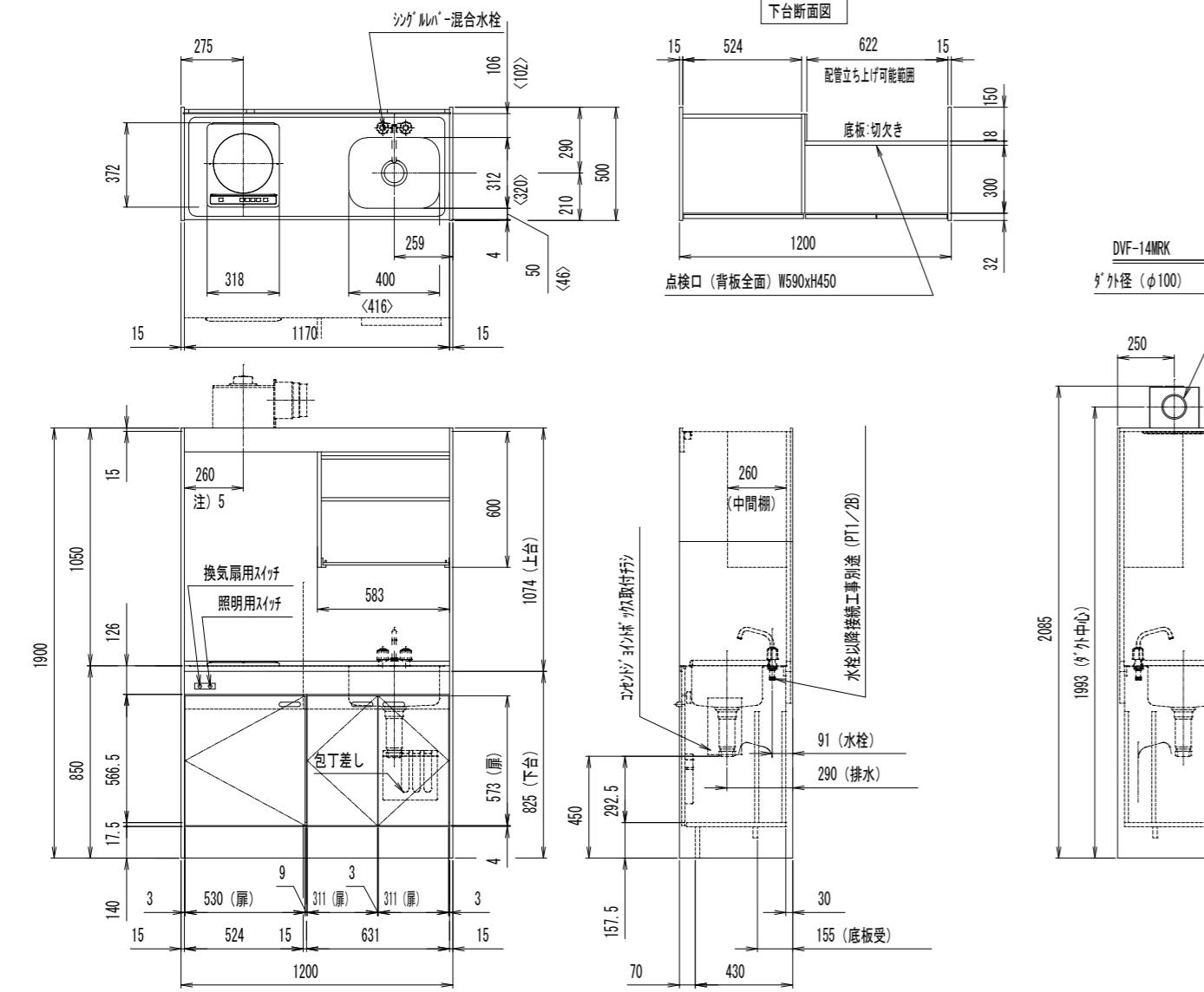
作 因 工事名稱 令和元年度河川入振經第2号
旧津市民プール跡地テニスコート整備工事

図面名称

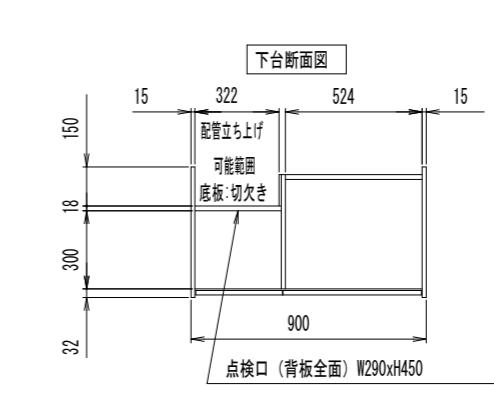
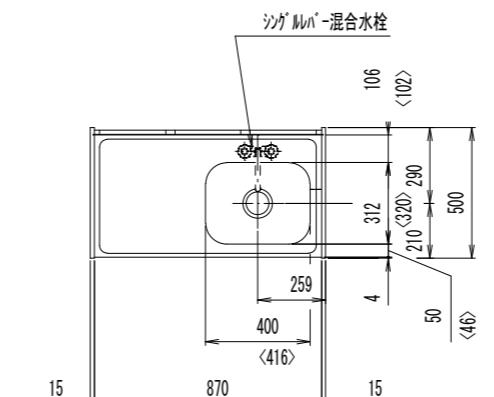
四番

A





品名	数量
【ミニキッチン L=1200 右シンク】	1
ミニキッチン 16	1
ミニキッチン扉タイプ 120cm一般地:シグネル-混合水栓・IH200V	1
シグネル混合水栓/可動円板(穴径120対応)付 内面平滑仕様	1
MKリバーフローバルブ	1



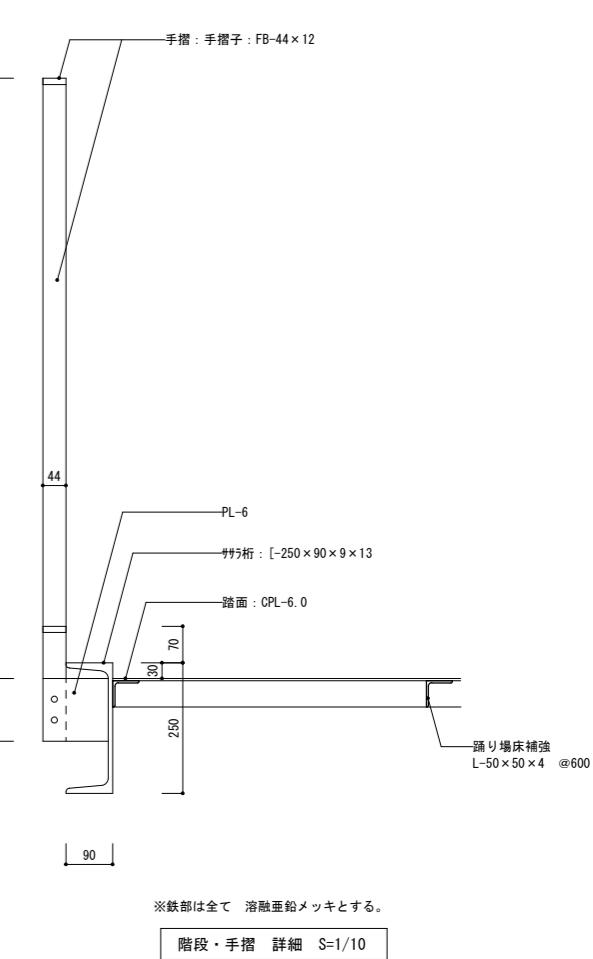
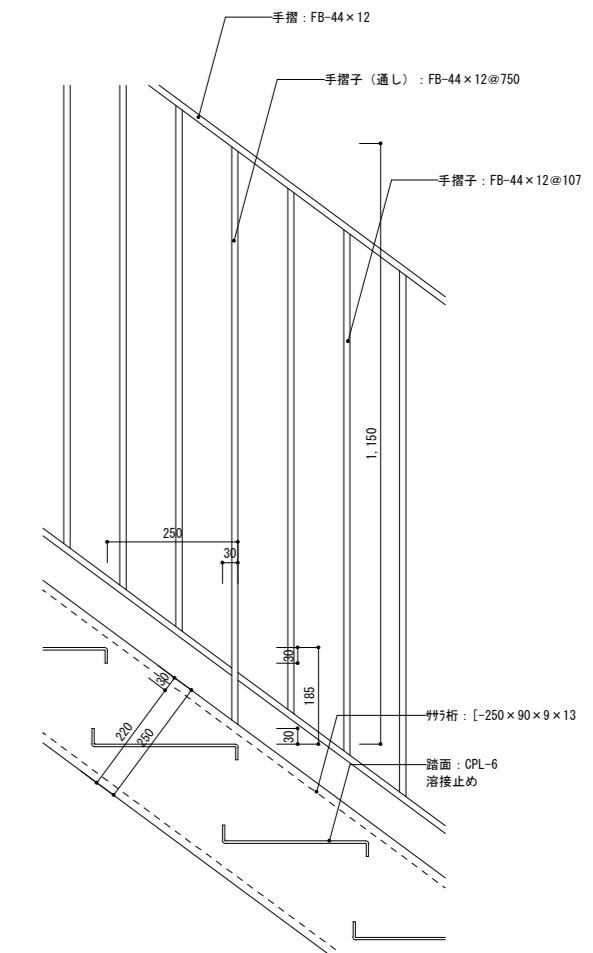
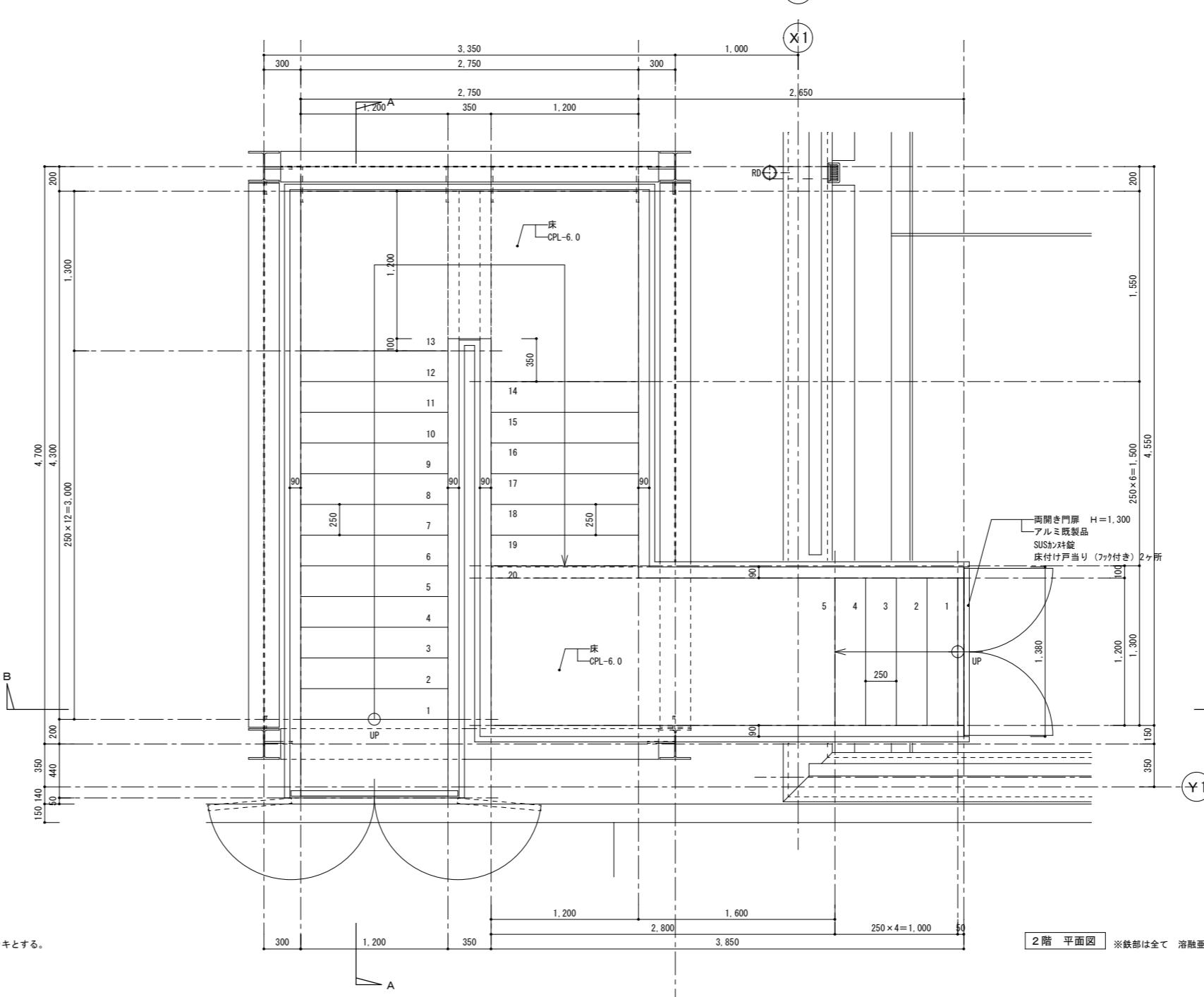
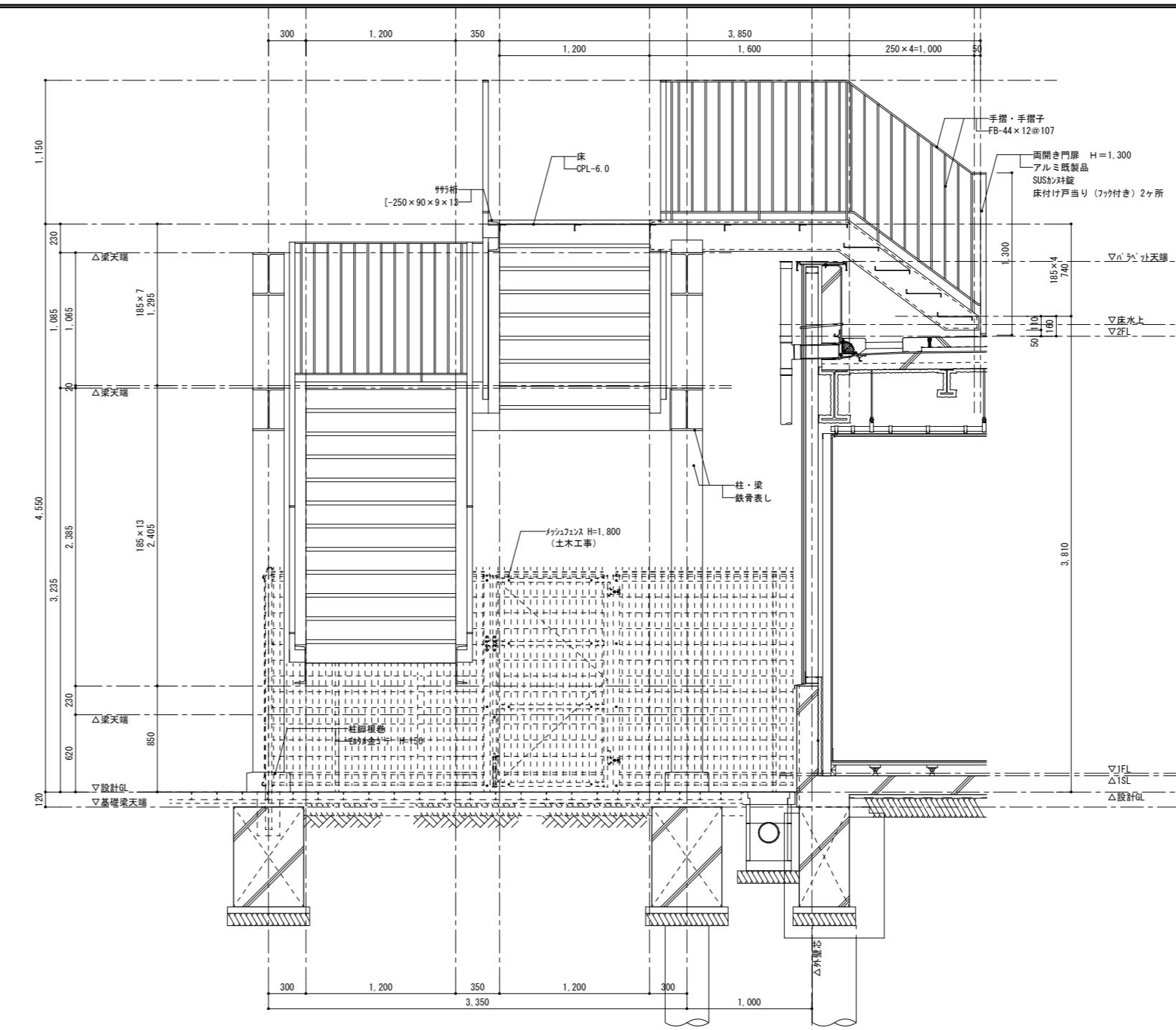
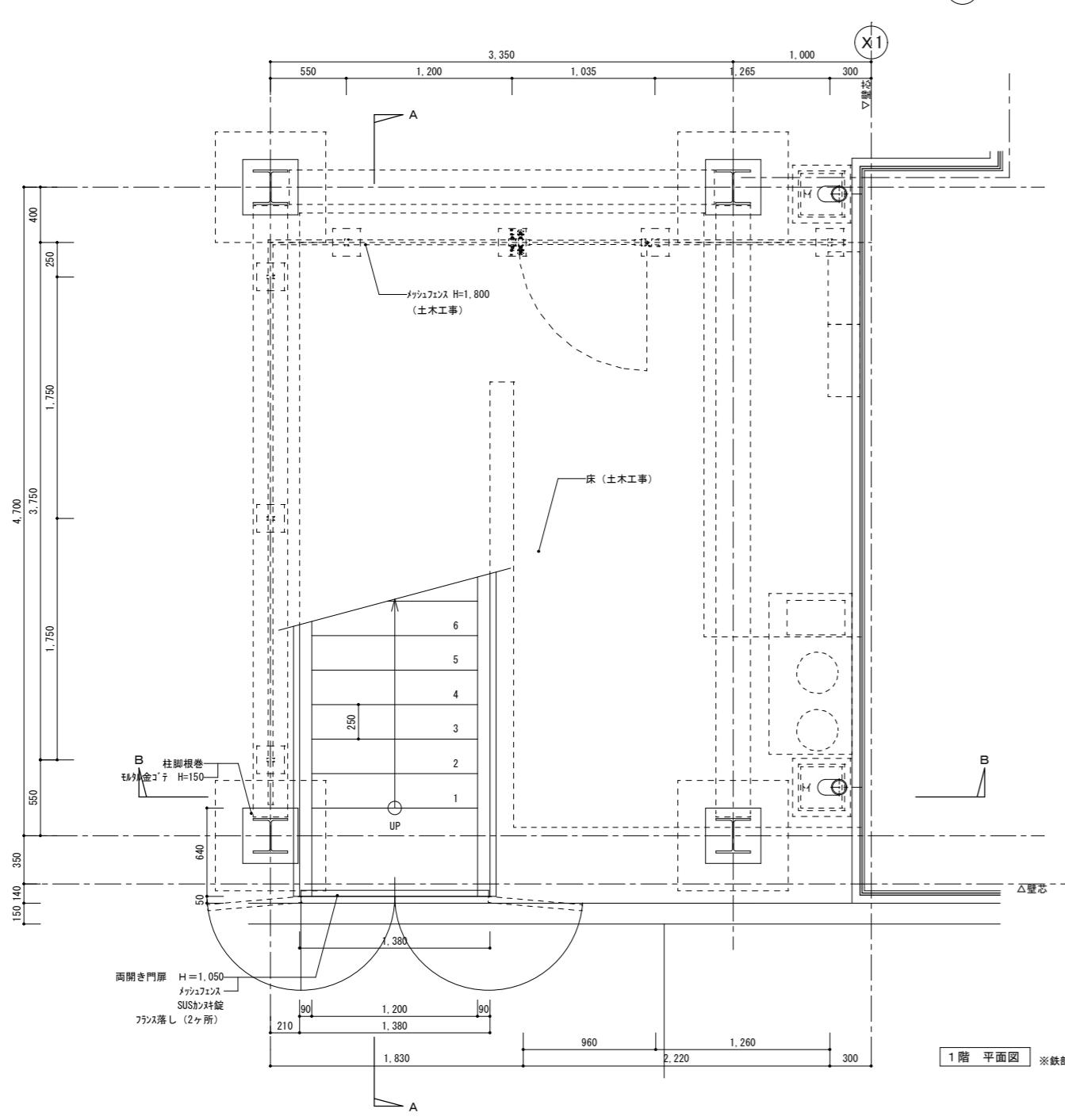
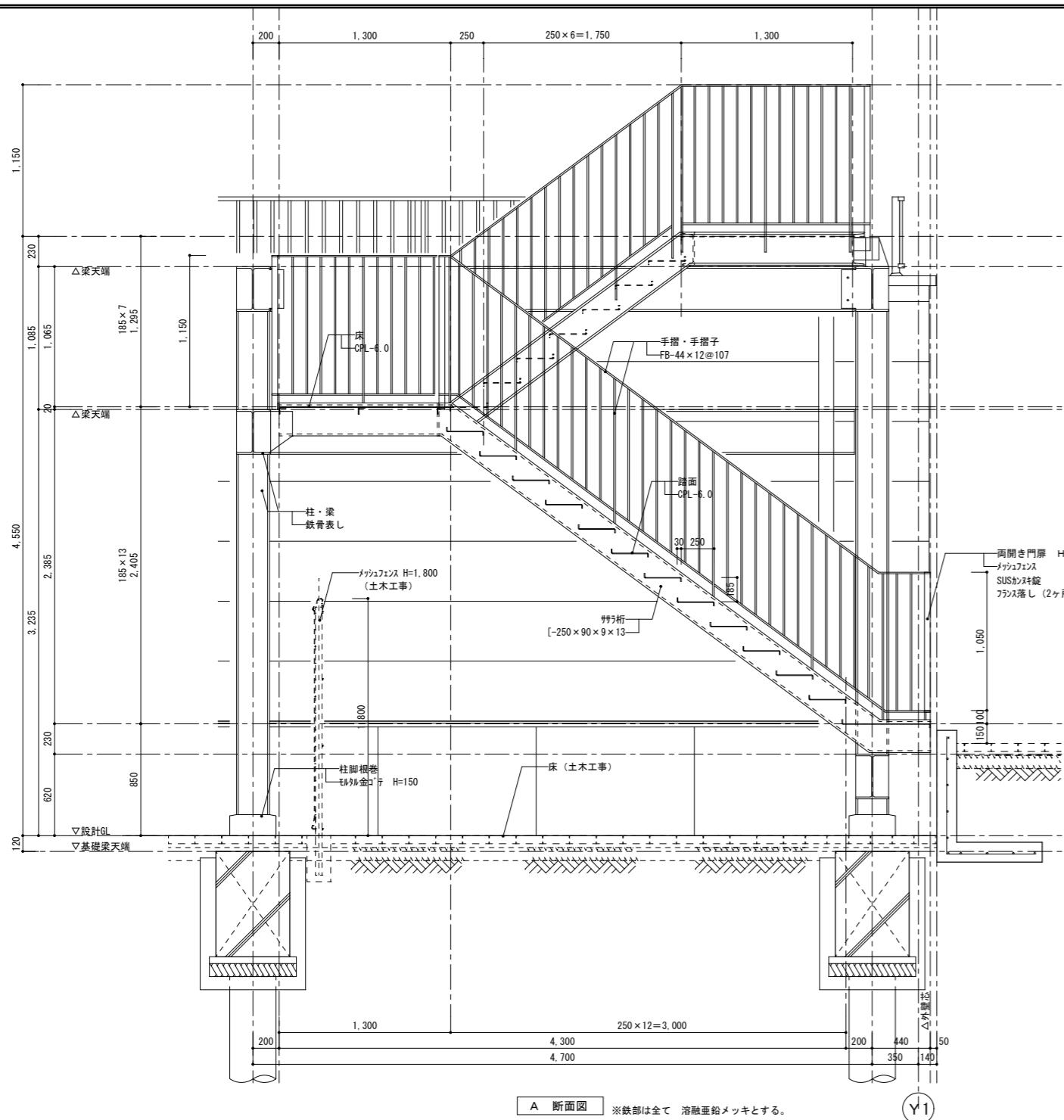
品名	数量
【ミニキッチン L=900 右シンク】	1
ミニキッチン 16	1
ミニキッチン扉タイプ ハーフ90cm/一般地:シグネル-混合水栓・加熱機器なし	1
シグネル混合水栓/可動円板(穴径120対応)付 内面平滑仕様	1

作製年月日
訂正年月日

御承認

作図

工事名称
図面名称令和元年度河川ス振継第2号
旧津市民プール跡地テニスコート整備工事
管理棟 部分詳細図 (4)図番
A-20
縮尺
1/20 (A1)



MEMO

株式
会社 ジェイエイ津安芸
三重県津市一色町 211

TEL 059-224-8941
FAX 059-224-9001



作製年月日
訂正年月日

御承認

作図

工事名称

令和元年度河川ス振継第2号
旧津市民プール跡地テニスコート整備工事
図面名称 管理棟 屋外階段詳細図

図番

A-21

1/30 (A1)

エレベーター仕様要項

分類	仕様項目	01号機
機種名称	機械室エレベーター	
機種形名	P 11-CO-45	
用途	乗用	
制御方式	可変電圧可変周波数制御(回生なし)	
操作方式	乗合全自动方式(1C-2B)	
積載量	750kg	
定員	11名	
定格速度	4.5m/min	
戸閉方式	2枚戸両引き(CO)	
出入口幅	900mm	
出入口高さ	2100mm	
かご室サイズ(内法間口)	1400mm	
かご室サイズ(内法奥行)	1350mm	
かご室サイズ(内法高さ)	2280mm	
出入口方式	一方向出入口	
正面側停止数	2停止(1-2階)	
動力用電源	AC 300-210V-60Hz	
照明用電源	AC 100V-60Hz	
耐震設計施工指針耐震クラス	クラスA 14	
出入口幅特殊(乗場)	2箇所	
出入口幅特殊(かご)	1箇所	
敷居間隔	10mm	
ドアセンサー機能	マルチビームドアセンサ2D	
車いす仕様	あり(制御機能)	
視覚障がい者対応仕様	あり	
地震時警制運転方式	P波+S波センサ付3段設定(普通級)	
停電時自動着床装置	あり	
乗場三方枠	大枠末広着なし 301mm~600mm ステンレスヘアライン(1-2階)	
乗場戸	ステンレスヘアライン仕上(1-2階)	
乗場敷居	アルミ製(1-2階)	
乗場インジケーター	一体セグメントLED ステンレスヘアライン(1-2階)	
乗場インジケーター形ボタン	ステンレスクリックボタン(凸文字)・黄緑色LED(1-2階)	
休止灯	あり	
車いす専用乗場ボタンプレート	一般用乗場ボタンプレート一体形 ステンレスヘアライン仕上(1-2階)	
車いす専用乗場ボタン	ステンレスクリックボタン(凸文字)・黄緑色LED(1-2階)	
乗場休止スイッチ	乗場インジ・ボタン組込	
天井	LEDフラット(白色LED)	
かご室壁・戸	化粧鋼板	
袖壁・出入口柱	ステンレスヘアライン仕上	
巾木	アルミ製	
かご床	樹脂タイル2mm(メーカー標準タイル)	
かご室敷居	アルミ製	
かご操作盤タイプ	袖壁操作盤	
かご操作盤フレート材質・仕上	ステンレスヘアライン	
かごボタン	ステンレスクリックボタン(凸文字)・黄緑色LED	
正操作盤インジケーター型	かご内液晶インジケーター(5.7インチ) CUDO認定品	
かご操作盤液晶表示言語	4ヵ国語ガイド(通常時:日英、緊急時:日英中韓、1画面表示)	
車いす専用かご操作盤	両側面に設置 ブレード:ステンレスヘアライン仕上	
車いす専用かご操作盤インジケーター型	セグメントLED	
車いす専用かごボタン	ステンレスクリックボタン(凸文字)・黄緑色LED	
かご室換気	ラインフーファン	
かご室手すり	丸形ステンレス 二面取付(両側面)	
かご室鏡	合せガラスアルミ枠(570mm×1400mm)	
壁保護幕	あり(磁石式)	
床保護マット	あり	
気配りドア	あり	
ホールモーションセンサ3D	あり	
遮煙機能	なし	
点字名板取付方法	接着	
おもり非常止め	なし	
火災時警制運転方式	なし	
インターホン型式	6V1局	
乗場インターホンボックスタイプ	鋼板塗装仕上(露出形)	
かご内4ヵ国語アナウンス	かご内4ヵ国語アナウンス(通常時:日英、緊急時:日英中韓)	
かご室スピーカー	あり	
フェッシャーブレート	エレベーター手配(2階)	
レール支持方式	立柱方式	
煙感知器点検口スイッチ	なし	
仮設動力電源	客先手配	(NNI9054324)

No. 01号機

除外工事事項

建築工事関係

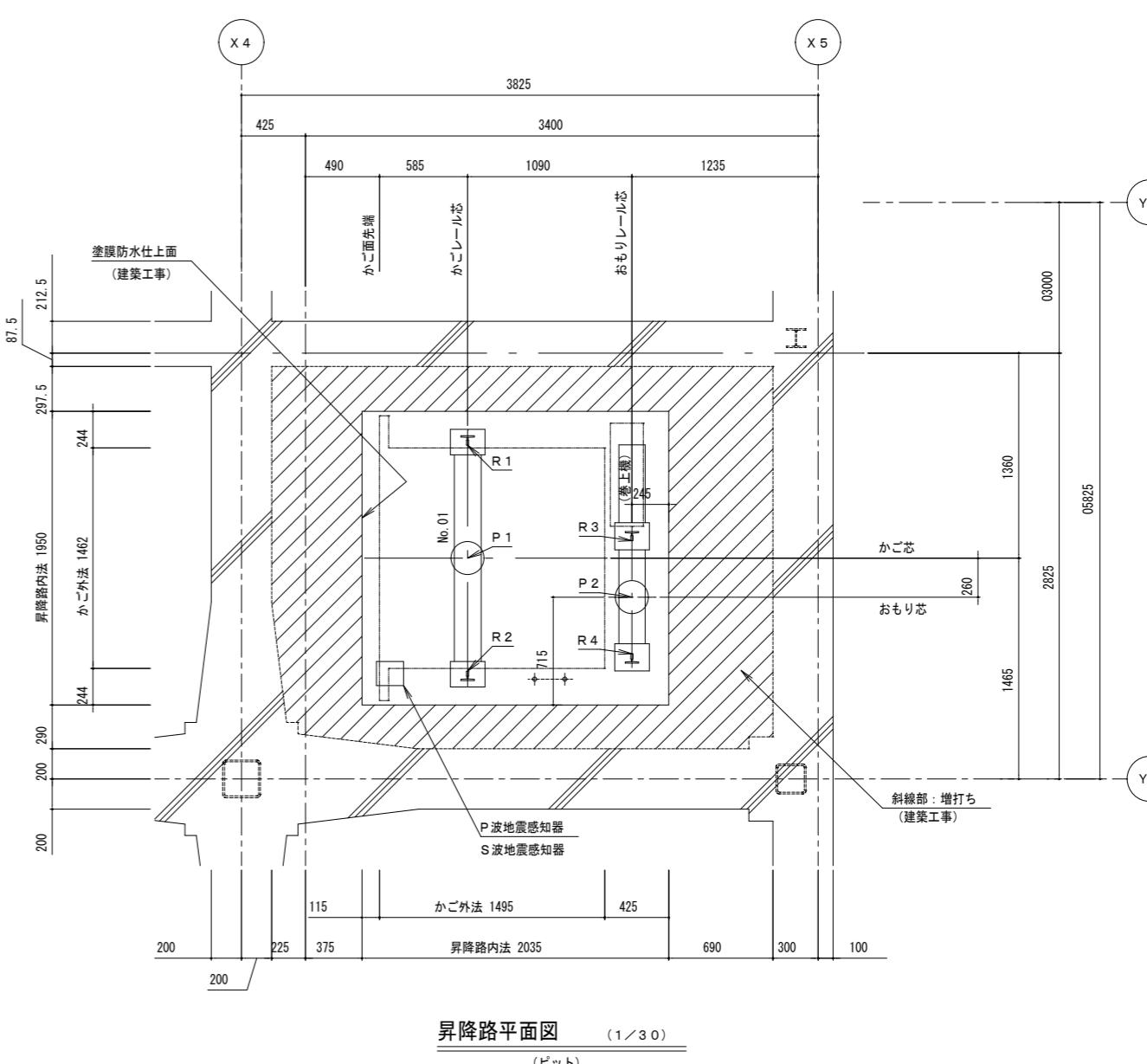
- 昇降路の築造工事及び各階出入口、インジケーター、押ボタン等の穴あけ工事
(昇降路壁は5cm²辺り300Nの外力が作用した時に15mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること)
- 鉄骨構造のファスナー、立柱及び中間ビーム(必要の場合は)並びにシハイ受材の設置工事
- 鉄骨構造の三方枠、インジケーター、押ボタン、ハンガーケース等の取付用鋼板設置工事
- 各階乗場出入口枠周囲のモルタル詰め工事
- 乗場機器取付け後の出入口壁の壁及び床の仕上工事
- 昇降路頂部にエレベーター機器機重用のフック又はビームの設置工事(20kN)/台
- 遮過槽がある場合の非常停止装置工事
- ピット下部防水工事
- ピット保下部使用の場合の建築対策工事
- ピットが深い場合の防めん加工工事
- その他建築に関する工事

設備工事関係

- 動力用電源・照明電源・接地線の受電端子迄の引込工事(緊張込み工事含む)
- インターホン取付位置より昇降路までの配管配線工事(Φ90×10本)/台
- 火報信号の昇降路より外への配管配線工事
- 遮煙ドア操作用の場合は、遮煙ドア設置箇所乗降ロビーに火災感知器または、煙感知器の設置工事
- エレベーターの遙隔管理用配管・配線工事(昇降路内から最寄の電話中継室まで)
- ピット内点検コントローラー設置工事(照明用AC100Vとは別系統のこと)
- 昇降路頂部の煙感知器設置工事(外部より点検可能など)
平成20年国土交通省告示第1454号第一号により点検口の戸は錠を(工具を必要とするときも)とし戸が開いた時にはエレベーターを停止させる必要がある
- かご内UVカメラがある場合、かご内UVカメラ用配管・配線工事(昇降路からモーター設置場所まで)
-5°C~20°C回転ケーブル
- かご室スピーカーがある場合、放送用配管配線の昇降路制御盤までの引込工事
(非常放送がある場合3甲式とすること)
- 昇降路の換気設備工事(平成12年建設省告示第1413号第1第三号ニにより昇降路内温度を40°C以下に保つ必要があります)
- 昇降路の換気設備工事(平成12年建設省告示第1413号第1第三号ニにより昇降路内温度を40°C以下に保つ必要があります)
- 発熱量 エレベーター駆動部(8.75W/1台)+エアコン(-W/1台)

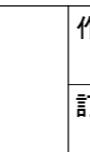
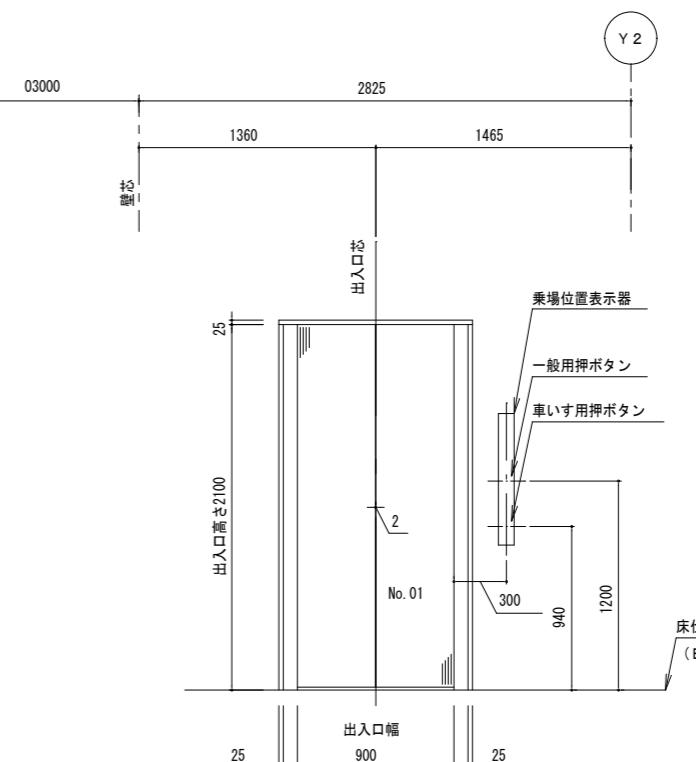
注意事項

- 昇降路開口・奥行寸法は、昇降路全域(ピット底部から昇降路頂部まで)にわたり確保のこと
- コンクリート強度は21N/mm²以上のこと
- 電源電圧の変動は+5%~-10%以内、電圧不平衝車5%以内のこと
- 本エレベーター所定性能維持のため記述条件が必要です
 - 昇降路内の温度は-5°C~40°C以内、湿度は平均90%・日平均95%未満かつ急激な温度変化等により結露・結露しないこと
 - 金属を耗材または貴重な物に見えない原因となるような意地悪な行為がないこと
- 屋上直接外気と接する乗場における雨水よけ設備(ひさし・風除室・水勾配・グレーティング・防漏板等)
- 昇降路壁には電気・水道等の配管・器具を埋め込まないこと
- 昇降路壁には他の用途の配管・ダクト等が露出しないようお願いします
(建築基準法施行令第129条の2の5第1項第三号)
- 遮断器はインバータ線に応じてのを使用すること
- 輸送可能な荷物配積車や台車などの重量物は250kg以下下ること
- 換気設備を設置する場合は昇降路外部より保守可能な位置とし、設置環境により雨水避けは、防水対策を実施のこと
- エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部階段などから最上階および最下階エレベーターホールアケセスできる経路を確保すること(個人宅など占有部を経由しないこと)
- エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備に影響を受ける恐れがあります
次の対策をお勧めします
 - エレベーター動力と通信機器・OA機器等弱電機器の電源線・通信線を1m以上分離する
 - エレベーターを含む動力の電源トランクと通信機器・OA機器等弱電機器の電源トランクを分離する(エレベーター・照明用電源は弱電機器のトランクと分離不要)
 - エレベーターを含む機器アース線と通信機器・OA機器等弱電機器のアース線の分離配線と接地極の分離をする
- 乗場壁ハウジング吹付けを行う場合は、乗場機器取付け後に施工願います。乗場機器取付け前にハウジング吹付けを行うと、乗場機器取付け時の接觸の火花に引火する恐れがあります
- 乗場に向かって強風が吹く場合には、防風対策(建築工事)を行ってください。風圧により乗場の戸が閉まらない恐れがあります



レール下端部荷重(長期荷重)			
R1 (kN)	R2 (kN)	R3 (kN)	R4 (kN)
28.2	27.8	49.8	23.9

ピット荷重(短期荷重)	
P1 (kN)	P2 (kN)
89.5	71.6



作製年月日
訂正年月日

御承認
作図

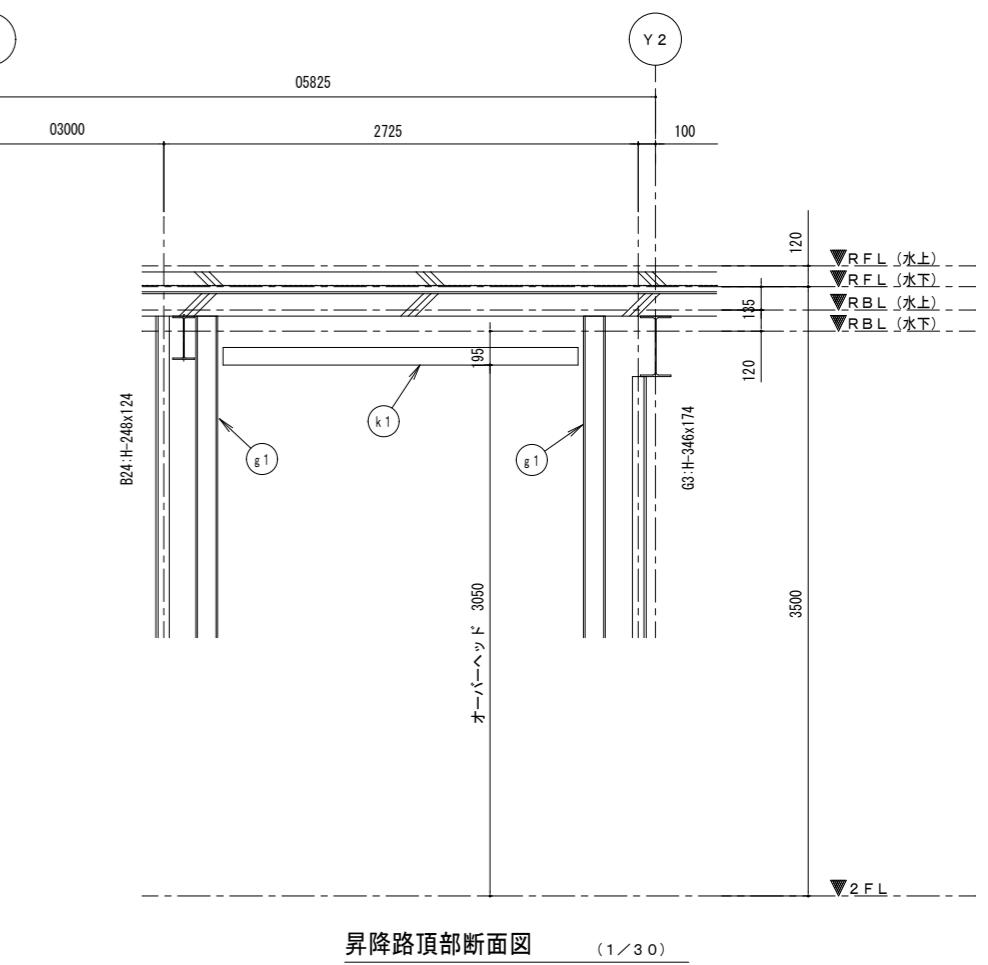
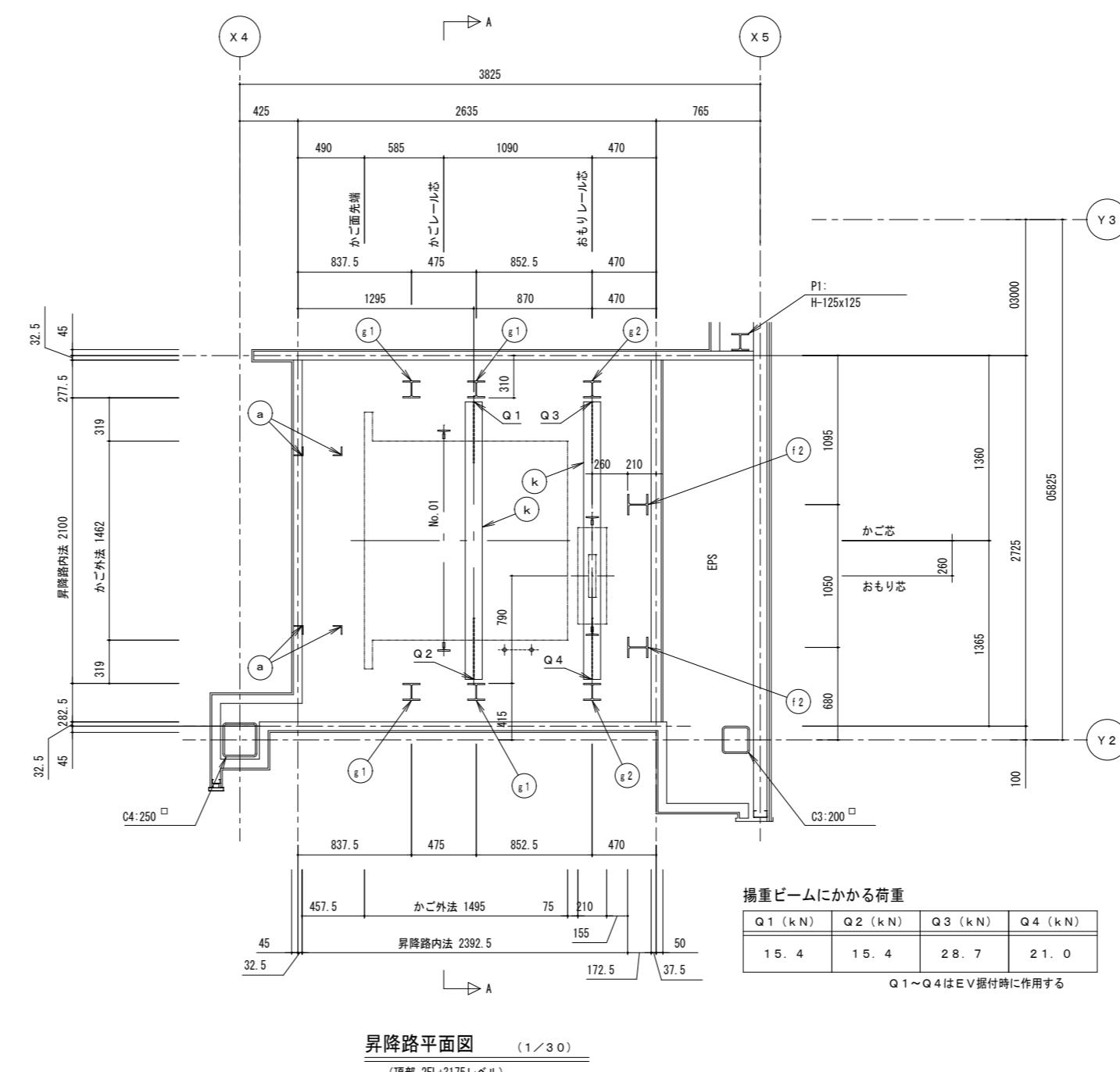
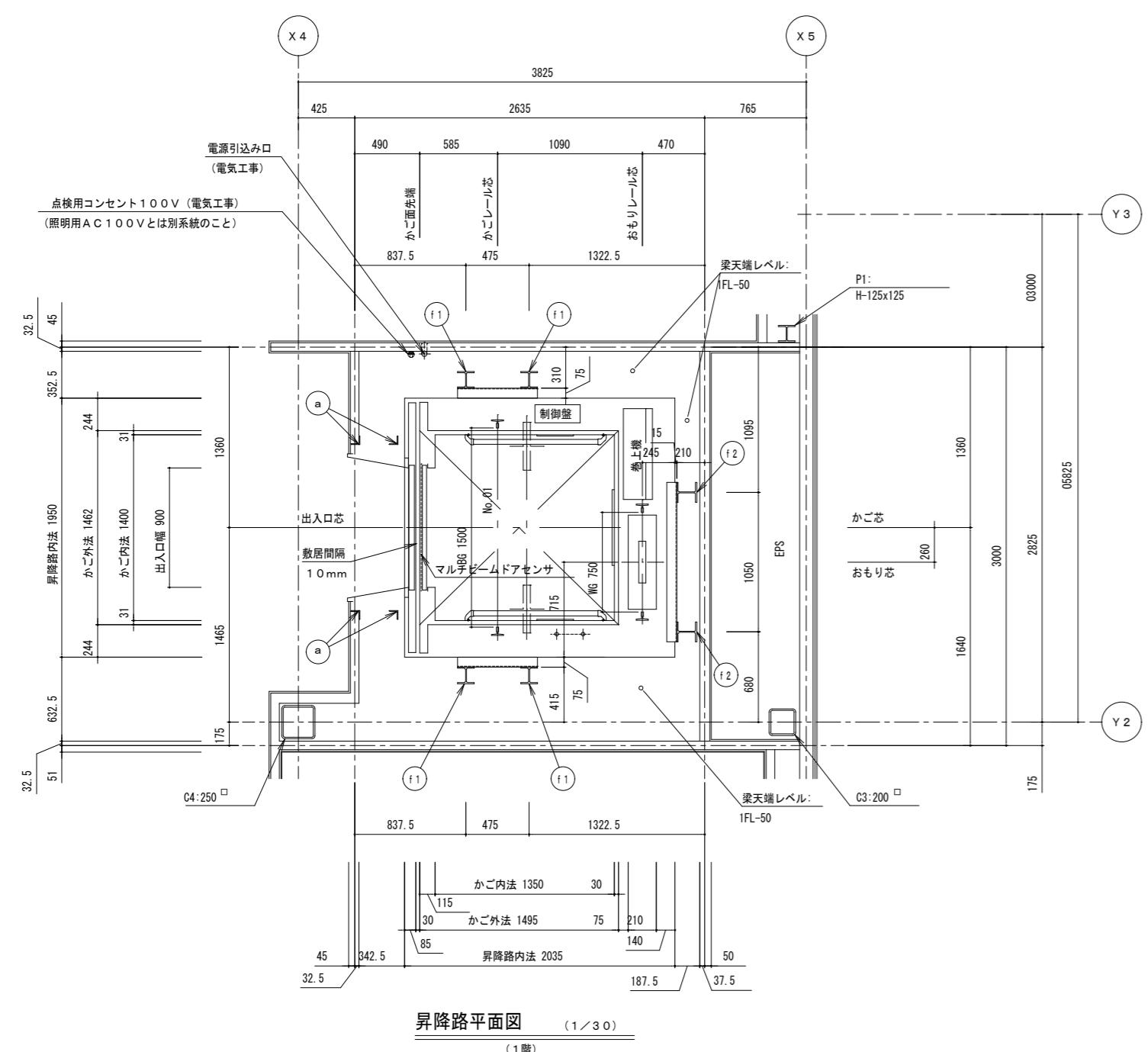
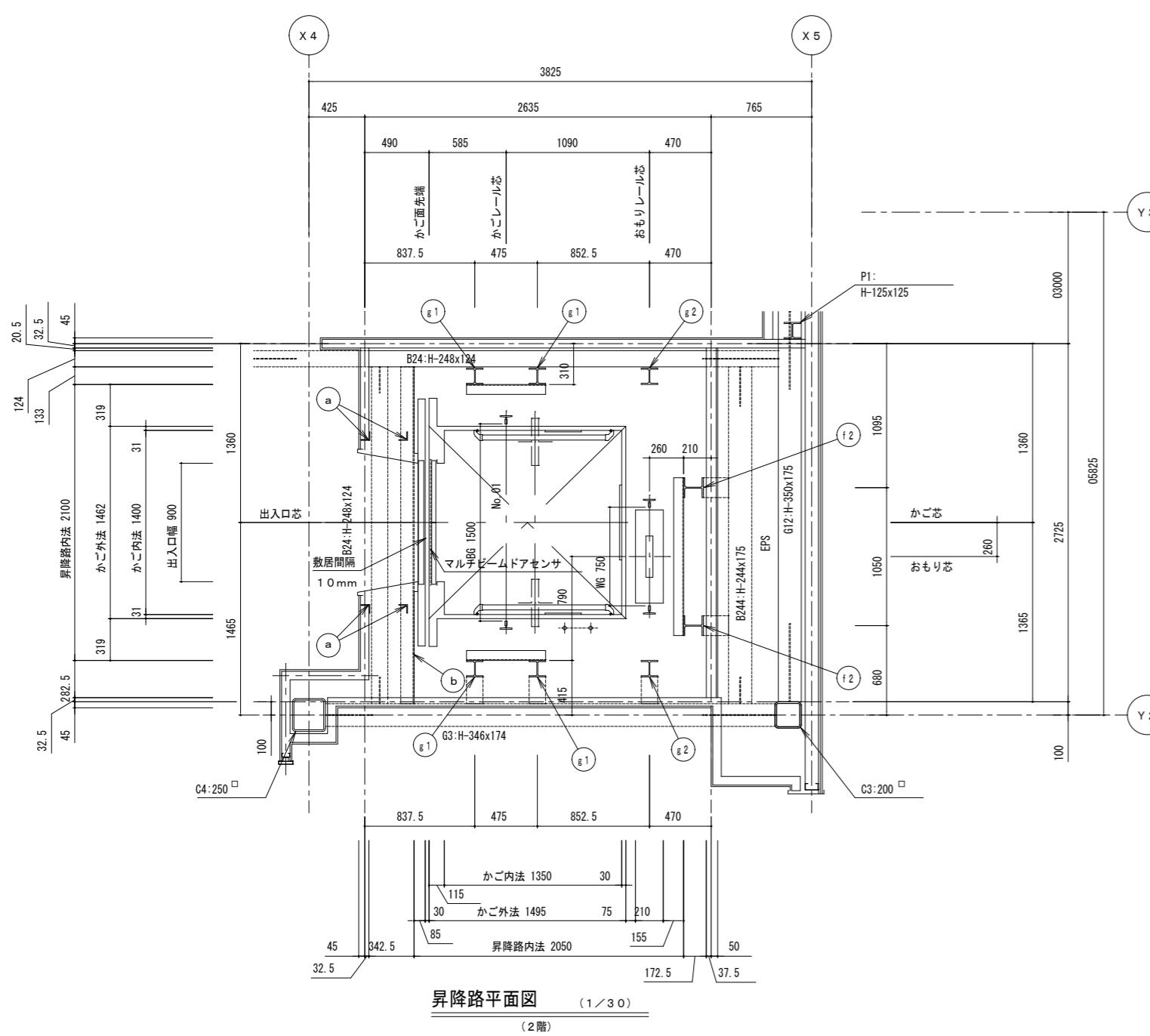
工事名称
図面名称

令和元年度河川ス振継第2号
旧津市民プール跡地テニスコート整備工事
エレベーター詳細図(1)

図番
A-22
縮尺
1/30 (A1)

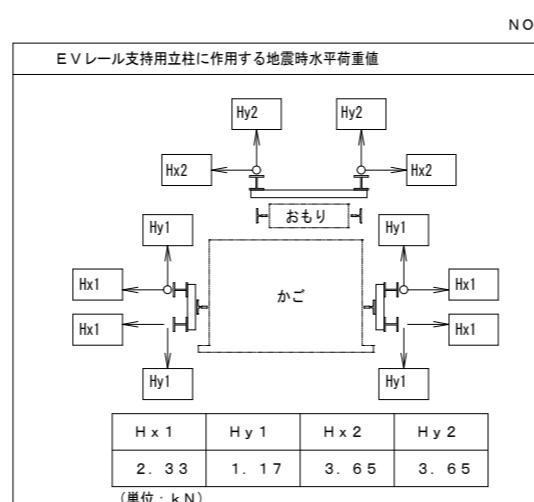
MEMO

株式会社 ジェイエイ津安芸
三重県津市一色町 211 TEL 059-224-8941 FAX 059-224-9001



揚重ビームにかかる荷重			
Q1 (kN)	Q2 (kN)	Q3 (kN)	Q4 (kN)
15.4	15.4	28.7	21.0

Q1～Q4はEV値据付時に作用する



部材 記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材	L-65×65×6	建築工事
b	敷居受け金具取付材	L-100×100×7	建築工事
f 1	レールプラケット取付用立柱	H-125×125×6.5×9	建築工事
f 2	レールプラケット取付用立柱	H-150×150×7×10	建築工事
g 1	レールプラケット取付用立柱兼 揚重ビーム取付用立柱	H-125×125×6.5×9	建築工事
g 2	揚重ビーム取付用立柱	H-125×125×6.5×9	建築工事
k	揚重ビーム	H-125×125×6.5×9	建築工事

動力電源設備 (C V - T 電線使用時)								
号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側 N F 容量	感度電流値 動作時間 (*)	電線サイズ	接地線サイズ	
01	A C 3 Φ 2 1 0 V 6 0 H z	3. 8 k W	4 k V A	4 0 A T	1 0 0 mA 以上 0. 2 秒以上	7 0 m まで 1 2 1 m まで 1 8 5 m まで	8 mm ² 1 4 mm ² 2 2 mm ²	3. 5 mm ²

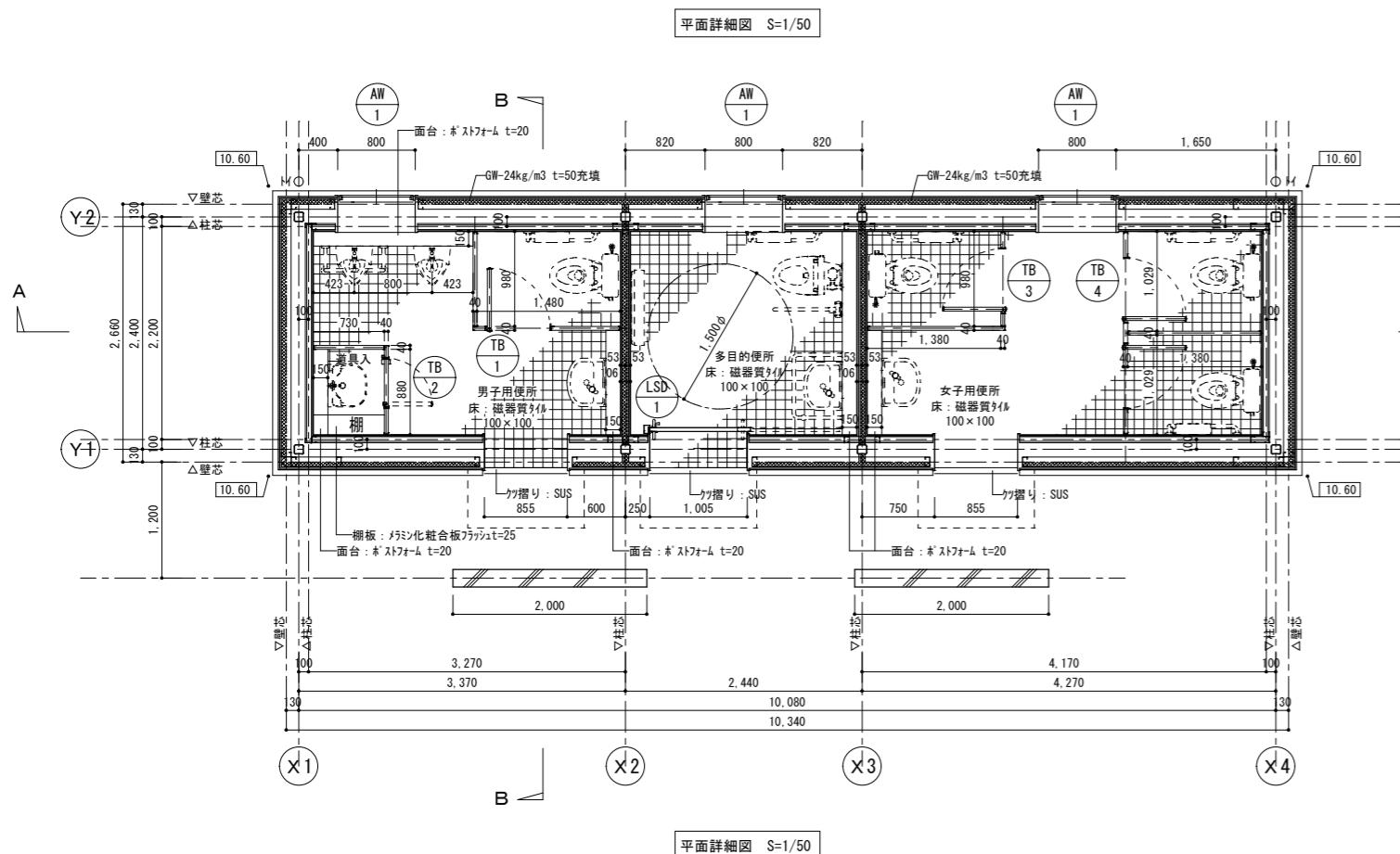
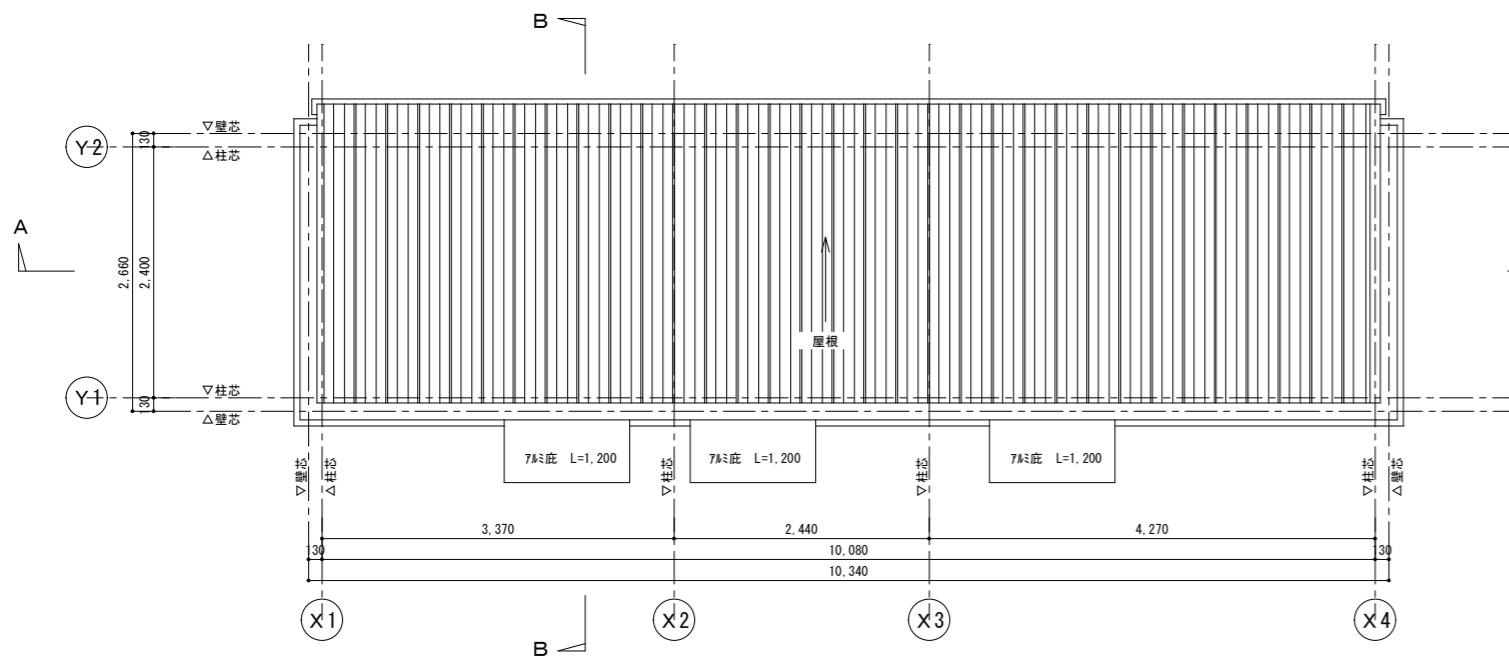
照明用電源設備 (CVD電線使用時)					
号機名	電源電圧 周波数	照明電源容量	電源側NF容量	電線サイズ	接地線サイズ
O 1	A C 1 Φ 1 0 0 V 6 0 H z	1 kV A	2 0 A T	4 3 m まで 8 mm ² 7 6 m まで 1 4 mm ² 1 1 2 m まで 2 0 mm ²	2 0 mm ²

高調波対策（高調波流出電流計算値）																	
高調波対策内容		機器名称	定格容量 (kVA)	台数	合計容量 P _i (kVA)	回路分類 細分N _{o.}	6パルス 換算係数 (K _i)	6パルス等価 容量 [Ki × P _i] (kVA)	機器最大 稼働率 (%)	基本電流に対する高調波電流発生率 I _n (%)							
										5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
○	ノイズフィルタのみ (標準)	O 1号機 AXIEZ(750kg-45m/min)	4.8	1	4.8	31	3.4	16.2	25	65	41	8.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.8
	ACリアクトル追加 (Ki=1.8相当)					32	1.8	8.6	25	38	14.5	7.4	3.4	3.2	1.9	1.7	1.3

高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。ガイドラインではその需要家から流出する高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策を求められます。

※ 各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。

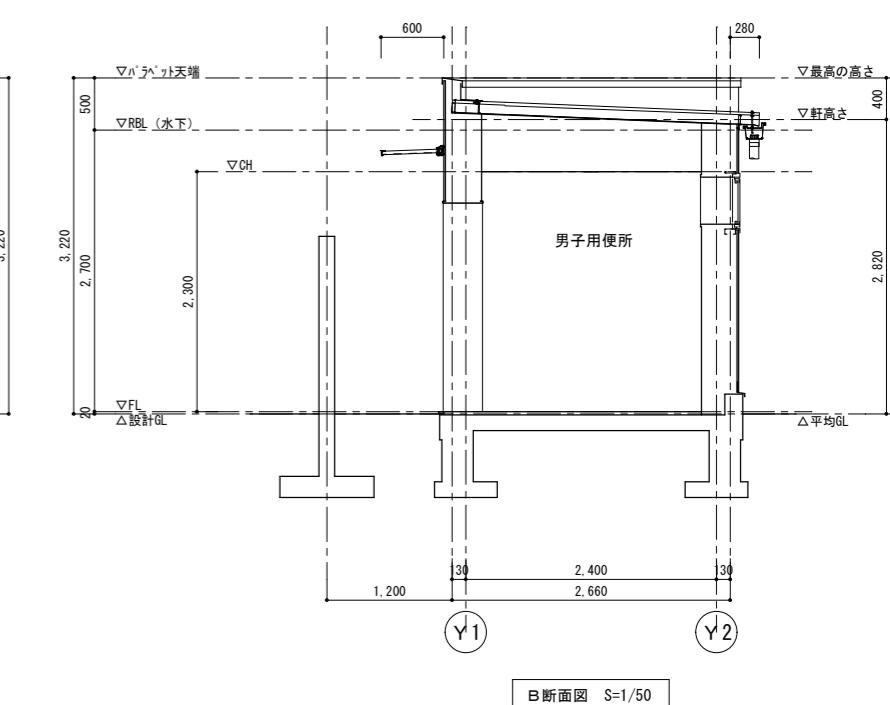
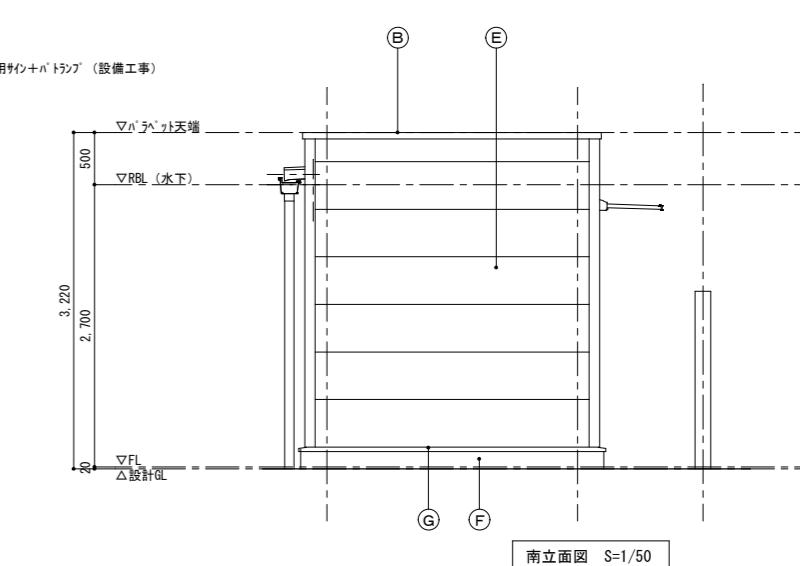
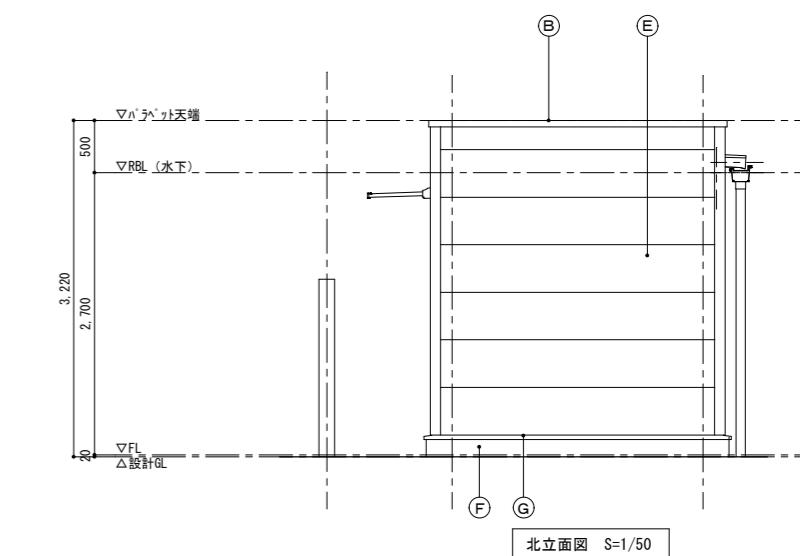
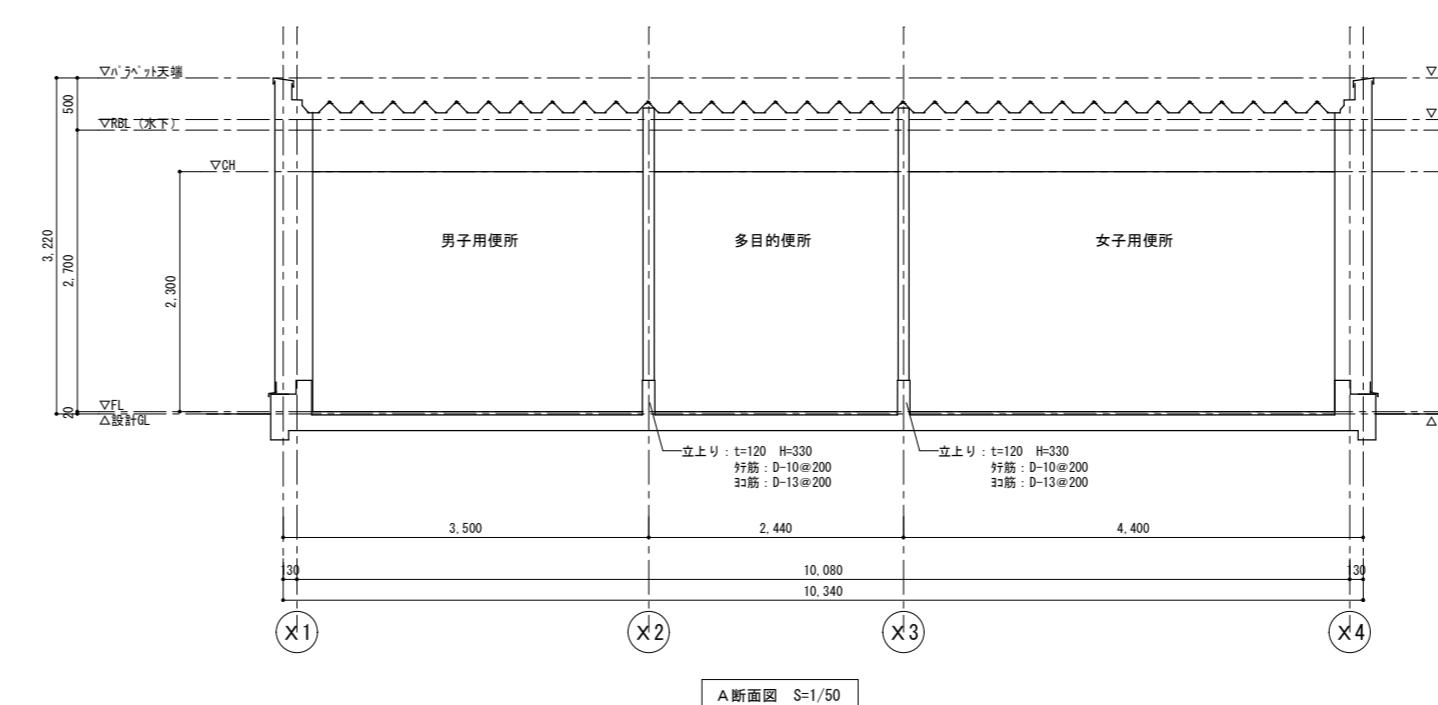
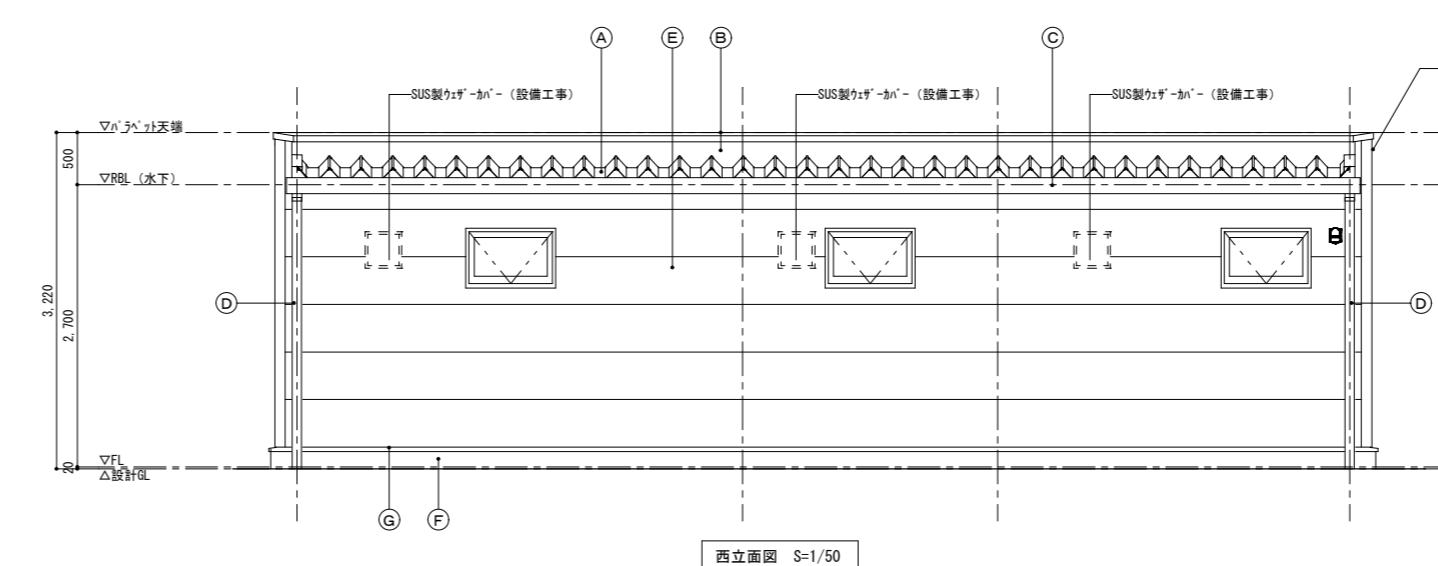
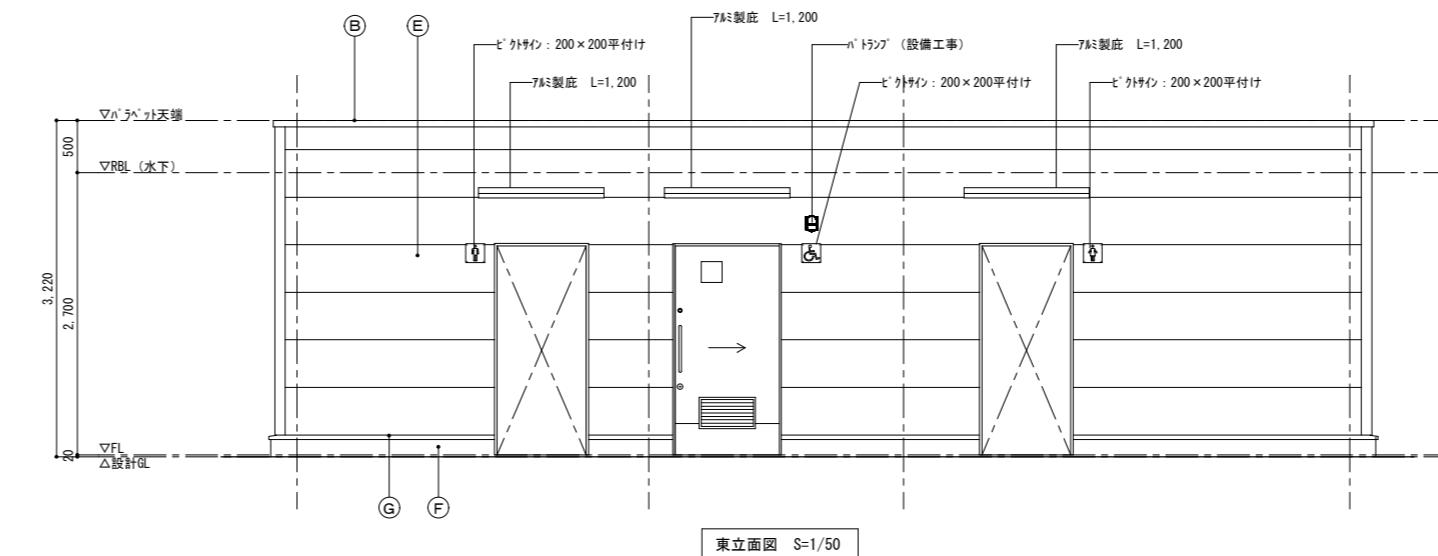




屋外トイレ棟 外部仕上		
(A)	屋 根	折板 ガルバリウム鋼板t=0.8 山高90 嵌合タフ ガラス繊維系断熱材裏貼 t=0.5
(B)	バラベット	笠木：アルミ製押出材 W=200 立上り：ガルバリウム鋼板 t=0.35
(C)	軒 檻	硬質ポリ塩化ビニル製 前高式 角形巾120
(D)	豎 檻	硬質ポリ塩化ビニル管 Φ100 掘み金物：SUS製 既製品 @1200
(E)	外 壁	窯業系セメントレンガ t=16 横張（通気工法）
(F)	巾 木	化粧合板型枠コンクリート打放し 撥水剤塗布
(G)	水 切	ガルバリウム鋼板t=0.35加工
	開口部	窓：アルミサッシ（アルマイト処理） 扉：スチールドア（PP素樹脂焼付塗装）

階	室名	床			巾木	壁			天井				室名札	備考
		FL	下地	仕上	仕上 高さ	下地	仕上	柱型	下地	仕上	梁型	廻縁	天井高	
1階	男子用便所	FL±0	RC	磁器質タイル100×100	磁器質タイル100×100 H=300	LGS	GB-S t=12.5 + 化粧ケイカル板 t=6 (GW-24kg/m ³ t=50 充填)	—	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2,300	トイレ -ス : 高圧メラミン化粧合板フランジ t=40 ライング 天端 : ポストフォームt=20 棚板 : メラミン化粧合板フランジt=25
	女子用便所	FL±0	RC	磁器質タイル100×100	磁器質タイル100×100 H=300	LGS	GB-S t=12.5 + 化粧ケイカル板 t=6 (GW-24kg/m ³ t=50 充填)	—	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2,300	トイレ -ス : 高圧メラミン化粧合板フランジ t=40 ライング 天端 : ポストフォームt=20
	多目的便所	FL±0	RC	磁器質タイル100×100	磁器質タイル100×100	LGS	GB-S t=12.5 + 化粧ケイカル板 t=6	—	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2,300	ライング 天端 : ポストフォームt=20

				H=300	(GW-24kg/m3 t=50 充填)									
表示略号	EP	合成樹脂エマルションペイント塗り	OS	オイルステイン塗り	ALC	軽量気泡コンクリートパネル	GB-R	せっこうボード	RW	ロックウール	SLF	均しモルタル（セルフフレービング工法）		
	EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り	OSV	オイルステインワニス塗り	ECP	押出成形セメント板	GB-F	強化せっこうボード	GW	グラスウール吸音材	FF	乾式遮音二重床システムバー・ティクスード t=20		
	EP-T	合成樹脂エマルション模様塗料塗り	B-AE	アクリル樹脂系焼付塗装	RC	鉄筋コンクリート	GB-S	シージングせっこうボード	FB	フラットバー	SP	ステールパーティション		
	OP	油性調合ペイント塗り	DP	耐候性塗料塗り	S	鉄骨	GB-D	化粧せっこうボード	HL	ヘアライン仕上げ	TB	トイレース（メラミンフラッシュ）		
	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	WP	木製保護塗料塗り	LC	軽量コンクリート	GB-NC	不燃積層せっこうボード	VU	硬質塩化ビニル管（薄肉管）	CR	カーテンレール		
	FE	フタル酸樹脂エナメルペイント塗り	LE	ラッカーエナメル塗り	CB	コンクリートブロック	GB-P	吸音用あなあきせっこうボード	VP	硬質塩化ビニル管（一般管）	AB	アルミ製暗幕ボックス		
	VE	塩化ビニル樹脂エナメルペイント塗り	NAD	アクリル樹脂系非分散型塗料塗り	LGS	軽量鉄骨	GB-L	せっこうラスマボード	SGP	配管用炭素鋼管（白ガス管）	BB	アルミ製ブラインドボックス		
	UE	ポリウレタン樹脂ペイント塗り			PC	プレキャストコンクリート	DR	ロックウール化粧吸音板	RD	ルーフドレイン				
	AE	アクリル樹脂エナメルペイント塗り			SUS	ステンレス鋼（304）特記無き限り	ケイカル板	繊維混入けい酸カルシウム板	DP	豎樋				
	CL	クリアラッカー塗り			ST	スチール	FPB	フォームボリスチレンボード						
	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り			AL	アルミニウム	RW-B	ロックウール吸音ボード						
							GW-B	グラスウールボード						



MEMO



/200

—

TEL 059-224-
FAX 059-224-

第 1 页

作製年月日

— 5 —

正年月日

11 - 12

御承認

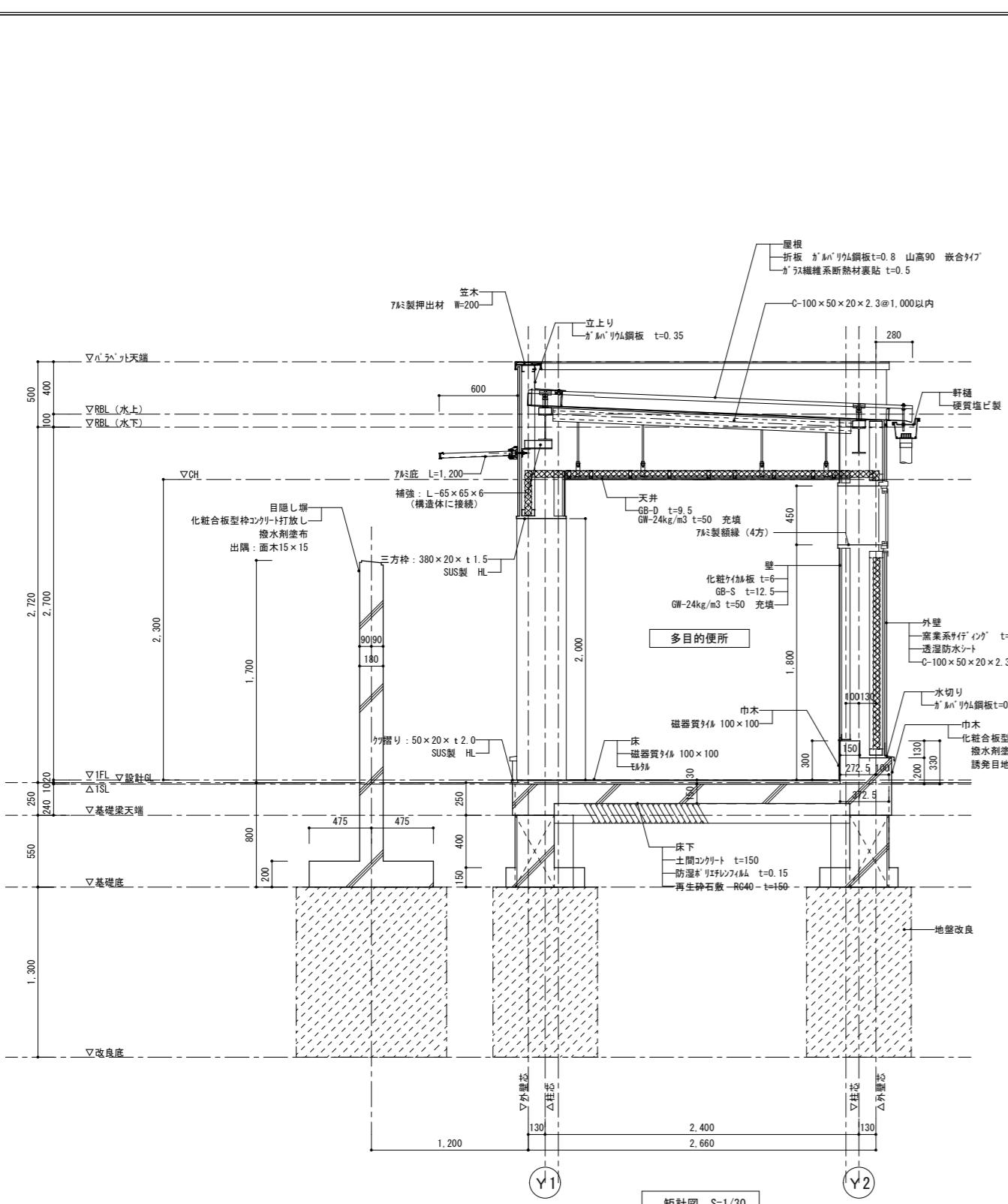
1

10

令和元年度河川ス振継第2号 旧津市民プール跡地テニスコート整備工事

市民センター跡地 パーク・アパート
図面名称 屋外トイレ棟 仕上表、平面詳細図
立面図、断面図

図番
A-2



展開図

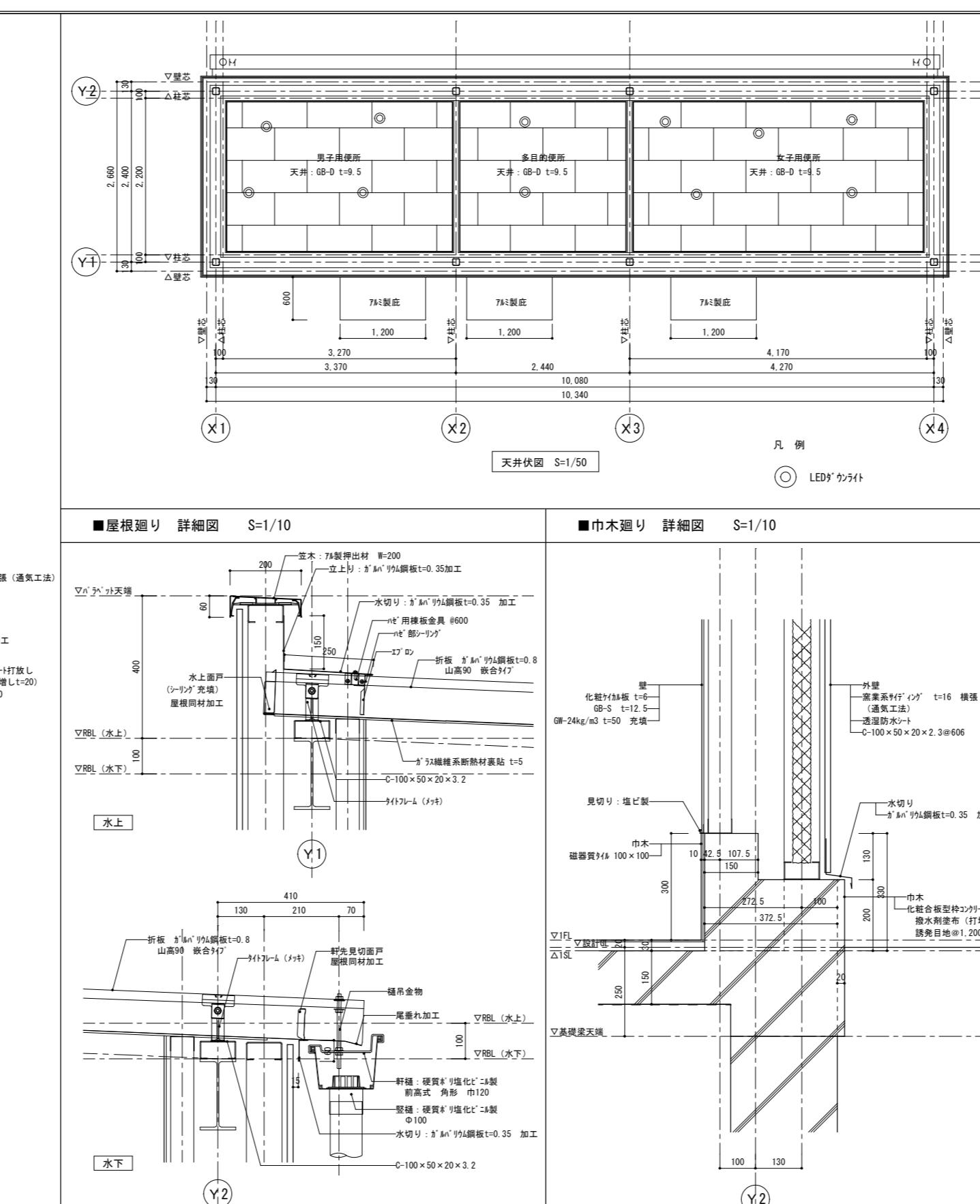
男子用便所

床 磁器質タイル100×100
巾木 磁器質タイル100×100 H=300
壁 GB-S t=12.5+化粧合板t=6
柱型 —
天井 GB-D t=9.5
梁型 —
避線 墓ビ製
備考 ハンガーフレーム: 高圧メラミン化粧板 天井: タイプA-L t=20

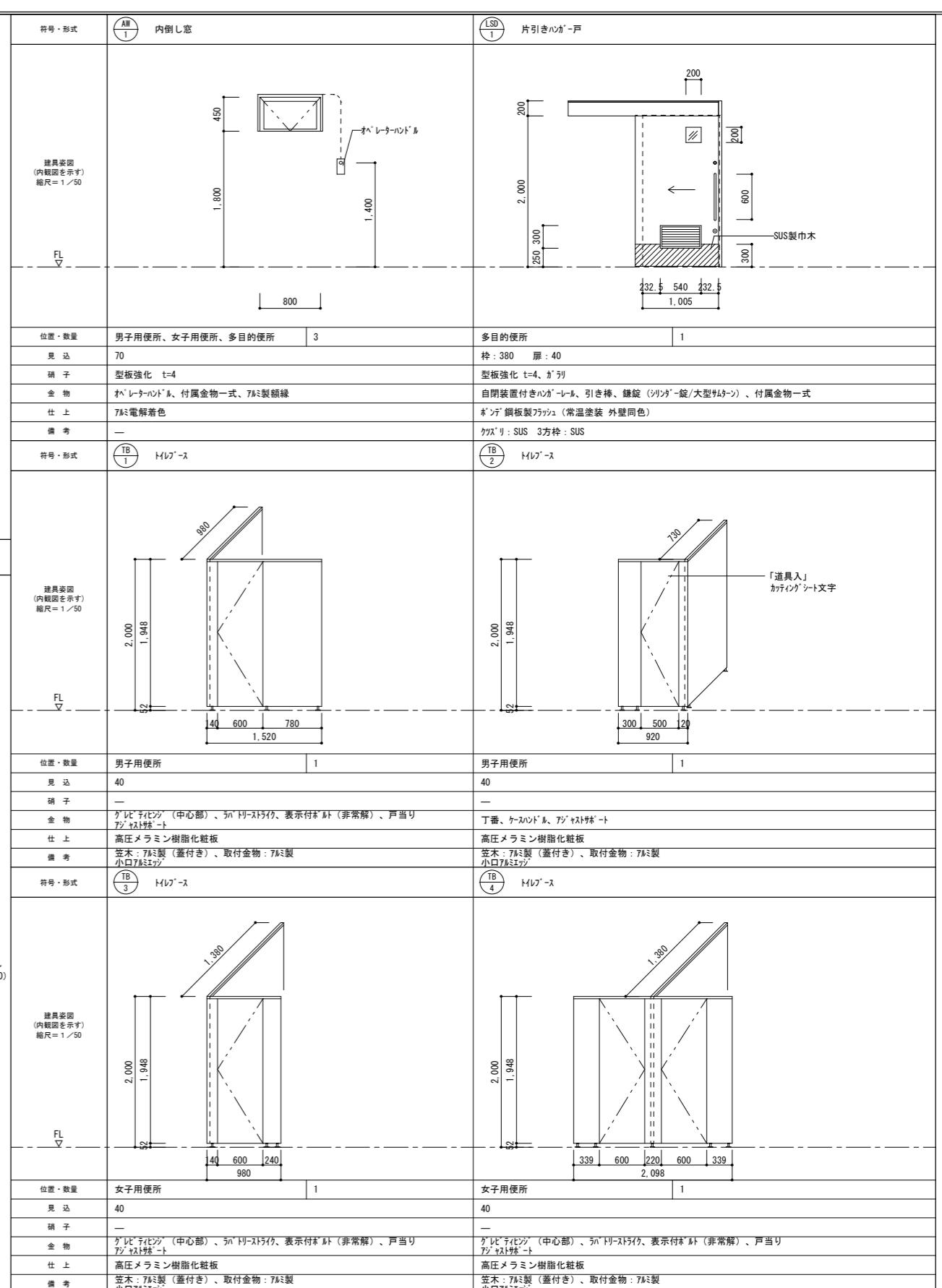
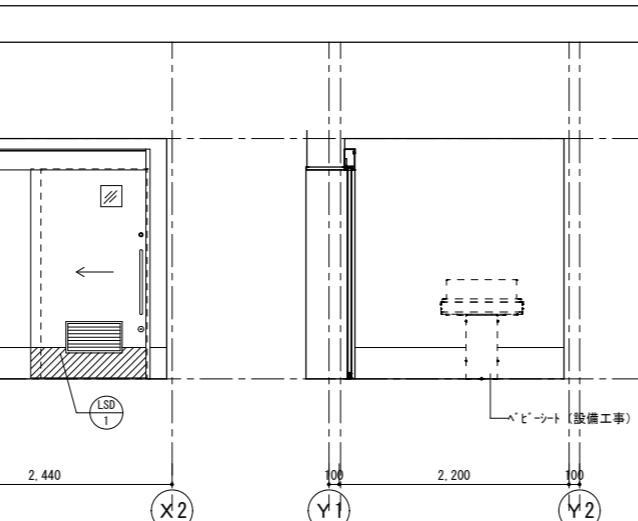
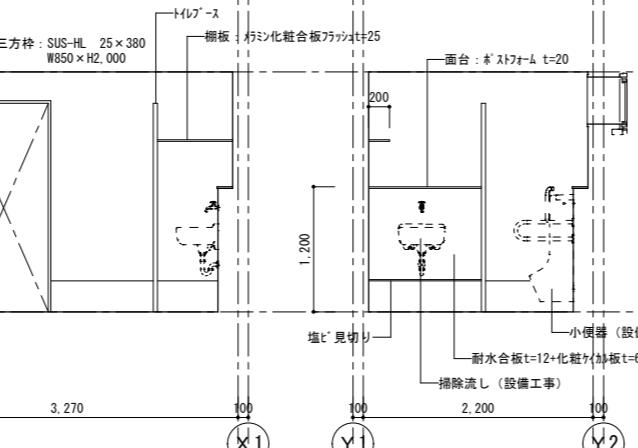
多目的便所

床 磁器質タイル100×100
巾木 磁器質タイル100×100 H=300
壁 GB-S t=12.5+化粧合板t=6
柱型 —
天井 GB-D t=9.5
梁型 —
避線 墓ビ製
備考 ハンガーフレーム: 天井: タイプA-L t=20

MEMO

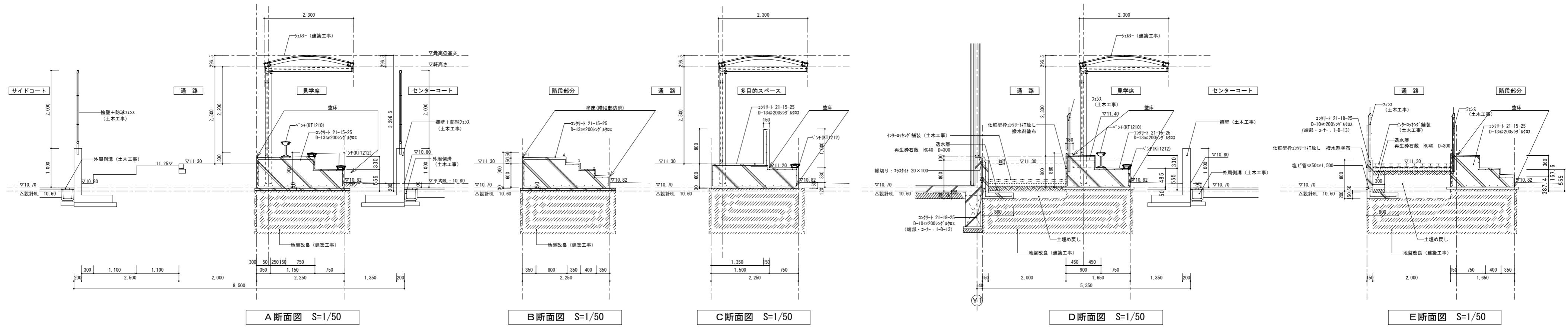


女子用便所

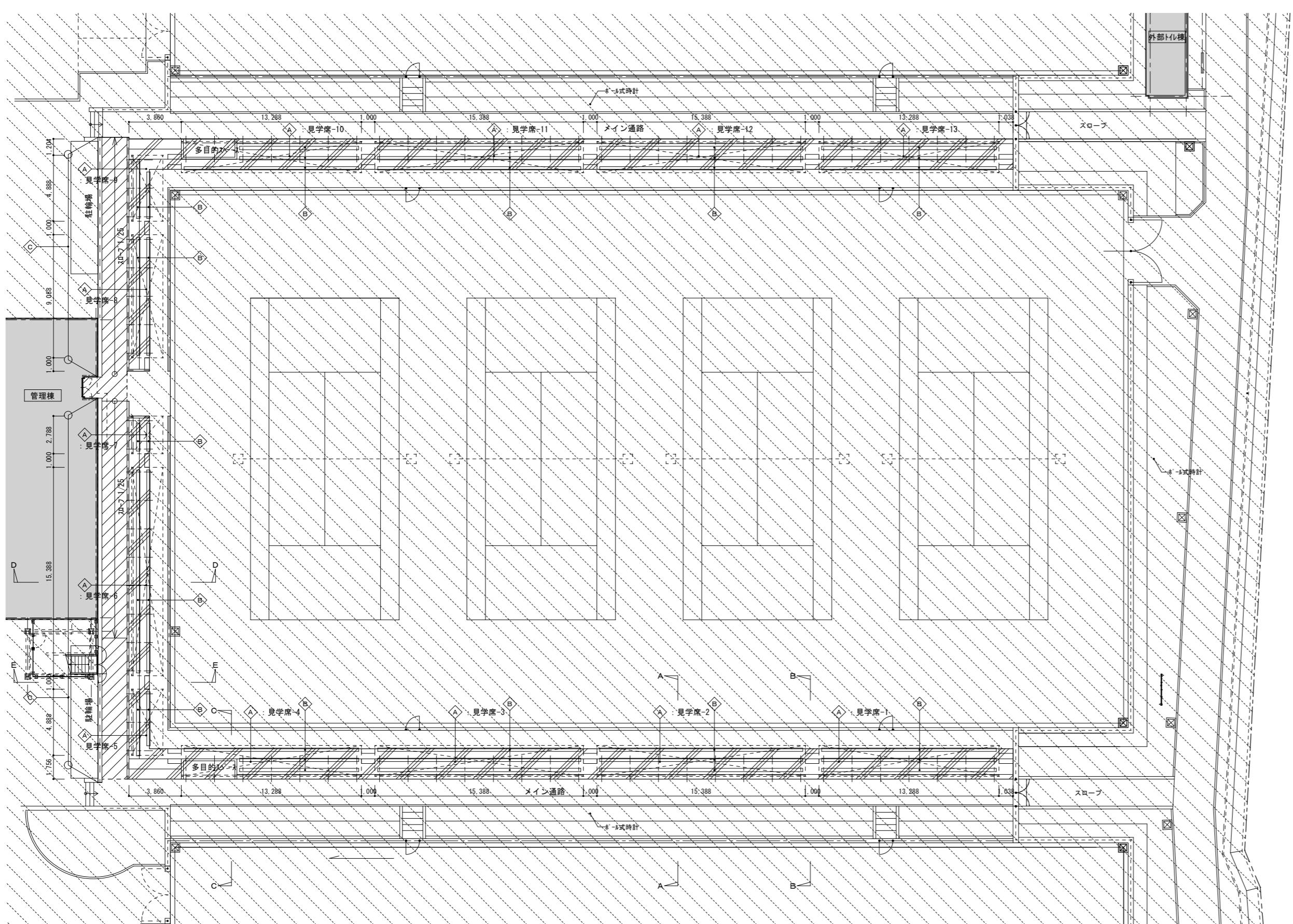


御承認	作図	工事名称	令和元年度河川ス振継第2号		図番
			訂正年月日	面積	
		旧津市民プール跡地テニスコート整備工事			A-26
		屋外トイレ棟 矩計図 展開図、建具表、天井伏図			





※ 見学席の接地地盤 \geq 10.80より、平均GL=10.80とする



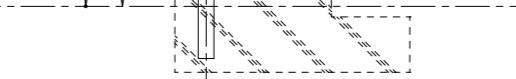
多目的入^°-入平面図 S=1/50

アルミ製シールドー 材質仕様書	
名 称	材 質
柱	アルミニウム合金押出形材
梁	アルミニウム合金押出形材
桁・妻垂木・垂木	アルミニウム合金押出形材
中棟	アルミニウム合金押出形材
パネル押え	アルミニウム合金押出形材
屋根パネル	ポリカーボネート板 t = 2. 0 (国土交通大臣認定番号 : DW-9054) アルミニウム板 t = 1. 0 アルミニウム板 (S1色) t = 1. 0
桁受けパラケット	一般構造用圧延鋼材
コーナー金具	一般構造用圧延鋼材
補助棒	アルミニウム合金押出形材
雨樋	アルミニウム合金押出形材
端部キャップ	アルミニウム合金鋳物
ボルト等	ステンレス

※ シェルター 基準風速 $V_0=34\text{m/s}$
積雪荷重 600N/m^2

江戸外-屋根伏図 S-1/50

▽ 11.30



シェルター側面図 S=1/50



め戻しまで建築工事



MEMO

TEL 059-224-8941
FAX 059-224-9001



作製年月

訂正年月日

御

1

作図工事名称

令和元年度河川ス振継第2号 旧津市民プール跡地テニスコート整備工事

1

A-27